

長崎歴史文化博物館

年報

平成19・20年度



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

平成19・20年度

目 次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 事業方針	6
3. 展示事業	
(1)企画展	10
(2)常設展	36
4. 教育普及事業・地域連携事業	
(1)講演会・講座	38
(2)こども向けプログラム	41
(3)学校との連携	55
(4)イベント	60
(5)ボランティア	65
5. 資料管理	
(1)収蔵資料・資料貸出	69
(2)資料修復	76
6. 調査研究事業	
(1)調査研究	84
(2)出版事業	85
(3)館外活動	86
7. 研修等	
(1)博物館実習	88
8. 広報マーケティング	
(1)新聞掲載実績	90
(2)広報印刷物	96
9. 来館者情報	
(1)来館者統計	99
(2)主な来訪者	100
10. 収支	101
11. 組織	
(1)職員	103
(2)ボランティア	105
(3)アドバイザー会議	106
(4)友の会	106
12. 建築概要	107
13. 関連法規	110

新たな展開を目指して



日頃は当長崎歴史文化博物館の運営につきましてご支援・ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。お蔭様で平成19年11月の開館2周年につづいて、平成20年10月31日には満周年の節目に特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」を開催することができました。これは、日本で初めて長崎で列福式(ローマ教皇庁主催)が長崎で行なわれるのに合わせて、これまで門外不出であった貴重な資料を、長崎県・市の全面的なお力添えで借用でき、奇跡ともいえる画期的な展覧会を実現できましたことは誠に有り難いことと思っております。

この間、平成19年6月30日には、開館以来の入館者100万人を数えました。当館の入館者を見ますと、企画展の観覧者のみならず、むしろ常設展の「近世長崎の海外交流史」を観覧する県外の小中高校生の修学旅行団体が多いのが特徴だと思えます。

また、マリア・ファン・デル・フーベルオランダ経済大臣をはじめ、フォール駐日フランス大使など国外の要人が多数ご来館になり、今日に深くご観覧いただきました。

企画展は、「青い目の人形と長崎たま子」展、「勝海舟と幕末長崎」展などを19年度に、「江戸のタイムカプセル」、「吉村作治の新発見！エジプト展」など数本を20年度に開催し、好評をいただきました。

教育普及活動も軌道に乗り出し、若い研究員による「長崎学エキスパート講座」を新規にスタートさせました。長崎市内の小中学校とのパートナーズも始まり、学校と博物館との連携協力体制の契機になりつつあります。壱岐の小学校との遠隔授業も順調になり、また、高齢者施設に向いての移動博物館も積極的に取り組み出しました。ボランティア活動の活性化とともに、研究員の来館者に対する解説、案内もキメ細かに行い、満足していただけるように最善の努力を払っております。

しかしながら、課題は次々に生じて参ります。企画展における目標を下回る入館者数とそのための採算の問題、指定管理者制度による運営上の問題、地域経済界との信頼関係構築の問題などが目白押しです。これらに果敢に取り組んでいかなければならないことを痛感した2年間でもありました。

こうした様々な活動を進めたり、あるいは諸課題にチャレンジして参りましたその記録として、平成19年度・20年度の長崎歴史文化博物館年報を作成しました。どうぞ、ご高覧の上、ご指導賜れば幸いです。

平成21年7月

館長 大堀 哲

沿革

1998年(平成10)11月18日	政策創造会議「諏訪の森部会」設置
1999年(平成11)12月15日	「諏訪の森部会」最終提言 ・県内の特色ある歴史と文化を一覧できる歴史文化博物館を整備する。 ・長崎奉行立山役所の往時の姿をできるだけ復元するスペースと歴史資料の展示スペースに区分しての整備が望ましい。 ・県立図書館敷地に文書館を設置することが望ましい。など
2000年(平成12)11月30日	諏訪の森の再整備について(基本方針)公表 ・諏訪の森地区を将来にわたって文化の香り高い魅力ある空間として価値を高め、また、新たな観光拠点のひとつとなるよう、県と長崎市が緊密に連携し、文化施設の再整備や環境整備を行うものとする。 ・歴史文化博物館(仮称)を県と長崎市が一体となって整備する。
2001年(平成13)1月15日	歴史文化博物館(仮称)基本構想専門家会議設置
2001年(平成13)4月1日	政策調整局都市再整備推進課設置 ・美術館、歴史文化博物館の建設準備体制を整備
2001年(平成13)11月14日	県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結 ・負担割合 建設費 県：市 = 2 : 1 運営費 県：市 = 1 : 1
2001年(平成13)11月16日	歴史文化博物館(仮称)基本構想(案)公表
2001年(平成13)12月27日	歴史文化博物館(仮称)基本構想公表
2001年(平成13)12月27日	展示設計指名型プロポーザル(3者指名)の実施
2001年(平成13)12月27日	建設工事設計候補者選定公募型プロポーザル公告
2002年(平成14)2月22日	乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結
2002年(平成14)2月28日	黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託契約締結
2003年(平成15)7月19日	起工式
2004年(平成16)10月15日	長崎歴史文化博物館条例公布 指定管理者の募集(1回目10.15~11.18、2回目11.26~1.21) 応募者6社
2005年(平成17)4月1日	(株)乃村工藝社を指定管理者として指定 ・指定期間：H17.4.1~H22.3.31(5年間)
2005年(平成17)5月	博物館仮事務所開設
2005年(平成17)6月	ボランティア募集開始

2005年(平成17)7月1日	大堀 哲(日本ミュージアム・マネジメント学会会長) 初代館長に就任
2005年(平成17)7月2日	ボランティア説明会
2005年(平成17)7月5日	長崎歴史文化博物館事業発表会
2005年(平成17)8月	寸劇ボランティア募集開始
2005年(平成17)8月3日～4日	市立博物館図書資料搬入
2005年(平成17)8月30日～31日	建設工事、展示工事竣工
2005年(平成17)8月30日～9月2日	旧県立美術博物館資料搬入
2005年(平成17)9月1日	博物館事務所開設式
2005年(平成17)9月7日～8日	県立長崎図書館資料搬入
2005年(平成17)9月20日	市立博物館資料搬入
2005年(平成17)9月22日～23日	収蔵庫燻蒸
2005年(平成17)9月24日	寸劇ボランティア オリエンテーション
2005年(平成17)10月14日	東京地区事業発表会(東京国際フォーラム)
2005年(平成17)10月27日～29日	開館記念特別展「長崎大万華鏡」展示作業
2005年(平成17)10月31日	プレス内覧会
2005年(平成17)11月1日	長崎県内マスコミ各社向けプレス内覧会
2005年(平成17)11月3日	長崎歴史文化博物館開館記念式典
2006年(平成18)8月14日	入館者50万人達成
2007年(平成19)6月23日	入館者100万人達成
2007年(平成19)6月30日	入館者100万人突破記念植樹セレモニー
2008年(平成20)8月7日	入館者150万人達成
2008年(平成20)10月31日	開館3周年記念式典

2

事業方針

<平成19年度事業方針>

長崎県長期総合計画後期5か年計画の「文化を活かした地域活力創出プロジェクト」及び長崎市第3次総合計画の「長崎文化の継承と創造」を推進するため、長崎歴史文化博物館について、本事業計画に基づき、利用者の満足度が高く、効率的で効果的な管理運営を行う。

1 長崎歴史文化博物館の基本方針

- (1) 海外交流史の博物館：海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館とする。
- (2) 長崎学研究の拠点となる博物館：県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用に努め、長崎学の研究を支援し、長崎学の情報を発信する博物館とする。
- (3) 連携する博物館：長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外の博物館・資料館をはじめ、学校や研究機関、歴史団体との連携を推進する。
- (4) 体験と発見の博物館：生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある博物館とする。
また、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる博物館とする。
- (5) 地域づくりに貢献する博物館：地域の個性や特色を生かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館とする。
また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館とする。
- (6) 開かれた博物館：多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する博物館とする。

2 行動指針

- (1) 2年間の実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、人材育成に寄与するため、展覧会や教育普及活動において新たな層を開拓し、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。
- (2) 集客目標42万人を達成するため、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営体制の確立など、総合的視点からのマネジメントを行い、収益力のある館運営に取り組むとともに、機能的な調査研究体制の整備を図る。

3 事業方針

- (1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

① 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域展を実施するとともに、長崎学講座等の教育普及プログラムを実施し、利用者への広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

②施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施による施設の有効活用を推進する。また移動博物館や学校博物館などの新たなプログラムの企画検討を行う。

③長崎歴史文化研究所の実践的活動と研究成果の創出

長崎学の研究拠点である「長崎歴史文化研究所」の活動をさらに推進し、当館研究員、縣市学芸員、外来研究員との協働による長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2)博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

①学校教育利用の推進

博物館利用検討委員会とのタイアップにより、博物館の学校教育への活用を図り、収蔵資料の複製等の教育利用貸出し、ティーチャーズルームの活性化などを通じて、教師の博物館活動への理解を図るとともに、とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深める。また学校等への出前講座の計画や遠隔授業についてもさらに充実を図る。

②地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客確保に留意しつつ、利用者(来館者)満足の向上を迫り、地域振興に貢献する。また、地域に対する感謝の心をもって、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習を支援するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3)博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営(マネジメント)については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして意欲的に活動できるような環境づくりを行い、その定着化と拡大を目指す。

(4)県内の中核博物館としての取組み

長崎県博物館協議会、九州博物館協議会、日本博物館協会等との連携により、ミュージアムメッセなどの新規事業の計画・実施を行い、また各協会とのネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、県下の博物館職員への研修機会を設けるなど県下博物館のレベルアップを図る。

(5)指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として、その運営の在り方が問われる年であり、事業内容、組織としての効率的なとり組み方、等を含め、全ての面について実践的、かつ研究的にそのモデル構築に努める。

(6)集客目標

地域の振興と効率的な博物館活動の推進により今年度の集客目標総数を42万人とする。来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者は11.3万人、生涯学習支援事業への参加者は4.6万人、展覧会・企画展への入館者は12.1万人、その他利用者は17万人(重複利用者3万人)とし、有料入館者比率の向上を図る。

＜平成20年度事業方針＞

長崎県長期総合計画後期5か年計画の「文化を活かした地域活力創出プロジェクト」及び長崎市第3次総合計画の「長崎文化の継承と創造」を推進するため、長崎歴史文化博物館は、つねに利用者満足の創出、長崎の学術文化の継承・発展、地域振興に資することなどの視点に立った事業を計画し、効率的で効果的な管理運営を行う。

1 長崎歴史文化博物館の基本方針

- (1) 海外交流史の博物館：海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。
- (2) 長崎学研究の拠点となる博物館：県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用に努め、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。
- (3) 開かれた博物館：子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。
- (4) 連携する博物館：長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、学会との連携を推進する。
- (5) 体験と発見の博物館：生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。
- (6) 地域づくりに貢献する博物館：地域の個性や特色を生かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。
また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

2 行動指針

- (1) 3年間の実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。
- (2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、資料の整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、研究員との共同研究を実施する。
- (3) 集客目標40万人を達成するため、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。
- (4) 博物館施設の有効活用やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3 事業方針

- (1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

① 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域展を実施するとともに、長崎学講座等の教育普及プログラムを実施し、広報を早期に実施することにより、

リピーターの増加を図る。

②施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施による施設の有効活用を推進する。また移動博物館や学校博物館などの新たなプログラムの企画運営を行う。

③長崎歴史文化研究所の実践的活動と研究成果の創出

長崎学の研究拠点である「長崎歴史文化研究所」の活動をさらに推進し、当館研究員、県市学芸員、外来研究員との協働による長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2)博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

①学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、収蔵資料の複製品等の教育利用貸出し、ティーチャーズルームの活性化などを通じて、教師の博物館活動への理解を図る。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や遠隔授業についてもさらに充実を図る。

②地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客確保に留意しつつ、利用者(来館者)満足の上昇に努める。また、地域に対する感謝の心をもって、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習を支援するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3)博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営(マネジメント)については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして意欲的に活動できるような環境づくりを行い、その定着化と拡大を目指す。

(4)県内の中核博物館としての取組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、長崎県博物館協会の会長館として新規事業や加盟館職員の研修機会を設けるなどを通して、県内博物館のレベルアップを図る。

(5)指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間が後半に入る本年度は、その運営の在り方がより一層問われる年であり、事業内容、組織としての効率的なとり組み方等を含め、全ての面について実践的、かつ研究的にそのモデル構築に努める。

(6)集客目標

地域の振興と効率的な博物館活動の推進により今年度の集客目標総数を40万人とする。

来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者は13.4万人、展覧会・企画展への入館者は10.5万人、生涯学習支援事業への参加者は3.3万人、その他利用者は18.8万人(重複利用者6万人)とし、有料入館者比率向上を図る。

1 企画展

平成19年度

もうひとつの日米交流史 青い目の人形と長崎瓊子展

日米の親善交流を願ったアメリカのシドニー・ギューリック氏の呼びかけで、昭和2年(1927)に日本中の子どもたちに「青い目の人形」が贈られました。日本側でそれを受け入れたのは、民間の対外交流の中心人物であった渋沢栄一でした。人形は各地で大歓迎を受けましたが、太平洋戦争によって大部分が処分される憂き目に遭い、配布された約12,000体のうち、現在ではわずか300体ほどが確認されるだけとなっています。

本展覧会では、日本全国の幼稚園・小学校等の協力で、北海道から九州まで約165体の人形たちの再会が実現されることとなりました。また、答礼としてアメリカに渡った日本人形58体のうち、長崎県が贈った「長崎瓊子」がアメリカから里帰りしました。

改めて日米両国の友好はもとより、未来を担う子どもたちの国際交流、世界の平和の大切さについて考える展覧会となりました。



期 間：2007年4月7日(土)～6月10日(日)

観 覧 料：一般800円・高校生600円・小中学生500円

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：長崎新聞社・KTNテレビ長崎

特別協賛：十八銀行

協 賛：長崎外国語大学 短期大学・docomo・長崎ロータリークラブ・九州電力(株)長崎支店・キンピール(株)長崎支社・西部ガス(株)長崎支社・サントリー(株)・JR九州・(株)昭和堂・住友生命保険相互会社長崎支社・日本旅行(株)・松藤グループ

後 援：アメリカ大使館・福岡アメリカンセンター・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎日米協会・(財)長崎国際交流協会・ライオンズクラブ国際協会 337-C地区・国際ソロプチミスト長崎・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・813長崎シティFM

特別協力：JAL日本航空・日本通運

協 力：長崎親善人形の会「瓊子の会」・ホテルJALシティ長崎・ホテルニュー長崎



総入場者数：15,892名(1日平均252名)

〈関連事業〉

第1回講演会

日 時：4月8日(日)

テ ー マ：「人形交流は人間交流」

講 師：高岡美知子氏(答礼人形研究家)

場 所：ホール

参加者数：47名



第2回講演会

日 時：4月21日(土)

テ ー マ：「平戸のエレン・Cと長崎瓊子について」

講 師：遠山博文氏(長崎・日米友情人形研究家)

場 所：ホール

参加者数：50名



第3回講演会

日 時：5月5日(土)

テ ー マ：「親善人形交流とギューリック宣教師」

講 師：松本汎人氏(長崎外国語大学理事長)

場 所：ホール

参加者数：48名

第4回講演会

日 時：6月2日(土)

テ ー マ：「友情人形と未来への伝言」

講 師：山下昭子氏(長崎親善人形の会会長)

場 所：ホール

参加者数：55名

第1回特別講演会

日 時：5月19日(土)

テ ー マ：「渋沢栄一と日米人形交流」

講 師：渋沢雅英氏(財団法人渋沢栄一記念財団理事長)

場 所：ホール

参加者数：60名

第2回特別講演会

日 時：5月26日(土)

テ ー マ：「祖父のこと、新友情人形のこと」

講 師：シドニー・ルイス・ギューリック3世

テ ー マ：「一針一針に愛をこめて」

講 師：フランシス・フロスト・ギューリック

参加者数：101名

紙芝居「ある人形の物語」

日 時：4月28日～30日、5月3日～6日

場 所：3階企画展示室

協 力：長崎親善人形の会

ワークショップ コラージュであそぼう

日 時：5月13日(日)

講 師：矢野香織(当館研究員)

場 所：講座室

参加者数：16名

青い目の人形と長崎瓊子コンサート

日 時：5月12日(土)

場 所：ホール

参加者数：185名

生花展示

日 時：期間中

場 所：エントランスホール

協 力：長崎市いけ花連盟

参加団体：長崎市いけ花連盟(19会派22回)

お茶席

日 時：期間中の土日

場 所：3階企画展示室前

協 力：裏千家淡交会長崎支部

表千家同門会長崎県支部

大日本茶道学会長崎支部

鎮信流松和会

日本礼道小笠原流長崎県支部

マンドリンコンサート

日 時：4月15日

場 所：エントランスホール

出 演：長崎アニママンドリン合奏団

参加者数：111名

箏と尺八

日 時：4月22日

場 所：エントランスホール

出 演：宮城社寿会・都山流峯林会・都山流笥生会

参加者数：84名

アボリジニの民俗楽器、ディジュリドゥの演奏

日 時：4月29日
場 所：エントランスホール
出 演：NATA
参加者数：119名

箏と大正琴

日 時：5月6日
場 所：エントランスホール
出 演：筑紫若水会、絃志流
参加者数：163名

長崎人形のうた合唱団による合唱

日 時：5月12日
場 所：エントランスホール
出 演：長崎人形のうた合唱団
参加者数：185名

琴と尺八

日 時：5月20日
場 所：エントランスホール
出 演：琴城流大正琴振興会長崎支部琴輪貴会
都山流峯林会・都山流筥生会
参加者数：88名

箏、ピアノ・フルート

日 時：6月3日
場 所：エントランスホール
出 演：当道音楽会初音会・きらら21
参加者数：157名

大正琴と箏

日 時：6月9日
場 所：エントランスホール
出 演：琴城流大正琴振興会長崎中央支部琴華会
邦楽一の会
参加者数：127名

箏、尺八、大正琴

日 時：6月10日
場 所：エントランスホール
出 演：筑紫若水会・琴古流竹映会
むつみクラブ
参加者数：193名

シーボルトの水族館

シーボルトが長崎で収集し、ヨーロッパに持ち帰った魚のはく製と、出島出入り絵師・川原慶賀による魚図を一挙公開しました。

文政6年(1823)に初来日したシーボルトは、日本の文化や自然について調査・研究する命を受けており、助手のビュルガーとともに、長崎で入手した様々な種類の魚をはく製にし、また、精密な魚図を出島出入り絵師の川原慶賀に描かせ、オランダに持ち帰りました。それらは日本の魚に関する最も重要な研究資料として、現在のオランダのライデン国立自然史博物館に大切に保管されています。それらはこれまでまとまった形で公開されたことがなく、それらのほとんどが世界初公開となりました。「マダイ」「トビウオ」などの魚は、シーボルトらが紹介したことにより、ヨーロッパで初めて新種と認定されました。慶賀が描いたこれらの魚図は、現在も種の定義に用いられている世界で唯一の貴重な資料です。その他にも、今は絶滅してしまった「ニホンアシカ」や、江戸時代に生きたまま大阪に運ばれたという「ハモ」など、長崎に生息した魚類・甲殻類・ほ乳類の中から、選りすぐりの100種あまりを一堂に展示しました。さらに現代の長崎に生きる同種の魚を水槽で展示するとともに、江戸時代の「人魚のミイラ(模型)」や、「門外不出」と呼ばれる40種あまりの「グラバー図譜」も展示しました。

期 間：2007年7月7日(土)～9月2日(日)

観 覧 料：一般・大学生1,200円・高校生700円・小中学生500円

主 催：長崎歴史文化博物館・NBC長崎放送・西鉄エージェンシー
後 援：外務省・オランダ王国大使館・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎県社会福祉協議会・長崎市社会福祉協議会・長崎新聞社・西日本新聞社・読売新聞西部本社・朝日新聞社・毎日新聞社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア

特別協賛：Jスポット

協 賛：スズキ自販長崎・炭火烧肉清香園・花梨の化粧水・国際長崎クラブ

特別協力：マリンワールド海の中道

協 力：ライデン国立自然史博物館・ライデン国立民族学博物館・長崎大学附属図書館・壱岐市教育委員会・西海パールシーセンター・長崎県総合水産試験場・スカイネットアジア航空

総入場者数：24,645名(1日平均440名)



〈関連事業〉

オープニング記念講演会

日 時：7月7日(土)

場 所：ホール

テ ー マ：「シーボルトの魚類コレクションの歴史」

講 師：マーティン・ファン・オイエン氏(ライデン国立自然史博物館学芸員)

テ ー マ：「シーボルト・ビュルガーの魚類標本と川原慶賀の魚類写生図」

講 師：山口隆男氏(元熊本大学教授)

参加者数：70名

関連講演会

日 時：7月28日(土)

テ ー マ：「川原慶賀の生涯とその画業」

講 師：原田博二(当館研究所長)

テ ー マ：「長崎の魚と川原慶賀」

講 師：平岡隆二(当館研究員)

場 所：ホール

参加者数：105名



さかなクントークショー

日 時：7月8日(日)

場 所：エントランスホール

参加者数：699名



ナイトミュージアム

日 時：8月10日(金)

参加者数：63名

おさかな検定

日 時：8月18日(土)

場 所：ホール

参加者数：17名

さかなクンお魚教室

日 時：8月19日(日)

場 所：ホール

参加者数：1,388名

巨大おさかなカルタ大会

日 時：7月21日(土)、22日(日)、8月4日(土)、5日(日)

場 所：ホール

参加者数：115名

子供向け展示解説

日 時：期間中毎週水曜日・日曜日

場 所：3階企画展示室

くunchi373年展 長崎の伝統と誇り

長崎を代表する祭りのひとつがくunchiです。くunchiが始まったのは今から373年前の寛永11年(1634)のことです。くunchiは諏訪神社の神事として始まりましたが、国際貿易都市・長崎が繁栄していくと、多くの見物人が参加するようになり、美しく華やかになっていきました。このように発展していったくunchiは、現在でも町の伝統と誇りのもとに継承されています。

『くunchi三七三年展』では、くunchiの様子を描いた屏風や絵巻、くunchiを美しく彩った傘鉦や奉納踊衣装などを一堂に展示し、くunchiに対する人々の願いと美意識、長崎刺繍など高度に発展した伝統工芸の技などを紹介しました。江戸時代から現代までくunchiは屏風や絵巻に描かれてきましたが、本展では美しく華やかに発展するくunchiの様子を絵画を通して紹介しました。またくunchiを彩る傘鉦の垂や奉納踊りの衣装には、海外から輸入された緋羅紗などが使われ、その豪華にして優美、異国情緒あふれる姿は多くの観衆の目を引きました。本展ではくunchiを美しく彩る傘鉦や奉納踊衣装を展示し、シーボルトや中国人商人などをも魅了したくunchiの姿を紹介しました。



期 間：2007年9月29日(土)～10月21日(日)

観 覧 料：一般500円・高校生300円・小中学生200円

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：長崎新聞社・NBC長崎放送・長崎伝統芸能振興会

後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

協 賛：(株)パソナ長崎・(株)インテックス

協 力：籠町自治会・紺屋町自治会・福砂屋・万屋通り町会・長崎くunchi塾

特別協力：鎮西大社諏訪神社

総入場者数：5,842名(1日平均266名)



〈関連事業〉

記念講演会

日 時：9月29日(土)
テ ー マ：「諏訪神社の長崎くんち」
講 師：大神照彦氏(鎮西大社諏訪神社宮司)
テ ー マ：「町人文化とくんち」
講 師：原田博二(当館研究所長)
場 所：ホール
参加者数：85名



長崎くんち塾特別講演会

日 時：9月30日(日)
テ ー マ：「長崎くんちへの科学的アプローチ」
講 師：中垣内真樹氏(長崎大学大学教育機能開発センター)
テ ー マ：「七ヶ町七日前の七知識」
講 師：くんち塾生
場 所：ホール
参加者数：120名

第1回講演会

日 時：10月6日(土)
テ ー マ：「絵画資料からよむ長崎くんち」
講 師：河野謙氏(長崎くんち塾資料班)
テ ー マ：「踊町とその変遷」
講 師：原田博二(当館研究所長)
場 所：ホール
参加者数：69名

第2回講演会

日 時：10月14日(日)
テ ー マ：「くんちよもやま話」
講 師：松尾小太郎氏(長崎くんち塾資料班)
テ ー マ：「意匠に見る長崎くんち」
講 師：越中勇(当館主任研究員)
場 所：ホール
参加者数：51名

ワークショップ 采をつくろう

日 時：10月6日(土)
講 師：井村啓造氏(郷土研究家)
場 所：講座室
参加者数：21名

奉納踊公開練習 銀屋町据太鼓・鯨太鼓

日 時：10月6日(土)
場 所：エントランス
参加者数：320名

日蘭修好150周年記念事業 開館二周年記念特別展 勝海舟と幕末長崎展

ペリー来航から遡ること9年前の天保15年(1844)、オランダ国使節コープスによる開国勧告は、当時の江戸幕府に対外的危機意識を芽生えさせる転機となりました。それから10年後の安政2年(1845)に長崎海軍伝習所が開設されました。ここには多くの伝習生が訪れ、オランダ教師による二次にわたる海軍伝習がおこなわれました。伝習生のなかでも勝海舟は、長崎海軍伝習所で多くのことを学び、この経験が今後の彼の足跡に大きな影響を与えました。また同じ伝習生であった松本良順はポンペに師事し、近代医学を学ぶ医学伝習所の創設に尽力します。さらに海軍伝習所創設にあたって必要となる艦船の修理をおこなう長崎鋳鉄所も開所され、長崎は近代日本を先駆けた都市として発展していくこととなります。長崎海軍伝習所の閉鎖後も、医学伝習所は長崎大学医学部として、長崎鋳鉄所は三菱重工株式会社長崎造船所として今日に至っています。

本展覧会は日蘭修好150周年事業として行われ、スムービング号(観光丸)の返礼として贈られた「野馬図屏風」、「墨松図屏風」(以上、ライデン国立民族学博物館蔵)をあわせて展示し、日蘭友好の歴史を再認識する機会になりました。

期 間：2007年11月3日(土)～12月9日(日)

観 覧 料：一般1,000円・高校生500円・小中学生300円

主 催：長崎歴史文化博物館・日本経済新聞社

共 催：三菱重工株式会社長崎造船所・長崎大学医学部・長崎新聞社・KTNテレビ長崎

後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

協 力：海と船の博物館ネットワーク協議会・長崎大学附属図書館

総入場者数：5,775名(1日平均221名)



〈関連事業〉

第1回講演会

日 時：11月3日(土)
テ ー マ：「長崎造船所150年間の歩み」
講 師：横川清氏(三菱重工株式会社長崎造船所史料館長)
場 所：ホール
参加者数：71名

第2回講演会

日 時：11月18日(日)
テ ー マ：「ポンペの医学伝習所」
講 師：相川忠臣氏(長崎大学医学部教授)
場 所：ホール
参加者数：70名

第3回講演会

日 時：11月23日(金・祝)
テ ー マ：「勝海舟について」
講 師：勝芳邦氏(勝海舟子孫)
場 所：ホール
参加者数：230名

第4回講演会

日 時：12月1日(土)
テ ー マ：「長崎海軍伝習所について」
講 師：安高啓明(当館研究員)
場 所：ホール
参加者数：105名

第1回関連史跡探訪

日 時：11月18日(日)
テ ー マ：「勝海舟と医学伝習所」
コ ー ス：博物館→長崎大学医学部
講 師：相川忠臣氏(長崎大学医学部教授)
参加者数：15名

第2回関連史跡探訪

日 時：11月22日(木)
テ ー マ：「勝海舟と長崎製鉄所」
コ ー ス：博物館→三菱重工株式会社長崎造船所史料館
講 師：横川清氏(三菱重工株式会社長崎造船所史料館長)
参加者数：38名

第3回関連史跡探訪

日 時：11月25日(日)
テ ー マ：「勝海舟とゆかりの地」
コ ー ス：博物館→長崎公園→東照宮神社→福濟寺→本蓮寺→梶クマ墓地→長崎奉行所西役所(長崎海軍伝習所)
講 師：安高啓明(当館研究員)
参加者数：20名



世界最大の翼竜展 恐竜時代の空の支配者

空飛ぶ爬虫類である「翼竜」は、恐竜とともに、三畳紀からジュラ紀、白亜紀にかけて約1億5千万年もの間、地球上に君臨してきました。スズメほどの小さなものから小型飛行機ほどの超大型まで様々な翼竜が存在し、不思議なトサカ、大きなくちばし、鋭い爪など、まるで神話に出てくるドラゴンのような姿かたちは現生のどの生物にも似ていません。その奇妙で謎に包まれた生き物を、空飛ぶ怪物「スカイモンスター」と呼ぶ人もいます。

近年、その進化と絶滅、鳥類とのすみわけ、飛行や歩行の秘密など、新たに発掘された化石や分析技術の進歩などから徐々にその全容が明らかになりつつあります。そのような謎の多い「恐竜時代の空の支配者」である翼竜の秘密に迫る日本で初めての展覧会となりました。

期 間：2007年12月21日(金)～2008年2月24日(日)

観 覧 料：一般1,000円・高校生800円・小中学生500円

主 催：長崎歴史文化博物館・朝日新聞社・NCC長崎文化放送

後 援：文部科学省・外務省・アメリカ大使館・中国大使館・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア

協 賛：ダイワボウ情報システム株式会社・三井物産株式会社・Benesse

協 力：九州旅客鉄道株式会社

総入場者数：31,172名(1日平均480名)

〈関連事業〉

「木で翼竜をつくろう」

日 時：1月13日(日)、1月27日(日)、2月10日(日)

講 師：一瀬勇士(当館研究員)

場 所：講座室

参加者数：95名

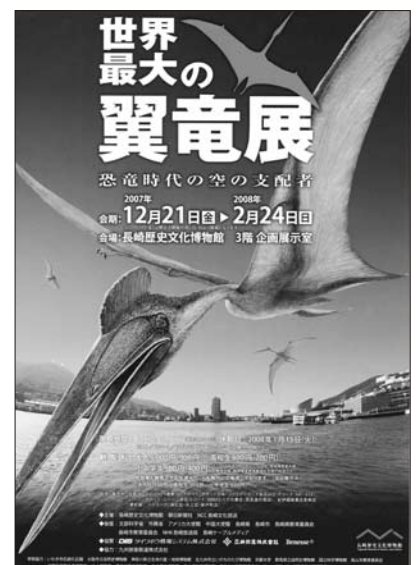
「翼竜探検隊－翼竜の秘密を探そう！－」

日 時：1月12日(土)、2月2日(土)

講 師：一瀬勇士(当館研究員)

場 所：3階企画展示室

参加者数：70名



企画展ながさき地域シリーズ 五島の教会群

五島列島には明治から戦前にかけて建設された貴重な教会堂が数多く残されています。これらの教会堂は、外国人神父によってもたらされた西洋建築様式と日本人大工棟梁の伝統的技術とが融合することによって、独特の意匠をつくりあげていきました。本展覧会では、貴重な歴史的建造物であり、五島列島の自然に溶け込んだ教会堂の美しい姿を紹介するとともに、鉄川与助など教会堂の建築に関わった人々を紹介しました。また教会堂を生み出した信者の思いとその背景にある五島のキリスト教の歴史についてもあわせて紹介しました。

期 間：2008年3月5日(水)～3月31日(月)

観 覧 料：無料

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：五島市・新上五島町・小値賀町・長崎県

協 力：堂崎天主堂キリシタン資料館・長崎総合科学大学建築学科・長崎の教会群を世界遺産にする会

協 賛：オリエンタルエアブリッジ・九州商船・JTB九州長崎支店

後 援：長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・五島市教育委員会・新上五島町教育委員会・小値賀町教育委員会・カトリック長崎大司教区・NPO法人「世界遺産長崎チャーチトラスト」・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

総入場者数：7,578名(1日平均291名)

〈関連事業〉

講演会

日 時：3月16日

テ ー マ：「復活の島－久賀島のキリシタン－」

講 師：大石一久(長崎県文化振興課)

場 所：ホール

参加者数：75名

新上五島町の物産展

日 時：3月22日(土)～23日(日)

場 所：エントランスホール

主 催：新上五島町観光物産協会

「五島の教会群写真コンテスト」

募集期間：2008年1月25日(金)～2月29日(金)

展示期間：2008年3月5日(水)～3月31日(月)

場 所：3階企画展示室外廊下

応募者数：29名

展示点数：54点



日蘭修好150周年記念特別展 屏風－將軍からの贈り物－

天保15年(1844年)にオランダ国使節コープスが、オランダ国王ウィルヘルム2世の開国勸告の国書や肖像画などを持参して長崎に来航します。その後、ペリーが浦賀に来航するなど武力による開国が迫られ、日米和親条約が結ばれ、安政2年(1855年)には日蘭和親条約が締結されます。

この間、海外列強の武力に対抗する為、幕末長崎にはオランダの援助を受けて「長崎海軍伝習所」が創設され、オランダ人教師による伝習が行われ、練習艦にはオランダから献上されたスームビング号(観光丸)が使われました。幕府はその返礼として、安政3年(1856年)に狩野派や住吉派などの幕府御用絵師に描かせた屏風十双を贈り、これらは「贈蘭屏風」として今日に伝わっています。絢爛豪華なこの屏風は、当時の最高水準の絵師たちが手がけたものです。

そして、安政5年(1858年)には日蘭修好通商条約が締結されました。2008年は条約の締結から150年の記念の年になります。今回、オランダのライデン国立民族学博物館に所蔵されている「贈蘭屏風」八双二隻を長崎で初めて里帰り展示しました。本展覧会では、これらの屏風を歴史的・美術的観点から取り上げ、幕末の過渡期における日蘭友好の歴史と「贈蘭屏風」を描いた狩野派らの息吹を感じてもらおうとともに、その架け橋となった舞台が長崎であったことを再認識していただく機会となりました。



- 期 間**：2008年3月5日(水)～3月31日(月)
観 覧 料：一般800円・高校生600円・小中学生400円
主 催：長崎歴史文化博物館・日本経済新聞社・長崎新聞社
共 催：三菱重工業(株) 長崎造船所
特別後援：オランダ王国大使館
後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎
特別協賛：ダイワハウス
協 賛：九州電力・JR九州
協 力：日本航空

総入場者数：6,305名(1日平均243名)

〈関連事業〉

講演会

日 時：3月5日(水)
テ ー マ：「儀礼の屏風」
講 師：榊原悟氏(群馬県立女子大学教授)
場 所：ホール
参加者数：82名

日 時：3月22日(土)
テ ー マ：「贈蘭屏風の絵師たち」 **講師**：越中勇(当館主任研究員)
「幕末長崎にみる日蘭関係」 **講師**：安浩啓明(当館研究員)
場 所：ホール
参加者数：72名

ノリタケデザイン100年の歴史 オールドノリタケからディナーウェアまで

日本の洋食器産業の礎を築いた、ノリタケカンパニーリミテド。本
 展覧会では、当時流行の美術様式を取り入れた優雅で華やかなノリタ
 ケの陶磁器の数々、20年近い歳月を研究開発に捧げ日本で初めて製作
 に成功したディナー皿などノリタケカンパニーリミテド所蔵のおよそ
 200件を一挙公開し、そのデザインの変遷と魅力の全貌に迫りました。
 中でも注目したいのは、本邦初公開となるデザイン画帖。当時の技法
 や表現力の素晴らしさが伝わり、多種多様な模様や手の込んだデザ
 インには、当時の人々を魅了した流行や生活様式が反映されています。
 100年あまりにわたって世界的に愛されてきたノリタケデザインの変
 遷が総括して展示されるのは今回が初めてであり、ノリタケが日本洋
 食器産業の歴史に果たした役割の大きさを実感できる貴重な機会とな
 りました。

期 間：2008年4月12日(土)～6月1日(日)

観 覧 料：一般900円・小中高生450円

主 催：長崎歴史文化博物館・朝日新聞社

特別協力：株式会社ノリタケカンパニーリミテド

協 力：株式会社大倉陶園・TOTO株式会社・森村商事株式会社・
 波佐見町・波佐見町教育委員会・波佐見焼振興会

後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会

協 賛：野崎印刷紙業株式会社

総入場者数：10,729名(1日平均218名)

〈関連事業〉

講演会

第1回「ノリタケの歴史と洋食器デザイン」

日 時：4月12日(土) 14時～15時30分

講 師：安藤忠治氏(株式会社ノリタケの森 ノリタケミュージアム館長)

場 所：ホール

参加者数：69名

第2回「ノリタケのディナーセット完成前史」

日 時：4月29日(火) 14時～15時

講 師：松下久子氏(長崎県文化振興課 学芸員)

場 所：ホール

参加者数：26名



第3回「波佐見焼の歴史について」

日 時：5月17日(土) 14時～15時
講 師：中野雄二氏(波佐見町教育委員会 学芸員)
場 所：ホール
参加者数：68名

ワークショップ「コラージュで遊ぼう」

日 時：4月19日(土)・5月4日(日) 13:30～15:00
講 師：植松有希(当館研究員)
対 象：小学生～中学生
参加費：無料
場 所：エントランス、講座室
参加者数：38名

ワークショップ「ノリタケティータイムの楽しみ」

日 時：5月10日(土) 全2回 午前(10:30～)／午後(14:30～)
講 師：安藤忠治氏(ノリタケミュージアム館長)
参加費：2,000円
場 所：レストラン銀嶺
参加者数：第1回28名 第2回30名

ワークショップ「波佐見焼 絵付け教室」

日 時：5月18日(日) 13:30～15:00
講 師：笹原恵子氏(陶芸家)
対 象：小学生～大人
参加費：1,000円
場 所：講座室
参加者数：23名

波佐見陶器市

日 時：5月17日(土)～5月25日(日)
場 所：エントランス
協 力：波佐見焼振興会

江戸のタイムカプセル 日蘭のコレクションに見る近世長崎

江戸時代の長崎は、鎖国体制下においても貿易都市として繁栄し、その文化は日本と中国・オランダなどの海外文化が融合した「和華蘭文化」と呼ばれています。本展覧会は、長崎歴史文化博物館とライデン国立民族学博物館の所蔵資料を通して、港町長崎の町並みや情趣をはじめ、舶載された動物や科学、その他異文化について過去から現在までをひも解くものです。海外交流によって発展してきた長崎を歴史的、文化的に見つめ直すとともに、長崎・オランダから発信された多くの文物を直接ご覧いただく機会となりました。また、今日では失われてしまった長崎の景観や文化、そして現在でも目に触れることができるものまで、過去との連続性と江戸時代の長崎の意義を再認識する機会となりました。

期 間：前期 2008年6月14日(土)～7月14日(月)
後期 2008年7月18日(金)～8月31日(日)

観 覧 料：一般500円・小中高校生250円

主 催：長崎歴史文化博物館

後 援：駐日オランダ大使館・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会
・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

総入場者数：13,031名(1日平均171名)

〈関連事業〉

講演会・講座

日 時：7月20日(日)

テ ー マ：「芥川龍之介と河童屏風」

講 師：原田博二(当館研究所長)

テ ー マ：「江戸のサイエンス、ライデンコレクション、長崎のまちなみ」

講 師：平岡隆二(当館主任研究員)

場 所：ホール

参加者数：87名



日 時：7月27日(日)
テ ー マ：「外国船と長崎」
講 師：深瀬公一郎(当館研究員)
テ ー マ：「港町長崎」
講 師：安高啓明(当館研究員)
テ ー マ：「長崎の動物たち」
講 師：植松有希(当館研究員)
場 所：ホール
参加者数：53名

日 時：8月23日(土)
テ ー マ：「歯医者さんが語るれきぶんセミナー
歯を磨いても虫歯になるのはなぜ？」
講 師：岩本憲一氏(岩本歯科院長)
場 所：ホール
参加者数：43名

ワークショップ「思い出保存箱」

日 時：7月27日(日) 14:00~16:00
対 象：小学4年生~中学生
参 加 費：300円(材料費、企画展観覧料込み)
場 所：講座室
参加者数：14名

ワークショップ「展示資料のパズル」

日 時：8月12日、13日 14:00~16:00
対 象：小学4年生~中学生
参 加 費：300円(材料費、企画展観覧料込み)
参加者数：14名

ワークショップ「江戸時代の歯ブラシ」

日 時：7月19日(土)、25日(金)、8月23日(土)、24日(日) 14:00~16:00
対 象：小学4年生~中学生
参 加 費：300円(材料費、企画展観覧料込み)
参加者数：45名

ワークショップ「ちぎり絵」

日 時：8月26日(火)~28日(木) 14:00~16:00
対 象：小学生~中学生
参 加 費：300円(材料費、企画展観覧料込み)
参加者数：87名

ながさき地域シリーズ 宝の島 対馬

朝鮮半島と九州本土との間に浮かぶ島、対馬。ここは、豊かな照葉樹林が広がり、ツシマヤマネコなど他では見られない動植物が生息する島です。朝鮮半島とを結ぶ「海上の道」でもあったこの島には、貴重な渡来仏や経典、華やかな朝鮮通信使の姿を描いた絵巻など、朝鮮半島との交流を伝える文化遺産が、今も遺されています。このような豊かな自然や貴重な文化遺産など対馬に残された「宝物」を紹介しました。

期 間：2008年9月13日(土)～10月20日(月)

観 覧 料：一般600円・小中高生300円

主 催：長崎歴史文化博物館・対馬展実行委員会

共 催：対馬市・長崎県

協 力：九州地方環境事務所対馬野生生物保護センター・県立対馬歴史民俗資料館

後 援：長崎市・対馬市教育委員会・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

総入場者数：8,533名(1日平均231名)

〈関連事業〉

講演会

第1回「中世の対馬と朝鮮半島」

日 時：9月13日(土) 13:30～16:00

講 師：佐伯弘次氏(九州大学大学院教授)

場 所：ホール

参加者数：131名

第2回「歴史トーク 対馬史の深遠」

日 時：9月21日(日) 13:30～16:00

講 師：永留久恵氏(歴史学者)、
小松勝助氏(対馬史文化財審議会会長)

場 所：ホール

参加者数：85名



第3回「対馬藩と朝鮮通信使」

日 時：9月27日(土) 13:30~16:00
講 師：岩崎義則氏(九州大学大学院准教授)
場 所：ホール
参加者数：142名

第4回「対馬の自然：ツシマヤマネコからツシマムシまで」

日 時：10月18日(土) 13:30~16:00
講 師：浦田明夫氏(元県立対馬高校教諭)
松尾公則氏(県立長崎北高校教諭)
参加者数：51名

ワークショップ「七色の貝でランプづくり」

講 師：加藤謙一(当館研究員)
参加費：500円
参加者数：70名

親子向けギャラリートーク&ツシマヤマネコにタッチ

日 時：毎週土日祝日および10月7日、8日、9日
11:00~/13:00~各回30分程度
講 師：加藤謙一(当館研究員)
参加費：無料*ただし大人は本展の観覧券が必要
参加者数：約70名

オランダ人の見た幕末の長崎 長崎大学所蔵ボードインコレクション展

長崎大学は、2007年11月、医学部の前身である養生所の第2代教頭アントニウス・ボードインの子孫から、古写真アルバム4冊の「ボードインコレクション」を入手しました。

オランダ人医師アントニウス・ボードインは、養生所初代教頭ポンペ・ファン・メールデルフォールトの後任として1862年来日しました。以後1870までの間、長崎の医学校で近代西洋医学を伝授したほか、大坂医学校(大坂大学医学部の前身)や大学東校(東京大学医学部の前身)でも講義し、また、上野の森を公園にするよう進言したことでも知られています。

その一方で、誕生間もない写真術に興味をもち、長崎の街や人物などを自ら撮影するとともに、当時の代表的写真家が撮影した日本各地の写真を数多く収集しました。オランダに残されていたこの写真コレクションは、1980年代後半になって初めて日本に紹介され、幕末の諸相を今に甦らせる写真集として、その後の古写真ブームの火付け役となりました。

本展示会及びシンポジウムでは、約140年ぶりに長崎に里帰りした「ボードインコレクション」により、幕末の長崎を中心に当時の風景や風俗をパネルで再現しました。また、ボードイン兄弟と当時の長崎が日本の写真史や近代医学教育に果たした重要な役割を紹介しました。貴重なコレクションの数々に日蘭両国の親交の歴史を再認識していただく機会となりました。

期 間：2008年10月3日(金)～10月20日(月)

観 覧 料：一般300円・小中高生は無料

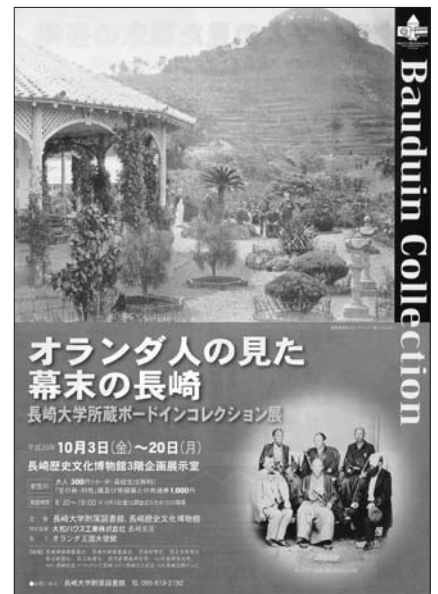
主 催：長崎大学附属図書館・長崎歴史文化博物館

特別協賛：大和ハウス工業株式会社長崎支店

協 力：オランダ王国大使館

後 援：長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・NHK長崎放送局・NBC長崎放送・KTNテレビ長崎・NCC長崎文化放送・NIB長崎国際テレビ

総入場者数：4,311名(1日平均253名)



特別企画展 バチカンの名宝とキリシタン文化 ローマ・長崎 信仰の証

天文19年(1550)のザビエルの平戸来航、南蛮貿易時代の「小ローマ長崎」と呼ばれた繁栄、寛永14年(1637)の島原・天草の乱、禁教と潜伏を経て幕末・明治の信徒発見とキリスト教復活、といったキリスト教の歴史が深く刻まれた長崎で、平成20年11月24日、江戸時代初期に殉教した188名の日本人カトリック信者らを列福する式典がローマ教皇庁により日本で初めて長崎で行われました。この列福式にあわせ、キリスト教に関する史料・美術作品を通じてキリシタン文化と長崎との関係をたどる展覧会を開催しました。

この展覧会には、バチカンの名宝を守るバチカン美術館から日本初公開となるフラ・アンジェリコの「聖母子像」ほか26点が、ローマのジェズ教会から「元和8年、長崎大殉教図」が、イエズス会文書館から大村純忠の「イエズス会への長崎・茂木寄進状」が特別出品されます。また東京国立博物館蔵「踏み絵」や「マリア観音」、京都大学総合博物館蔵「マリア十五玄義図」、長興寺蔵「織田信長像」など国内の名品も数多く展示しました。



期 間：2008年11月1日(土)～2009年1月12日(月)

観 覧 料：一般1,000円・小中高生600円

主 催：長崎歴史文化博物館・長崎県・長崎市

協 力：九州旅客鉄道株式会社

特別協力：バチカン市国(駐日バチカン大使館・バチカン美術館・バチカン アポストリカ図書館)・イエズス会(イエズス会文書館・ローマ ジェズ教会)・イタリア共和国政府(内務省・FEC・駐日イタリア大使館)

協 賛：日本航空・日本通運・長崎空港ビルディング株式会社

後 援：長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社長崎支局・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

助 成：財団法人地域創造



総入場者数：25,043名(1日平均353名)

〈関連事業〉

講演会

第1回「蝶々さんの原点」

日 時：11月3日(月・祝) 14:30～16:00

講 師：市川森一氏(長崎歴史文化博物館名誉館長)

場 所：1階ホール

参加者数：95名

第2回「キリシタン禁制と殉教の歴史的背景

—慶長禁教令を中心として—

日 時：11月23日(日・祝) 15:00~16:30
講 師：清水紘一氏(中央大学文学部元教授)
場 所：1階ホール
参加者数：65名

第3回「国際的視野をもった巡察使ヴァリニャーノ」

日 時：11月25日(火) 18:30~19:30
講 師：デ・ルカ・レンゾ(日本二十六聖人記念館長)
場 所：1階ホール
参加者数：43名

第4回「キリシタンベルトについて」

日 時：12月20日(土) 13:30~15:00
講 師：川村信三(上智大学文学部准教授)
場 所：1階ホール
参加者数：65名

講座

日 時：11月29日(土) 13:30~15:30
テ ー マ：「浦上三番崩れについて」
「メディチ家に残る天正遣欧使節の日本地図」
講 師：安高啓明(当館研究員)
海江田義広(長崎県文化振興課)
場 所：1階ホール
参加者数：98名

日 時：12月6日(土) 10:00~12:00
テ ー マ：「外海、松本集落の旧キリシタン資料について」
「近世初期の長崎と朝鮮人キリシタン」
講 師：本馬貞夫(長崎県文化振興課)
石尾和貴(長崎県文化振興課)
場 所：1階ホール
参加者数：74名

日 時：12月13日(土) 13:30~15:30
テ ー マ：「奉答文と島原・天草の乱」
「天下人とキリスト教」
講 師：大石一久(長崎県文化振興課)
徳永宏(長崎県文化振興課)
場 所：1階ホール
参加者数：70名

コンサート

SONGS

日 時：11月16日(日) 19:00～
出 演：井上周子(リュート 歌) 辻 康介(歌 語り)
場 所：3階企画展示室ロビー
参加費：2,000円
参加者数：42名

ロビーコンサート

日 時：11月23日(日) 14:30～
出 演：JAM club
場 所：1階エントランス
参加者数：80名

クリスマスコンサート ピアノとフルートの調べ

日 時：12月20日(土) 15:30～
出 演：杉澤葉子(ピアノ) 杉澤玲子(フルート)
場 所：1階エントランス
参加者数：135名

クリスマスコンサート ハンドベルと聖歌

日 時：12月21日(日) 14:00
出 演：活水中学・高校ハンドベル部 カトリック合唱団
場 所：1階エントランス
参加者数：131名

クリスマスコンサート ゴスペルライブ

日 時：12月23日(火・祝) 14:00
出 演：長崎ゴスペルクワイアFAITH
場 所：1階ホール
参加者数：130名

コンサート 銀嶺ギターディナーショー

日 時：12月24日(水) 19:00
出 演：川口皓弐
場 所：銀嶺
参加者数：18名

クリスマスコンサート バロックのクリスマス

日 時：12月25日(木) 19:00
出 演：井上周子(リュート) 大坪由香(リコーダー)
宮坂純子(チェンバロ) 鹿島恵子(歌 アルト)
場 所：3階企画展示室ロビー
参加費：2,000円
参加者数：74名



ワークショップ「ペーパークラフトー地球儀をつくろうー」

日 時：11月30日(日) 14：00～16：00

場 所：3階企画展示室・1階講座室

対 象：小中学生

参加費：600円

参加者数：7名

ワークショップ「クリスマスステンドグラスづくり」

日 時：12月14日(日) 10：30～12：30／14：00～16：00

場 所：伝統工芸体験工房

対 象：小学4年生以上

参加費：1,000円

参加者数：21名

ワークショップ「マカロニでつくるクリスマスリース」

日 時：12月13日(土)、14日(日)、23日(火・祝) 10：00～17：00

場 所：1階エントランス

対 象：幼児以上

参加費：無料

参加者数：160名

こどものへやクリスマスバージョン

日 時：12月13日(土)、14日(日)、23日(火・祝) 10：00～17：00

場 所：1階エントランス

対 象：幼児以上

参加費：無料

参加者数：160名

吉村作治の新発見！エジプト展

2005年1月に吉村先生率いる早稲田大学古代エジプト調査隊により発見された青いミイラマスク「セヌウ」が全国を巡回し、日本中を席卷していた2007年1月、ダハシュール北遺跡から、「吉村作治調査隊が新たな未盗掘ミイラを発見！」というニュースが世界を駆け巡りました。エジプト考古学史上でも過去に例がないといわれる夫婦ミイラの発掘。その後も未盗掘木棺、黒い人形棺などが次々に発見され、さらに同年10月には、新たな親子ミイラの発見！という驚くべき快挙が成し遂げられました。本展覧会では、カイロ博物館の希少なコレクションと共に、これらの未盗掘木棺を始め、吉村調査隊数々の発掘の成果が公開されました。

期 間：2009年2月7日(土)～4月5日(日)

観 覧 料：一般・大学生 1,200円(1,000円) 高校生 1,000円(800円)
小中学生 500円(400円)

主 催：長崎歴史文化博物館・NBC長崎放送・長崎新聞社

企画制作：RKB毎日放送

企画協力：アケト

監 修：吉村作治

特別協賛：ATT

協 賛：スズキ自販長崎

協 力：日本通運

後 援：外務省・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・早稲田大学・早稲田大学校友会長崎県支部・長崎県社会福祉協議会・長崎市社会福祉協議会・長崎県PTA連合会・長崎県私立幼稚園連合会・長崎県保育協会・国際長崎クラブ・長崎ケーブルメディア・サイバー大学・熊谷組

総入場者数：43,717名(1日平均792名)

〈関連事業〉

吉村作治先生のトークショー＆サイン会

日 時：2月7日(土)14:30～15:30

2月8日(日)10:00～11:30／13:00～14:30

3月28日(土)16:00～17:30

3月29日(日)10:00～11:30／13:00～14:30

場 所：1階ホール、2/8のみNBCビデオホール

参 加 費：無料(*エジプト展観覧券が必要)

参加者数：937名

魅惑のベリーダンスショー

日 時：2月7日(土)・3月28日(土) 13:00～13:30

場 所：1階ホール



参加費：入場無料

参加者数：231名

ワークショップ「親子でベリーダンス教室」

内容：ベリーダンスの体験教室

日時：3月20日(金) 14:00～15:00
3月28日(土) 10:30～12:00

講師：中村梓乃氏

場所：1階会議室、講座室

参加費：700円(エジプト展観覧料込み)

参加者数：27名

ワークショップ「古代エジプトのヒエログリフを書いてみよう！」

日時：2月11・14・15・28日
3月20・21・22・29日 14:30～15:30

場所：3階企画展示室廊下

対象：小学生以上

参加費：300円(*エジプト展観覧券が必要)

参加者数：100名

ワークショップ「ココウォーク出前ワークショップ」

日時：3月22日(日) 13:00～16:00

場所：長崎みらいココウォーク 5階お祭り広場

参加費：無料

参加者数：約200名

エジプト展クイズラリー

日時：会期中毎日

場所：3階企画展示室内

対象：小・中学生

参加費：無料(*エジプト展観覧料が必要)

参加者数：6,101名

親子向けギャラリートーク

日時：エジプト展期間中の土日祝日 11:30～

場所：3階企画展示室

対象：小学生とその保護者

参加費：無料(*エジプト展観覧料が必要)

参加者数：380名

2 常設展

平成19年度

美術展示室

テーマ	期 間	概 要
故事人物画の世界	5月16日～7月17日	昔から伝えられ、絵画化されてきた祖師や仙人、隠者たちの姿を紹介。正保元年(1644)に渡来した禅僧・逸然性融、彼に倣い生々しく濃密な人物画を得意とした河村若芝をはじめとする、道釈人物・故事人物をテーマにした展示。
季節展示、 芥川龍之介「河童図屏風」、 司馬江漢	7月19日～8月20日	7月24日の芥川龍之介の命日である「河童忌」にちなみ、龍之介の筆による河童の屏風をはじめ、龍之介をはじめとする作家や画家のサロンであった料亭菊本に所蔵されていた資料を展示。
司馬江漢	8月22日～9月17日	芥川龍之介作品に替わり一部展示替し、司馬江漢の作品5点を展示。
長崎の女性たち	9月19日～11月19日	肉筆美人画や版画化された異国美人など、長崎の女性像に関する展示。大正期の画壇で活躍した栗原玉葉(1883～1923)など長崎が生んだ女流画家の作品から、長崎丸山の遊女などを描いた作品までを展示。
雪 冬景色の絵画	11月20日～2008年1月14日	胡粉を使った描法や水墨画など、様々な描法で雪景色を描いた作品を紹介。写実的な南蘋派の描く雪景色や、薄墨の濃淡や筆遣いによって豊かな表情を見せる様々な雪景色を展示。
長崎版画と横浜絵	1月16日～3月17日	外国人や外国船、出島や唐人屋敷、舶来の動物などを描いた「長崎版画」と、開港後の横浜から想を得た、外国人や市街地の風景を描いた「横浜絵」。外国への好奇心や憧れに満ちた、異国情緒豊かな魅力に満ちた版画を展示。
特別公開 川原慶賀 「日本人の一生」	3月19日～4月14日	オランダ国内で発見され平成18年度に長崎県が購入した川原慶賀筆「日本人の一生」12場面を初公開。「日本人の一生」については、同名作品がオランダとロシアの博物館に存在することが確認されている。人の誕生から死まで、人生の主要な場面を描いたもので、日本人の風習風俗を知る上でも大変貴重な作品。

奉行所復元ゾーン

テーマ	期 間	概 要
奉行所ひな祭り	3月1日～3月17日	市民から募集したひな人形と当館収蔵の明治から昭和初期にかけてのひな人形を展示。

美術展示室

テーマ	期 間	概 要
端午の節句	4月16日～5月19日	端午の節句にちなみ、鍾馗、中国の武将、関羽、立身出世の願いが込められた鯉などをモチーフにした作品を展示。
描かれた水のある風景 山水画から蟹図まで	5月21日～7月14日	夏景山水図や、水辺に生きる鷺や蟹、海老といった生き物の姿や、ガラス絵で表現された外国の海浜図など、「水」に関する絵画を幅広く紹介。
家族の情景	7月16日～9月15日	夏は、帰省やお盆のお墓参りなどから、家族のつながりを感じる季節。長崎には、伝統行事「精霊流し」が根付き、家族の肖像画である「お絵像」など先祖を大切にしている絵画が存在する。家族のつながりを感じさせる作品を展示。
くんち374年展	9月17日～10月20日	長崎奉行の保護により諏訪神社の神事として伝えられた「長崎くんち」。くんちの行列や奉納の様子が詳細に描かれた絵巻や屏風、魅力溢れる長崎刺繍による傘鉾の垂や衣装など、祭りの熱気よみがえるような資料を展示。
深まる秋を楽しむ	10月22日～12月15日	葡萄や栗などの果物や稲穂といった実りの秋を描いたもの、水面に遊ぶ渡り鳥、さらには読書や芸術など思索にふける秋を連想させるものを紹介する。江戸時代の長崎で、商売繁盛の神として信仰され、冬至に床の間に飾られた関羽像も展示。
お正月を祝う	12月17日～2009年1月19日	お正月を祝う気分満ちた、めでたい作品の数々を展示。鶴に松竹梅、七福神の神々、長崎らしい年末年始の光景、さらには豪快でご利益がありそうな書、春の到来を感じさせる華やかな屏風、干支の牛図など。
長崎ランタンフェスティバル関連 孔子生誕祭展 [積奠(せきてん)]	1月21日～2月16日	2009年は、孔子が誕生して2560年である。孔子廟・中国歴史博物館より資料をお借りし、儒学の始祖である孔子の生誕(紀元前551年)を祝う祭り「積奠」に関わる衣装などを、長崎ランタンフェスティバルの時期に合わせて、特別展示。
梅・桃・桜	2月18日～4月20日	春の花、「梅・桃・桜」が描かれた作品をご紹介します。「花鳥画」のひとつとして鷺や雀、かささぎなど様々な鳥と組み合わせ描かれる梅、ひな祭りの桃の花、日本人にとって特別な桜の花の華やかさを紹介します。

奉行所復元ゾーン

テーマ	期 間	概 要
奉行所ひな祭り2009	2月28日～3月16日	ひな祭りは江戸時代から庶民の間で広まり、長崎でも女の子のお祭りとして盛んに行われていた。3月3日の桃の節句に合わせて、当館収蔵のひな人形を奉行所復元ゾーンにおいて展示。
奉行所武者飾り	4月26日～5月11日	

4

教育普及事業・地域連携事業

1 講演会・講座

平成19年度

■長崎学公開講座

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回	第1部 「長崎奉行松平図書頭康平の家系」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩1」	原田博二(当館研究所長)	4月21日(土)	100名
第2回	「平戸藩領に分布する中世石造物」	大石一久(長崎県文化振興課)	5月12日(土)	86名
第3回	第1部 「長崎奉行所について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩2」	安高啓明(当館研究員) 原田博二(当館研究所長)	6月9日(土)	135名
第4回	第1部 「長崎警備」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩3」	松尾晋一(シーボルト大学講師) 原田博二(当館研究所長)	8月18日(土)	140名
第5回	「松浦静山と甲子夜話」	久家孝史(松浦史料博物館)	9月1日(土) (7月14日延期分)	117名
第6回	「新出の書簡類からみた松浦静山の实像」	岩崎義則(九州大学准教授)	9月22日(土)	97名
第7回	第1部 「フェートン号事件前後の出島」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩4」	徳永宏(長崎県文化振興課) 原田博二(当館研究所長)	10月20日(土)	129名
第8回	「平戸焼の歴史-中野窯から三川内窯まで-」	松下久子(長崎県文化振興課)	11月10日(土)	67名
第9回	第1部 「祖霊社について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩5」	嬉野紀孝(浅間神社宮司) 原田博二(当館研究所長)	12月22日(土)	150名
第10回	「西海捕鯨 平戸領の鯨組」	石尾和貴(長崎県文化振興課主事)	1月26日(土)	70名
第11回	第1部 「阿蘭陀通詞とフェートン号事件」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩6」	平岡隆二(当館主任研究員) 原田博二(当館研究所長)	2月16日(土)	189名
第12回	「殿様が主催した平戸城下の能楽」	岩崎義則(九州大学准教授)	3月1日(土)	77名

■史跡めぐり

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回	コース 長浜番所跡～香焼教会～円福寺～遠見岳		5月19日(土)	108名
第2回	コース 正瑞寺～金徳寺～みさき道～八幡神社		7月21日(土)	120名
第3回	コース 長崎県庁～大音寺～諏訪神社		9月15日(土)	127名
第4回	コース 為石～法音寺～川原大池		11月17日(土)	84名
第5回	コース 大野教会～神浦神社～光照寺		1月19日(土)	118名
第6回	コース 自証寺～小干の浦殉教地～自証寺		3月15日(土)	112名

■古文書解読講習会

	テーマ	講師	開催日	参加者数
古文書解読講習会(初級・中級編)	長崎 初級	安高啓明(当館研究員)	8月10日(金)	69名
	中級	原田博二(当館研究所長)		
	佐世保 初級	安高啓明(当館研究員)	8月11日(土)	35名
	中級	原田博二(当館研究所長)		

■古文書修復技術講習会

	テーマ	講師	開催日	参加者数
古文書修復技術講習会1	簡単な虫損直し、裏打ち等	富川敦子(当館研究員)	6月25日(月)・26日(火)	7名
古文書修復技術講習会2	大型絵図の修復等	富川敦子(当館研究員)	11月5日(月)・6日(火)	5名

■長崎歴史文化講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回「長崎県の焼き物について」	松下久子(長崎県文化振興課)	4月14日(土)	55名
第2回「黄檗宗の絵画」	植松有希(当館研究員)	6月23日(土)	55名
第3回「長崎奉行所御用絵師について」	越中勇(当館主任研究員)	8月4日(土)	65名
第4回「朝鮮通信使と雨森芳洲」	本馬貞夫(長崎県文化振興課)	10月14日(日)	52名
第5回「蔵書印の世界～本館所蔵資料を中心に～」	平岡隆二(当館主任研究員)	12月8日(土)	42名
第6回「描かれた長崎」	深瀬公一郎(当館研究員)	2月23日(土)	67名

■館長ミュージアムトーク

テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回「博物館の誕生」	大堀哲(当館館長)	5月17日(木)	48名
第1回続き「博物館の始まり」	大堀哲(当館館長)	6月28日(木)	92名
第2回「明治初期の博物館」	大堀哲(当館館長)	8月29日(水)	65名
第3回「明治初期の博物館2」	大堀哲(当館館長)	9月26日(水)	45名
第4回「明治初期の博物館3」	大堀哲(当館館長)	11月22日(木)	33名
第5回「教育博物館と展覧会時代の幕開け」	大堀哲(当館館長)	1月24日(木)	78名
第6回「大正から昭和期の博物館の発達、そしてこれから…。」	大堀哲(当館館長)	3月27日(木)	51名

■特別講演会

テーマ	講師	開催日	参加者数
「世界遺産と博物館整備－イスタンブール歴史地区とハギア・ソフィア大聖堂博物館を事例に－」	水嶋英治氏(常磐大学大学院教授)	7月13日(金)	46名

平成20年度

■長崎学公開講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回 第1部 「長崎における神社とその歴史」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	原田博二(当館研究所長)	4月20日(日)	235名
第2回 「対馬における渡来仏と中世石塔」	大石一久氏(長崎県文化振興課 課長補佐)	5月3日(土)	65名
第3回 第1部 「諏訪神社創建とキリスト教伝来について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	宮田文嗣氏(諏訪神社権禰直) 原田博二(当館研究所長)	6月22日(日)	261名
第4回 「邪馬台国への道 -対馬国の王都は何処-」	高野晋司氏 (長崎県学芸文化課 前文化財指導監)	7月26日(土)	109名
第5回 第1部 「松森神社について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	宮田雅一氏(長崎史談会相談役) 原田博二(当館研究所長)	8月17日(日)	147名
第6回 「中世の対馬と朝鮮半島」	佐伯弘次氏(九州大学大学院教授)	9月13日(土)	131名
第7回 「朝鮮通信使と対馬藩」	岩崎義則氏(九州大学大学院准教授)	9月27日(土)	142名
第8回 第1部 「桜馬場界隈の神社について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	西脇金一郎氏(長崎史談会幹事) 原田博二(当館研究所長)	10月4日(土)	104名
第9回 第1部 「瀨神社、特に桑姫社について」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	日宇孝良氏(長崎史談会幹事) 原田博二(当館研究所長)	12月6日(土)	136名
第10回 「釜山草梁倭館と琉球館」	深瀬公一郎(当館研究員)	1月24日(土)	57名
第11回 第1部 「旧天領7ヶ村の神社とその歴史」 第2部 「スライドで歩く長崎の歴史散歩」	赤瀬浩氏(佐古小学校教諭) 原田博二(当館研究所長)	2月14日(土)	129名
第12回 「対馬の繁栄と苦悩 -その歴史的背景と現代の諸施策を考える-」	本馬貞夫(長崎県文化振興課)	3月14日(土)	79名

■史跡めぐり

テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回 諏訪神社と長崎公園周辺 コース 長崎公園～安禅寺跡～東照宮神社～諏訪神社		5月17日(土)	192名
第2回 松森神社と西山方面 コース 松森神社～西山薬園跡～西山神社～椿原墓地～鉦鹿家墓地		7月19日(土)	189名
第3回 桜馬場天満神社と片淵・夫婦川方面 コース 桜馬場天満神社～トッポ水～後ノ谷		9月20日(土)	125名

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第4回	鳴滝方面 コース 中川八幡神社～光林寺～シーボルト宅跡		11月15日(土)	135名
第5回	焼山方面 コース 後谷～ししこ様祠～焼山～深広寺		1月17日(土)	95名
第6回	城ノ古址とその周辺 コース 桜馬場天満神社～春徳寺～城ノ古址～一瀬橋		3月21日(土)	100名

■古文書解読講習会

	テーマ	講師	開催日	参加者数
古文書解読講習会(初級・中級編)	長崎 初級 中級	安高啓明(当館研究員) 深瀬一郎(当館研究員)	2月21日(土)	51名
	佐世保 初級 中級	安高啓明(当館研究員) 深瀬一郎(当館研究員)	2月22日(日)	18名

■古文書修復技術講習会

	テーマ	講師	開催日	参加者数
古文書修復技術講習会1	簡単な虫損直し、裏打ち等	富川敦子(当館研究員)	10月6日(月)・7日(火)	9名
古文書修復技術講習会2	酸性紙の修復等	富川敦子(当館研究員)	11月10日(月)・11日(火)	9名

■館長ミュージアムトーク

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回	「イタリアへの旅 家庭教育」	大堀哲(当館館長)	5月28日(水)	55名
第2回	「イタリア人のバカンス、おしゃれなイタリア人、サッカー王国イタリア」	大堀哲(当館館長)	7月30日(水)	92名
第3回	「オペラの発祥地イタリア」	大堀哲(当館館長)	9月24日(水)	80名
第4回	「イタリア人の教育」	大堀哲(当館館長)	11月26日(水)	77名
第5回	「イタリア人の食生活」	大堀哲(当館館長)	1月30日(金)	33名
第5回	「イタリア人と日本人」	大堀哲(当館館長)	3月25日(水)	56名

■第1回シリーズ 長崎学エキスパート講座

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回	「古代・中世の長崎」	原田博二(当館研究所長)	6月7日(土)	32名
第2回	「シーボルトと日本魚類学の成立」	平岡隆二(当館主任研究員)	6月21日(土)	18名
第3回	「長崎奉行と抜荷記録」	深瀬一郎(当館研究員)	7月5日(土)	27名
第4回	「長崎の絵画にみる異国的表現」	植松有希(当館研究員)	7月19日(土)	26名
第5回	「長崎奉行所文書の犯科帳」	安高啓明(当館研究員)	8月2日(土)	28名
第6回	「長崎版画とその時代」	越中勇(当館主任研究員)	8月23日(土)	19名

■第2回シリーズ 長崎学エキスパート講座

	テーマ	講師	開催日	参加者数
第1回	「キリシタン時代の文化と科学」	平岡隆二(当館主任研究員)	1月10日(土)	36名
第2回	「海から見た国際貿易都市・長崎」	深瀬一郎(当館研究員)	1月17日(土)	31名
第3回	「近世出版と長崎の絵画における遊里丸山」	植松有希(当館研究員)	1月24日(土)	29名
第4回	「中世の長崎」	原田博二(当館研究所長)	1月31日(土)	38名
第5回	「長崎奉行と犯科帳 - 「抜荷」を中心に -」	安高啓明(当館研究員)	2月7日(土)	29名
第6回	「長崎版画 絵師磯野文斎について」	越中勇(当館主任研究員)	2月14日(土)	21名

■開館3周年記念特別講演会

	テーマ	講師	開催日	参加者数
蝶々さんの原点		市川森一(当館名誉館長)	11月3日(月祝)	95名

2 こども向けプログラム

平成19年度

「ハタづくり・ハタあげ教室」

日 時：4月30日(月・祝) 10:00~14:00

対 象：小学校3年生以上

参加費：1,000円

内 容：長崎伝統の「ハタ」を骨組みや紙張りから行い、午後には希望者のみ立山グラウンドでハタあげの指導を行なう。

講 師：長崎節木塾

会 場：講座室、立山公園グラウンド

参加者：18名



「こどもの日特別企画 佐世保こま体験」

日 時：5月5日(土) 13:00~/14:00~/15:00~
16:00~/17:00~

対 象：小学生以上

参加費：無料

内 容：佐世保独楽かけん玉の色塗りを行なう。佐世保こまや手回しこまを自由に体験できるスペースも設置した。

講 師：佐世保独楽本舗 山本貞右衛門

会 場：1階エントランス

参加者：120名

「七夕教室」

日 時：7月1日(日) 13:00~16:00

対 象：幼児~小学生

参加費：無料

内 容：七夕の時期にあわせ、七夕飾りや短冊を作成したあと、1階エントランスに設置した竹の飾りつけを行なった。

会 場：2階イベントの間

参加者：31名

「奉行所こども芝居組」

日 時：7月25日(水) 10:00~12:30

対 象：小中学生

参加費：無料

内 容：セリフや演技指導を行なったあとに、奉行所のお白洲で演技を行なう

講 師：長崎奉行所芝居組

会 場：2階イベントの間、奉行所復元ゾーン

参加者：9名

「長崎伝統の技 ベっ甲体験」

日 時：8月10日(金) 13:00~14:00/14:00~15:00
15:00~16:00

対 象：小学生~中学生

参加費：500円

内 容：べっ甲でオリジナルのペンダントかストラップを製作した。

講 師：川政べっ甲 川口浩武氏

会 場：1階エントランス

参加者：24名

「長崎伝統の技 染め物体験」

日 時：8月11日(土) 13:00~14:00/14:00~15:00
15:00~16:00

対 象：幼児~中学生

参加費：300円

内 容：企画展シーボルトの水族館にあわせて、魚の絵をもとに、コースターを製作

講 師：長崎の染め塾

会 場：1階エントランス

参加者：41名

「長崎伝統の技 長崎刺しゅう体験」

日 時：8月12日(日) 13:00~15:00/15:00~17:00

対 象：小学生~中学生

参加費：500円

内 容：展示資料にもある長崎刺繍について、歴史的背景や製作技法を学んだ後、桜やペンギンの刺繍体験を行なう

講 師：長崎刺繍再発見塾

会 場：2階イベントの間

参加者：21名

「木で作ろう。昆虫」

日 時：8月12日(日) 13:00~14:30/14:30~16:00

対 象：小学3年~中学生

参加費：500円

内 容：木や枝のパーツを自由に選び、クワガタの模型を製作した。

講 師：長崎節木塾

会 場：1階エントランス

参加者：30名

「博物館探検」

日 時：8月15日(水)、16日(木)

対 象：小学生

参加費：無料

内 容：普段は入れない博物館の裏側を探検します

会 場：バックヤード

参加者：24名

「夏休み自由研究相談会」

日 時：8月15日(水)～16日(木) 14:00～16:00
対 象：小学生
参加費：無料
内 容：夏休みの自由研究の指導と助言
会 場：1階資料閲覧室
参加者：3名

「夏休み作品てらん会」

日 時：8月22日(水)～28日(火) 8:30～19:00
内 容：夏休みのイベント(べっ甲・染物・刺繍・木でつくろう)
で作製した作品を希望者のみお預かりし、作品展を行な
う。
会 場：1階エントランス
参加者：期間中の入館者数12,410名

「紙すき体験とランプシェードづくり」

日 時：9月23日(日) 13:30～15:30
対 象：小・中学生
参加費：500円
内 容：楮を用いた紙すきの体験のあと、その和紙を使って、オ
リジナルのランプシェードを作製
講 師：石田孝氏
会 場：1階講座室・白洲
参加者：21名



「博物館でスケッチ大会」

日 時：11月18日(日) 13:30～16:00
対 象：小・中学生
参加費：無料
内 容：展示資料の説明を聞いたあと、資料のスケッチを行ない、
終了後参加者全員で品評会を行なった
会 場：2階常設展示室
参加者：8名

「月琴体験」

日 時：10月13日(土) 13:30～15:30
対 象：小・中学生
参加費：無料
内 容：月琴の歴史や音階を学んだあと、1曲月琴の音楽を演奏
する
講 師：長崎明清楽保存会
会 場：2階イベントの間
参加者：8名

「こどものための長崎学講座(上野彦馬編)」

日 時：12月15日(土) 13：30～16：00
対 象：小学4年生
参加費：1,000円
内 容：長崎の化学者・写真家である上野彦馬について資料や
DVDで学習したのち、ピンホールカメラを製作した。
会 場：1階講座室
参加者：7名

「お正月かざりをつくろう」

日 時：12月23日(日) 13：30～15：30
対 象：小学3年生～中学生
参加費：500円
内 容：ミニ門松を製作
講 師：長崎節木塾
会 場：1階講座室
参加者：20名

「新春バラモン風絵付け体験」

日 時：1月6日(日) 13：00～14：30／15：00～16：30
対 象：小学生以上
参加費：1,000円
内 容：五島バラモン風に絵付けを行なう
講 師：野原権太郎氏
会 場：1階エントランス
参加者：22名

「新春初遊び(屋外編)」

日 時：1月5日(土) 13：00～15：00
参加費：無料
内 容：羽子板・コマ・竹馬などのお正月のあそびを行なう
講 師：長崎節木塾
会 場：イベント広場
参加者：376名

「新春初遊び(屋内編)」

日 時：1月6日(日) 14：00～16：00
参加費：無料
内 容：お正月の伝統的な遊び(カルタ、福笑い、お手玉など)の
体験
協 力：活水女子大学現代日本文化学科 文化芸術マネジメント
ゼミ
会 場：奉行所復元ゾーン
参加者：72名

「中国あそび体験」

日 時：2月9日(土) 14:00~15:30
対 象：幼児~小学生
参加費：無料
内 容：中国切絵や中国独楽、ジェンズなど遊びの体験を行なう
会 場：2階イベントの間、イベント広場
参加者：37名

「親子南画教室」

日 時：2月17日(日) 13:30~15:30
対 象：小・中学生
参加費：500円
内 容：中国から伝わり、江戸時代に流行した「南画」の体験
講 師：田中正博氏(長崎青房会長)
会 場：1階講座室
参加者：32名

「ガラス絵体験」

日 時：3月22日(土) 14:00~16:00
対 象：小学生以上
参加費：500円
内 容：江戸時代に伝わったガラス絵の技法をもとに、ガラス絵
を体験する
講 師：中村繁勝氏(ガラス絵会)
会 場：1階講座室
参加者：18名

「長崎版画体験」

日 時：3月29日(土) 14:00~16:00
対 象：小学生以上
参加費：300円
内 容：長崎版画(ロシア人、唐船)の体験
会 場：1階講座室
参加者：13名

「こどものへや」

日 時：7月28日・29日、8月25日・26日、11月24日
対 象：幼児から
参加費：無料
内 容：折紙や絵本、昔の玩具を並べ、親子で自由に遊ぶスペースを提供する
会 場：2階イベントの間
参加者：269名

「奉行着付け体験」

日 時：8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、
2月3日、3月2日
14：30～15：30／15：30～16：30

対 象：小学3年～中学生

参加費：無料

内 容：本格的なかつらや袴をつけ、こども奉行に変身

講 師：長崎奉行所芝居組

会 場：2階奉行所復元ゾーン

「おはなし会とからくりおもちゃ」

日 時：4月1日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：民話「べろだしちゃんま」の読み聞かせとからくり玩具
の製作

会 場：2階イベントの間

参加者：32名



「おはなし会とむかしあそび」

日 時：5月5日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：民話「長崎の魚石」の読み聞かせと昔遊びの体験

会 場：2階イベントの間

参加者：24名

「おはなし会と七夕かざり」

日 時：7月7日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：民話「いたずらカッパ」の読み聞かせと七夕飾りの製作

会 場：2階イベントの間

参加者：35名

「おはなし会とてぬぐい作り」

日 時：9月9日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：紙芝居「かぐやひめ」の読み聞かせとくんちてぬぐいの
製作

会 場：2階イベントの間

参加者：25名

「おはなし会とカルタづくり」

日 時：12月8日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：紙芝居「唐人屋敷の抜け穴掘り」の読み聞かせとれきぶんオリジナルかるたの製作

会 場：2階イベントの間

参加者：31名

「おはなし会と節分」

日 時：2月3日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：民話の読み聞かせと鬼のお面の製作

会 場：2階イベントの間

参加者：37名

「おはなし会とひなまつり」

日 時：3月1日 14：00～15：00

対 象：幼児～小学生

参加費：無料

内 容：民話の読み聞かせと折びなの製作

会 場：2階イベントの間

参加者：27名

「南画を描こう」

日 時：6月15日(日) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：南画の歴史的背景のあとに、四君子など代表的な書き方を練習し、南画を描く体験を行なった。

講 師：田中正博氏(長崎青房会長)

会 場：1階講座室

参加者：21名

「月琴をひこう」

日 時：7月20日(日) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：江戸時代に長崎に伝わった明清楽の歴史を学習したあと、代表的な楽器である月琴を演奏した。

講 師：山野誠之氏(長崎明清楽保存会長)

会 場：常設展示室町屋

参加者：11名

「和紙でつくろううちわ」

日 時：7月26日(土) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：和紙でそれぞれちぎり絵のパーツを作成した後に、それを和紙にしきこみ、うちわの骨に貼り付け、オリジナルのうちわを作成した。

講 師：石田孝氏

会 場：1階講座室、2階白洲

参加者：22名

「竹でつくろう飾りバタ」

日 時：8月10日(日) 14:00~15:30

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：木や紙を使い、本格的な飾りバタを作成した。

講 師：長崎節木塾

会 場：1階講座室

参加者：20名

「和紙でつくろうランプシェード」

日 時：10月18日(土) 14:00~15:30

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：和紙の原料について説明したあと、色紙を使いちぎり絵で模様を製作した。その後、紙すきの中にちぎり絵を入れ、オリジナルの和紙を作ったあと、その和紙を用いてランプシェードを作製した。

講 師：石田孝氏

会 場：1階講座室、2階白洲

参加者：19名

「ガラス絵をえがこう」

日 時：10月25日(土) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：江戸時代に長崎に伝わったガラス絵の体験

講 師：濱井隆氏(長崎県美術協会事務局長)

会 場：1階講座室

参加者：13名

「和紙でつくろうクリスマスツリー」

日 時：12月20日(土) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：和紙で切絵を行なった後、紙すきに切絵をしき込み、出来上がった紙を利用してクリスマスツリーを作製した。

講 師：石田孝氏

会 場：1階講座室

参加者：24名

「竹でつくろうお正月飾り」

日 時：12月27日(土) 14:00~15:30

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：竹や松を使って、お正月飾り(門松と掛花)の製作を行なう。

講 師：長崎節木塾

会 場：1階講座室

参加者：親子19組、38名

「屏風をつくろう」

日 時：1月24日(土) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：300円

内 容：展示室で屏風を見学したあと、ミニ南蛮屏風を製作した。

会 場：常設展示室、1階講座室

参加者：2名

「南画をえがこう」

日 時：2月8日(日) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：500円

内 容：江戸時代に長崎に伝わった南画についてのミニ講義と代表的な事象についての描き方の体験。

講 師：田中正博氏(長崎青房会長)

会 場：1階講座室

参加者：13名

「巻物をつくろう」

日 時：3月21日(土) 14:00~16:00

対 象：小学生以上

参加費：300円

内 容：江戸時代の美術に親しんでもらうことを目的に、巻物の観賞と製作を行なう。

会 場：2階イベントの間

参加者：6名

おはなし会「七夕」

日 時：7月5日(土) 14:00~15:00

対 象：幼児~小学生

参加費：無料

内 容：七夕の絵本や紙芝居の読み聞かせの後、笹の飾りを作成した。

会 場：2階イベントの間

参加者：親子15組34名

おはなし会「くんち」

日 時：10月4日(土) 14:00~15:00

対 象：幼児~小学生

参加費：無料

内 容：くんちの絵本や紙芝居の読み聞かせの後、てぬぐいに自由に絵をえがき、オリジナルの手ぬぐいを作成した。

会 場：2階イベントの間

参加者：26名

おはなし会「お正月」

日 時：12月6日(土) 14:00~15:00

対 象：幼児~小学生

参加費：無料

内 容：正月の絵本や紙芝居の読み聞かせの後、れきぶんオリジナルかるたを製作

会 場：2階イベントの間

参加者：親子15組、34名

おはなし会「節分」

日 時：2月1日(日) 14:00~15:00

対 象：幼児~小学生

参加費：無料

内 容：節分についての紙芝居と絵本の読み聞かせのあと、鬼のお面をつくった。

会 場：2階イベントの間

参加者：親子20名

おはなし会「桃の節句」

日 時：3月1日(日) 14:00~15:00

対 象：幼児~小学生以上

参加費：無料

内 容：桃の節句にあわせた絵本や紙芝居の読み聞かせのあと、折紙や画用紙でおひなさまをつくった。

会 場：2階イベントの間

参加者：親子9組28名

「れきぶん検定」

日 時：8月23日(土)

対 象：小学生~中学生

参加費：300円

内 容：企画展「江戸のタイムカプセル」を中心に、れきぶんに関するさまざまな分野から出題する検定

参加者：3名

「れきぶんカルタ大会」

日 時：7月21日(月) 10:30~17:00

対 象：小学生~中学生

参加費：無料

内 容：ウンスンカルタをはじめ、「れきぶん」ならではのいろいろなカルタに挑戦する。

会 場：1階エントランス、常設展示室町屋

講 師：うんすんかるた塾、博物館職員

参加者：49名

「カッパの日」

日 時：7月24日(木) 14:00~15:30

対 象：幼児~大人

参加費：無料(*企画展観覧料が必要)

内 容：芥川龍之介の命日「河童忌」にちなみ、龍之介に関わる資料を紹介した後、河童の話の読み聞かせやスケッチ、折紙などを行なう。

会 場：3階企画展示室

参加者：28名

「れきぶん探険」

日 時：毎週土日と祝日(夏休み期間中)
対 象：小学生以上の子供&保護者
参加費：無料
内 容：博物館の裏側探険

「こどものへや」

日 時：7月22日(火)～8月4日(月)、
8月9日(土)～8月22日(金)(8月19日は除く)
参加費：無料
内 容：たくさんの昔の玩具などを自由に楽しめる無料スペース

「れきぶんクイズラリー」

日 時：夏休み期間中毎日
対 象：小学生～中学生
参加費：無料(*企画展入館料が必要)
内 容：学芸員が作った資料に関するクイズを展示室の中から探して解いていく。

「三味線で聴くわらべ唄」

日 時：8月16日(土)～18日(月)
参加費：無料(*常設展入館料が必要)
内 容：浄瑠璃の一流派、新内節によるわらべ唄の公演
講 師：新内枝幸太夫
会 場：常設展示室内町屋
参加者：88名

「長崎の伝統工芸を体験してみよう！べっ甲」

日 時：8月7日(木)、8日(金)
10：00～／11：00～／13：00～／14：00～／15：00～
対 象：小学生～中学生
参加費：500円
内 容：べっ甲でペンダントやストラップをつくります
講 師：川政べっ甲
会 場：1階エントランス
参加者：80名

「長崎の伝統工芸を体験してみよう！スタンドグラス」

日 時：8月4日(月)～7日(木)
13：00～／14：00～／15：00～
対 象：小学4年生～大人
参加費：400円
内 容：スタンドグラスで、キーホルダーやペンダントストラップづくり
講 師：ながさきやけんスタンドグラス塾
会 場：伝統工芸体験工房
参加者：70名

「長崎の伝統工芸を体験してみよう！長崎刺繍」

日 時：8月8日(金)、29日(金)

13:00～/15:00～

対 象：小学3年生～中学生

参加費：800円(当日参加は1,000円)

内 容：桜やペンギンの刺繍をします

講 師：長崎刺繍再発見塾

会 場：2階イベントの間

参加者：33名

「長崎の伝統工芸を体験してみよう！陶芸(現川焼)」

日 時：8月25日(月)、26日(火)

13:30～/15:00～

対 象：小学生以上

参加費：500円(作品郵送には別途送料が必要)

内 容：素焼きの湯飲みに絵付けを行ないます

講 師：長崎陶芸復興塾

会 場：1階べっ甲

参加者：37名

「長崎の伝統工芸を体験してみよう！染め」

日 時：8月5日(火)、28日(木)

13:00～/14:00～/15:00～

対 象：幼児～中学生

参加費：500円

内 容：型染めのコースター作り

講 師：長崎の染め塾

会 場：1階エントランス

参加者：86名

「れきぶんスケッチウィーク」

日 時：7月28日(月)～8月3日(日) 14:00～15:30

(展示期間8月5日(火)～24日(日))

対 象：小学生～中学生

参加費：300円(材料費、企画展観覧料込み)

内 容：展示室の中で好きな資料を探して、スケッチを行なう

会 場：企画展示室

参加者：21名

「佐世保独楽絵付け体験」

日 時：8月23日(土)

10:00～/11:00～/13:00～/14:00～/15:00～

対 象：小学生以上

参加費：700円

内 容：オリジナルカラーの佐世保独楽をつくります。

講 師：佐世保独楽本舗山本貞右衛門

会 場：1階エントランス

参加者：44名

「新春書初め」

日 時：1月2日(金) 13:00~15:00

参加費：無料

内 容：新年の抱負や今年目標など自由に書いてもらう

講 師：日本習字書道教室ひばり支部(向井進・向井絹枝・松尾昭征・松尾節子氏)

会 場：1階エントランス

参加者：110名

「ウンスンカルタを体験しよう」

日 時：1月3日(土) 10:30~12:30

参加費：無料

内 容：ポルトガルから長崎に伝わり広まった「うんすんかるた」の体験

講 師：長崎伝習所うんすんかるた塾

会 場：1階エントランス

参加者：64名

「お正月あそび」

日 時：1月4日(日) 13:00~16:00

参加費：無料(羽子板製作のみ500円)

内 容：お正月の遊びや昔の遊びを節木塾協力のもと行なう。

講 師：長崎節木塾

会 場：イベント広場

参加者：64名

3 学校との連携

学校団体来館状況

		平成19年度		平成20年度	
		件数	人数	件数	人数
県内	小学校	147	5,347	117	4,413
	中学校	57	2,219	32	1,579
	高等学校	16	481	22	328
	大学	12	220	16	403
	その他	6	315	40	1,120
県外	小学校	191	10,239	365	12,828
	中学校	125	5,146	269	8,268
	高等学校	103	1,890	208	6,906
	大学	2	223	—	—
	その他	6	35	—	—
合計		665	26,115	1,069	35,845

平成19年度

1. 博物館利用検討委員会

平成18年度から学校との連携事業として始めた「博物館利用検討委員会」を本年度も引き続き行った。

<目的>

- ・当館の教育普及事業について学校との連携をはかり、内容の充実改善を行う。
- ・当館を総合学習の授業や日本史等の授業で有効かつ積極的に活用してもらう。
- ・当館の事業について学校側の視点から意見を聴取するためのアドバイザーグループとして機能させ、学校の利用促進につなげる。

<活動期間>

2007年6月27日～2008年2月28日

<委員>

新たなメンバー1名を加え、昨年度活動していただいた5名の委員が本年度も継続して参加することになった。

福田浩久(市立桜町小学校教諭) 村上兼一(市立稲佐小学校教諭) 小川希巳絵(市立上長崎小学校教諭)

宗友博(市立丸尾中学校教諭) 和田裕子(市立緑が丘中学校教諭) 瀬川慈久(市立桜馬場中学校教諭)

○活動内容

- ・学校向けプログラムについての意見交換
- ・子ども向けガイドブックについての意見交換
- ・子ども向けキャプションについての検討
- ・展示に関する意見交換
- ・ワークシートについての検討 等

○実施日

- 第1回 6月27日(水) 18:00~19:00
- 第2回 8月22日(水) 18:00~19:00
- 第3回 10月17日(水) 18:00~19:00
- 第4回 11月27日(火) 18:00~19:00
- 第5回 2月27日(水) 18:00~19:00

2. 博物館利用研修会

当館の展示や教育普及活動について学校関係者に知ってもらい、博物館の利用を促進することを目的に、県内の小中高校の教職員を対象とした研修会を実施した。

日 時：8月1日(水)13:30~16:30
対 象：県内(長崎市外)の小中学校の教員
内 容：13:30~14:00 大堀哲館長講演「博物館と学校教育」
14:00~14:30 教育普及事業について
14:30~16:00 常設展示・企画展「シーボルトの水族館」見学
16:00~16:30 質疑応答

日 時：8月3日(金)13:30~16:30
対 象：長崎市内の小中高校の教職員
内 容：13:30~14:00 大堀哲館長講演「博物館と学校教育」
14:00~14:30 教育普及事業について
14:30~16:00 常設展示・企画展「シーボルトの水族館」見学
16:00~16:30 質疑応答

3. 遠隔授業

離島にある学校と通信回線を使った遠隔システムによる授業を行った。

第1回

日 時：2007年7月10日(火)
対 象：長崎県立壱岐高校2年生(80名) ※日本史専攻者
講 師：大石一久(県文化振興課課長補佐) 安高啓明(当館研究員)
進 行：矢野香織(当館研究員) 下田幹子(当館研究員)
内 容：全体テーマ「鎖国と長崎貿易」
5限目「ヨーロッパとの出会いから鎖国へ」
6限目「長崎貿易ー中国貿易とオランダ貿易」

第2回

日 時：2008年3月14日(金)
対 象：長崎県立壱岐高校2年生(120名) ※文系日本史選択者及び理系地理選択者
講 師：深瀬公一郎(当館研究員) 安高啓明(当館研究員)
進 行：矢野香織(当館研究員) 下田幹子(当館研究員)
内 容：全体テーマ「鎖国と長崎貿易」
5限目「ヨーロッパとの出会いから鎖国へ」
6限目「長崎貿易ー中国貿易とオランダ貿易」

1. 博物館協力校・パートナーズプログラム

平成18年度から19年度までの2年間、学校との連携を強化するために行ってきた博物館利用検討委員会の活動をさらに進化、発展させるため、「博物館協力校」「れきぶんパートナーズプログラム」と名称も新たに活動内容の見直しをはかった。

平成18・19年度は市教育委員会の協力で参加メンバーを推薦してもらったが、本事業では県内の小中高校に通知を出し、参加者の募集を行った。協力校については、博物館の近隣の小中学校に個別に依頼した。

(1) 博物館協力校

<目的>

- ・長崎歴史文化博物館と県内の学校との連携を強化する。
- ・長崎歴史文化博物館を使った効果的な活用方法について検討し、すぐれた活用実践事例をつくる。

<参加校>

市立桜町小学校 市立上長崎小学校 市立伊良林小学校 市立長崎東中学校
市立桜馬場中学校 市立片淵中学校

<委嘱期間>

2008年4月～2009年3月 1年間

<活動内容>

- ・長崎歴史文化博物館の教育プログラムの活用と評価(学校向けプログラム、ワークシート、貸出教材等)
- ・長崎歴史文化博物館の展示や収蔵資料を用いた見学の実践
- ・見学前の出前授業の実践
- ・研修会への参加
- ・研修会での実践事例報告
- ・長崎歴史文化博物館を使った活用事例の記録の作成と評価
- ・長崎歴史文化博物館の教育事業への助言

<特典>

- ・学校行事の一環として利用する場合は、常設展・企画展とも引率の教員を含め無料。
- ・常設展、企画展の下見の際の観覧料の免除
- ・企画展招待券20枚の贈呈
- ・貸出教材の優先貸出し
- ・その他教育プログラムの優先的利用
- ・公式ガイドブックの贈呈
- ・こども向けガイドブックの贈呈
- ・企画展(当館主催事業のみ)図録の贈呈
- ・長崎歴史文化博物館の各種催事等の情報提供

(2) れきぶんパートナーズプログラム

<目的>

学校と博物館との情報交流を通じて両者の連携を強化し、博物館を活用した効果的な学習方法について検討することにより、学校の博物館利用の促進と学校教育の充実に資する。

<参加者>

森山 哲(市立伊良林小学校教諭)	宇土 剛(市立伊良林小学校教諭)
赤瀬妙子(市立伊良林小学校教諭)	福崎 徹(市立伊良林小学校教諭)
中尾里香子(市立伊良林小学校教諭)	田崎 勇(市立伊良林小学校教諭)
村田 巧(市立伊良林小学校教諭)	松本治子(市立伊良林小学校教諭)
平 健太(市立伊良林小学校教諭)	東 啓子(市立伊良林小学校教諭)
田中耕太郎(市立伊良林小学校教諭)	山口由美(市立伊良林小学校教諭)
村上兼一(市立稲佐小学校教諭)	松尾恵子(市立虹が丘小学校教諭)
中山美加(市立西山台小学校教諭)	川口邦春(市立西山台小学校教諭)
梅林一城(市立晴海台小学校教諭)	野口 孝(市立戸町中学校教諭)
福田浩久(西海市立瀬戸小学校教諭)	小林正一(精道三川台中学校教諭)
川端健一(市立西城山小学校教諭)	

<登録>

募集期間 2008年4月～5月(申込み締切5月31日)
活動期間 2008年7月～2009年3月

<活動内容>

- ・研修会への参加
- ・長崎歴史文化博物館の教育プログラムを利用した博物館見学の計画・実践
(例：ワークシート、体験学習 等)
- ・長崎歴史文化博物館の教育プログラムを利用した授業の計画・実践
(例：貸出教材の利用、出前授業、校内展示 等)
- ・長崎歴史文化博物館を使った活用事例の報告(A4 2枚程度)

<特典>

- ・企画展を学校行事の一環として利用する場合は、引率の教員を含め無料
- ・常設展及び当館主催の企画展の観覧料免除
- ・教育プログラムの優先的利用
- ・公式ガイドブックの贈呈
- ・こども向けガイドブックの贈呈
- ・長崎歴史文化博物館の各種催事等の情報提供

<研修会>

第1回研修会	日時：7月30日(水)13：30～17：00	参加者：15名
第2回研修会	日時：9月27日(土)14：00～17：00	参加者：15名
第3回研修会	日時：11月15日(土)13：30～17：00	参加者：8名
第4回研修会	日時：1月10日(土)13：30～17：00	参加者：8名
第5回研修会	日時：2月21日(土)13：30～15：00	参加者：18名

2. 博物館利用研修会

当館の展示や教育普及活動について学校関係者に知ってもらい、博物館の利用を促進することを目的に、県内の小中高校の教職員を対象とした研修会を実施した。

日時：8月11日(月)13：30～16：30

参加者：68名 会場：ホール

内容：博物館の施設紹介、各種見学ツールの紹介、実践事例の紹介、展示室見学

3. 遠隔授業

離島にある学校と通信回線を使った遠隔システムによる授業を行った。

第1回

日 時：2008年7月8日(火)
対 象：壱岐市立盈科小学校6年生 約70名
会 場：常設展示室町屋 県立壱岐高校
講 師：安高啓明(当館研究員) 加藤兼一(当館研究員)
内 容：江戸時代の長崎に関連した博物館資料を紹介しながら、修学旅行で訪れた長崎の町の歴史を振り返り、郷土の歴史と文化への理解を深める。

第2回

日 時：2009年3月18日(水)
対 象：長崎県立壱岐高校2年生 約110名
会 場：常設展示室町屋 県立壱岐高校
講 師：深瀬公一郎(当館研究員) 加藤兼一(当館研究員)
内 容：5時間目「博物館の仕事と資料」は、博物館の役割と学芸員がどのように資料と向き合っているのかをインタビューや「自分の大切なモノ調査」を通じて体験的に学ぶ。6時間目は、博物館の壱岐にまつわる資料を読み解きながら壱岐の歴史を学ぶことにより、学芸員が行う調査研究の仕事について学ぶ。

移動博物館

平成20年度より来館が困難な人々を対象に、また博物館訪問の事前事後学習のために、長崎の歴史文化や博物館の活動を紹介する移動博物館を県内の高齢者福祉施設と学校において開催した。

第1回

日 時：2008年12月9日 参加者：200名
会 場：ケアハウス稲佐の森(長崎市)
内 容：川原慶賀の「年中行事絵」や長崎の正月料理、古写真パネル、リンデン著「長崎の思い出」等の資料を展示した。

第2回

日 時：2009年2月10日 参加者：180名
会 場：長崎市立晴海台小学校体育館
内 容：江戸時代の長崎の貿易、雛人形、南蛮屏風、踏み絵など、複製資料や触れる資料を交えて展示した。

第3回

日 時：2009年2月27日 参加者：61名
会 場：軽費老人ホームサンライフ(大村市)
内 容：キリシタン関係資料や南蛮文化など、大村の歴史に関する資料を展示した。



4 イベント

平成19年度

活水女子大学音楽ボランティア部&聖歌隊によるミニコンサート

日 時：7月16日(月) 14:30~15:30

会 場：1階エントランス

出 演：活水女子大学音楽ボランティア部&聖歌隊

参加者：74名

三味線と民謡による九州の唄あれこれ

日 時：9月16日(日) 13:00~13:50

会 場：奉行所ゾーン

出 演：日本民謡協会 長崎県桃道会

参加者：40名

活水女子大学聖歌隊による クリスマスコンサート

日 時：12月8日(土) 11:00~12:00

会 場：1階エントランス

出 演：活水女子大学聖歌隊

参加者：57名

クリスマス親子ふれ合いコンサート ~小中学生に贈るピアノとフルートの調べ~

日 時：12月15日(土) 15:00~16:00

会 場：1階エントランス

出 演：杉澤葉子(ピアノ) 杉澤玲子(フルート)

長崎観世九阜会 発表会

日 時：12月15日(土) 12:30~16:30

会 場：奉行所ゾーン

出 演：長崎観世九阜会

参加者：150名

レストラン銀嶺ギターの夕べ

日 時：12月23日(日) 19:00~19:30

会 場：レストラン銀嶺

出 演：川口皓武氏(絃洋会ギター講師)

参加者：20名

新春江戸の賑わい 大道芸

日 時：2008年1月2日(水)・1月4日(金) 11:30~12:00/13:00~13:30

会 場：1階エントランス

出 演：長崎江戸芸を楽しむ会

参加者：276名

新春初舞

日 時：2008年1月3日(木) 11：30～12：00／13：30～14：00
会 場：1階エントランス
出 演：長崎大学能楽部
参加者：185名

新春初弾き

日 時：2008年1月5日(土) 11：30～12：00／14：00～14：30
会 場：1階エントランス
出 演：岸川玲子氏他
参加者：125名

Ensemble Windyコンサート 「空～風にのせて～」

日 時：2008年1月19日(土) 13：00～14：00
会 場：1階エントランス
出 演：Ensemble Windy
参加者：103名

奉行所節分 豆まき

日 時：2008年2月3日(日) 16：30～
会 場：奉行所ゾーン
参加者：227名

平成20年度

悲劇の長崎奉行 フェートン号事件

日 時：8月16日(土)・17日(日)
11：30～／13：30～／15：30～
内 容：フェートン号事件発生時の長崎奉行松平図書頭康平の200回忌の追悼公演
出 演：長崎奉行所芝居組
会 場：ホール
参加者：536名

奉行所夏祭り

日 時：8月16日(土)・17日(日) 17：00～21：00
内 容：特設ステージでのパフォーマンスとバザー・ゲームコーナーなど
会 場：1階エントランス、イベント広場
参加者：671名

長崎奉行所 新内寄席～夏の夜の怪談ばなし～

日 時：8月18日(月) 18：30開演
参加費：大人1,000円、小中高生500円
内 容：浄瑠璃の一流派、新内節による怪談話
講 師：新内枝幸太夫
会 場：1階ホール
参加者：141名

れきぶん子泣き相撲

日 時：8月24日 13:00～(12:00より受付)

対 象：1歳前後のお子様

参加費：1,000円(お守り代、大人2名分の企画展・常設展観覧料込み)

内 容：赤ちゃんの泣き声で邪気を払い、赤ちゃんの健康を願う平戸最教寺の神事「子泣き相撲」を当館で開催

会 場：1階エントランス

参加者：480名(1歳前後の赤ちゃん108名)



長崎奉行所新春新内寄席～枝幸太夫師籍30周年記念公演～

日 時：1月10日(土) 13:30～16:30

参加費：1,000円(関係者800円)

出 演：新内枝幸太夫

会 場：1階ホール

参加者：97名

新春初弾～和太鼓

日 時：1月2日(金) 11:30～/13:00～

参加費：無料

内 容：太鼓の実演・披露

出 演：建設長崎職人太鼓

会 場：イベント広場

参加者：567名

新春れきぶんNewYEARコンサート2009

日 時：1月3日(土) 16:00～17:00

参加費：無料

内 容：九州交響楽団首席チャロ奏者を迎えてのチェロ・ソプラノ・ピアノによるコンサート

出 演：西由美子氏、宮田浩久氏ほか

会 場：1階エントランス

参加者：221名

新春初弾き～琴とフルートの調べ～

日 時：1月4日(日) 11:30～/13:30～

参加費：無料

内 容：琴とフルートによるコンサート

出 演：岸川玲子(hミュージック)

会 場：1階エントランス

参加者：157名

新春アフタヌーンジャズコンサート

日 時：1月9日(金) 14:00～15:00

出 演：ジュリアン・バンダービーン(テナーサクソフォン)、藤田めぐみ(ピアノ)

会 場：1階エントランス

参加者：84名

新春初舞

日 時：1月11日(日) 11:30～/13:30～

参加費：無料

内 容：長崎大学の学生による観世流仕舞の披露

出 演：長崎大学能楽部

会 場：1階エントランス

参加者：163名

Ensemble Windyコンサート

日 時：5月3日(土) 11:30～12:00

参加費：無料

内 容：クラシックからジブリ作品まで演奏

出 演：Ensemble Windy

参加者：61名

親子で楽しむハーモニカコンサート

日 時：5月4日(日) 13:00～13:45

参加費：無料

内 容：ハーモニカの演奏会

出 演：長崎ハーモニカ愛好会

参加者：64名

子どもたちによるヴァイオリンコンサート

日 時：5月6日(火) 14:30～15:00

参加費：無料

内 容：子どもたちによるヴァイオリンコンサート

出 演：スズキ・メソード

参加者：84名

ミュージアムコンサート「尺八と民謡」

日 時：6月15日(日) 13:00～14:00

参加費：無料

内 容：大人向けのコンサートとしての尺八と民謡のコンサート

会 場：1階エントランス

出 演：竹友会

参加者：61名

ながさき音楽祭2008 奉行所お月見コンサート

日 時：9月15日(月・祝) 開場19:00～、開演19:30～

参加費：一般1,000円、大学生以下500円

内 容：ながさき音楽祭2008事業の一環。邦楽を奉行所で演奏

会 場：長崎奉行所

出 演：竹山直樹・竹山ミサオ・季文馨氏 他14名

参加者：175名

ながさき音楽祭2008 ジュニアオーケストラコンサート

日 時：9月20日(土) 開演14:00～

参加費：無料

内 容：県内で活動するジュニアオーケストラながさきのコンサート

会 場：1階エントランス

出 演：ジュニアオーケストラながさき

参加者：92名

ふれあいコンサート

日 時：1月31日(土) 14:00～

主 催：長崎県新演奏家協会

出 演：長島由紀子(ソプラノ)、森山達郎(テノール)、岩佐美佳(ピアノ)
後藤美樹(ピアノ)、吉田麻衣子(ピアノ)

インド瞑想ライブ～古代文明の響き～

日 時：3月6日(金) 開場18:00、18:30～20:30

参加費：当日2,000円、前売り1,800円、関係者割引(職員・友の会)1,500円

内 容：インドの伝統楽器、シタール、タブラ、ガダムを使ったインド古典音楽の演奏

出 演：瞑想図 加藤貞寿(シタール)、瀬川UKO(タブラ)、久野隆昭(ガダム)

会 場：1階ホール

参加者：110名

伝統芸能 ながさき地域シリーズ こども芸能大会プレイベント

日 時：9月27日(土) 14:00～14:50

参加費：無料

内 容：伝統芸能の公演

会 場：1階エントランス

出 演：諫早のんのこ連、目代町浮立保存会

参加者：51名

伝統芸能 ながさき地域シリーズ こども芸能大会プレイベント

日 時：12月7日(日) 13:30～15:00

参加費：無料

内 容：西海町中浦に伝わる伝統芸能「中浦浮立」の披露による賑わいの創出

会 場：奉行所階段下、イベント広場

出 演：中浦浮立保存会

参加者：338名

長崎伝統工芸まつり

日 時：5月4日(日) 10:00～17:00

参加費：体験のうち、コースターづくりのみ500円

内 容：長崎の伝統工芸の周知と塾生の作品発表の場の提供

協 力：五塾(銀細工・現川焼・ステンドグラス・染め・長崎刺繍)川政べっ甲

参加者：1,624名

奉行所節分豆まき

日 時：2月3日(火) 16:30～

会 場：奉行所

参加者：127名

5 ボランティア

平成19年度

〈ボランティア募集・研修〉

ボランティア募集時期 4月～5月(展示案内ボランティアのみ)

ボランティア研修 6月～10月 全10回

〈研修内容〉

	日時	テーマ	講師
第1回	6月7日(木)17:00～18:00	説明会 1. 博物館の概要 2. ボランティア活動について	大堀哲(長崎歴史文化博物館長) 野間誠二(統括マネージャー) 原田博二(長崎歴史文化博物館研究所長)
第2回	6月23日(土)17:00～18:00	奉行所展示について1	安高啓明(長崎歴史文化博物館研究員)
第3回	7月14日(土)17:00～18:00	奉行所展示について2	安高啓明(長崎歴史文化博物館研究員)
第4回	7月28日(土)17:00～18:00	歴史文化展示について1	深瀬公一郎(長崎歴史文化博物館研究員)
第5回	8月4日(土)17:00～18:00	歴史文化展示について2	平岡隆二(長崎歴史文化博物館主任研究員)
第6回	8月25日(土)17:00～18:00	美術・工芸展示について	植松有希(長崎歴史文化博物館研究員)
第7回	9月1日(土)17:00～18:00	収蔵品について	越中勇(長崎歴史文化博物館主任研究員)
第8回	9月22日(土)17:00～18:00	体験コーナーについて	平岡隆二(長崎歴史文化博物館主任研究員) 一瀬勇士(長崎歴史文化博物館研究員)
第9回	10月13日(土)都合により中止	非常時の対応等	長崎市中央消防署職員
第10回	10月27日(土)17:00～18:00	修了式、本登録の手続き	大堀哲(長崎歴史文化博物館長) 矢野香織(長崎歴史文化博物館研究員)

〈平成19年度登録者数〉

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	145名	男65名 女80名	59.9歳	長崎市内 128名 長崎市外 17名
寸劇	32名	男14名 女18名	56.2歳	長崎市内 23名 長崎市外 9名
古文書	17名	男3名 女14名	68.4歳	長崎市内 12名 長崎市外 5名

展示案内ボランティア内訳145名(ガイド35名、英語13名、中国語9名、業務支援23名)

〈活動内容〉

①展示案内ボランティア

2階常設展示室(歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン)内で来館者への展示解説(定点)や誘導等。企画展「ながさき地域シリーズ 五島の教会群」においても活動。

1. ガイドグループ

ガイドボランティアによる常設展示室の毎日の定時案内(10:30/14:30)を昨年度から始めた。しかし、案内時に来館者があまり集まらない、土日祝日の寸劇開催時には案内の途中で寸劇を見に行ってしまう、ガイドボランティアの人員不足等の問題があった。そのため時間の変更等も行ったが、最終的には定時案内を廃止した。代わりに事前申込がなくてもガイドボランティアが活動していれば、案内申込を随時受け付けるという方式に変更した。

2. 外国語グループ

事前申込による外国語案内希望はなし、個人客の対応。英語グループは3Dシアターで上映している「長崎奉行の1年」の要約、寸劇の要約、歴史文化展示ゾーン町屋の年中行事にあわせた季節展示の英語解説を作成。中国語グループは、音声ガイドの内容を利用した勉強会を開催。

3. 業務支援グループ

発送作業、ボランティア通信作成、新聞の切抜き、イベントの補助等

ボランティアの活動紹介、職員の紹介、博物館イベント等の情報を掲載したボランティア通信「風説書」の発行を開始。季刊発行。

4月 創刊準備号、7月 創刊号、10月 2号、1月 3号を発行。

②寸劇ボランティア

これまで寸劇は1日6回(10:00/11:00/12:00/14:00/15:00/16:00)の公演を行ってきた。しかし、劇団ちゃんぽん、寸劇ボランティアからの要望があり、時間が早く見学者が少ないことが多い10:00の回をやめ、1日5回公演とした。そのためこれまで寸劇ボランティアに活動時間に関わらず支払っていた活動協力費(昼食代)を5時間以上の活動を行った場合のみ支払うという規定の変更を行った。

平成19年度の演目「嫁盗み」、「くんち奉納踊り訴え」

③古文書ボランティア

今年度発行「長崎歴史文化博物館 長崎歴史文化研究所史料叢書一 長崎奉行所関係史料」の翻刻協力。

〈規定変更〉

- ・ボランティアの更新時期を変更(10月末→年度末の3月)
- ・ガイドボランティアの定時案内廃止
- ・寸劇開催回数の変更(6回→5回)
- ・寸劇ボランティアの活動協力費支給条件変更(条件無→5時間以上の活動必要)

〈その他研修〉

(1)スキルアップ研修

スキルアップ研修(計12回) 講師：原田博二(長崎歴史文化博物館研究所長)

時間：17:00～19:00

	テーマ
4月	唐通事の家系
5月	大航海時代
6月	阿蘭陀通詞
7月	長崎警備
8月	美術工芸 1
9月	美術工芸 2
10月	シーボルトとそのコレクションについて
11月	石崎融思筆「唐蘭館絵巻」
12月	唐人屋敷と中国貿易
1月	川原慶賀筆「唐蘭館絵巻」
2月	長崎の町とその変遷
3月	長崎奉行所

(2)他博物館等視察・交流

12月 九州国立博物館ボランティアとの交流会

平成20年度

〈ボランティア募集・研修〉

ボランティア募集時期 4月～5月(展示案内ボランティアのみ)

ボランティア研修 6月～10月 全10回

寸劇ボランティアは常時募集、古文書ボランティアの募集はなし。

〈研修内容〉

	日時	テーマ	講師
第1回	6月14日(土)17:00～18:00	説明会 1. 博物館の概要 2. ボランティア活動について	大堀哲(長崎歴史文化博物館長) 野間誠二(統括マネージャー) 原田博二(長崎歴史文化博物館研究所長)
第2回	6月21日(土)17:00～18:00	ボランティアによる展示案内	荒濱茂、池田正豊、中尾勇次、田中勝(ボランティア)
第3回	7月5日(土)17:00～18:00	奉行所展示について	安高啓明(長崎歴史文化博物館研究員)
第4回	7月26日(土)17:00～18:00	歴史文化展示について1	深瀬公一郎(長崎歴史文化博物館研究員)
第5回	8月2日(土)17:00～18:00	収蔵品について	越中勇(長崎歴史文化博物館主任研究員)
第6回	8月23日(土)17:00～18:00	美術・工芸展示について	植松有希(長崎歴史文化博物館研究員)
第7回	9月13日(土)17:00～18:00	歴史文化展示について2	平岡隆二(長崎歴史文化博物館主任研究員)
第8回	9月27日(土)17:00～18:00	体験コーナーについて	平岡隆二(長崎歴史文化博物館主任研究員) 一瀬勇士(長崎歴史文化博物館研究員)
第9回	1月21日(水)16:00～17:00 (10月から1月に日時変更)	非常時の対応等	長崎市中央消防署職員
第10回	10月18日(土)17:00～18:00	修了式、本登録の手続き	大堀哲(長崎歴史文化博物館長) 久保憲司(長崎歴史文化博物館研究員)

〈平成20年度登録者数〉

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	157名	男68名 女89名	65.6歳	長崎市内 138名 長崎市外 19名
寸劇	21名	男11名 女10名	59.4歳	長崎市内 16名 長崎市外 5名
古文書	17名	男3名 女14名	69.4歳	長崎市内 12名 長崎市外 5名

〈活動内容〉

①展示案内ボランティア

2階常設展示室(歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン)内で来館者への展示解説(定点)や誘導等。

- ・「江戸のタイムカプセルー日蘭のコレクションに見る近世長崎ー」
- ・「企画展ながさき地域シリーズ 宝の島 対馬」
- ・「バチカンの名宝とキリシタン文化」
- ・「吉村作治の新発見！エジプト展」 以上4つの企画展においても活動。

1. ガイドグループ

事前申込と当日申込の団体への常設展示室内通しての展示案内。

4月から5月に全4回のガイドボランティア養成の研修を開催。研修後5名の方がガイドボランティアとして登録。

2. 外国語グループ英語

外国人来館者への展示案内・誘導。

英語グループは寸劇の要約、歴史文化展示ゾーン町屋の年中行事にあわせた季節展示の英語解説を作成。季節展示の英語解説がすべて完成。中国語グループは、音声ガイドの内容を利用した勉強会を開催。

3. 業務支援グループ

発送作業、ボランティア通信作成、新聞の切抜き、図書整理、イベントの補助等。
ボランティア通信「風説書」4月4号、7月5号、10月6号、1月7号を発行。

②寸劇ボランティア

土日祝日に奉行所お白洲で行う寸劇に出演・準備作業等。寸劇内容は犯科帳に記載された事件に基づいており、半年に1回の割合で別の事件の寸劇に変更。

平成20年度の演目「ペーロン競漕喧嘩事件」、「偽キリシタン事件」

③古文書ボランティア

当館研究所長を中心に長崎奉行所関係史料等の翻刻作業。

〈その他研修〉

(1)ガイドボランティア養成研修(全4回)

	日時	テーマ	講師
第1回	4月28日(月) 17:30~18:30	美術・工芸展示について	植松有希(長崎歴史文化博物館研究員)
第2回	4月30日(水) 17:30~18:30	大航海時代・オランダとの交流・長崎遊学・日本の近代化と長崎	平岡隆二(長崎歴史文化博物館主任研究員)
第3回	5月2日(金) 17:30~18:30	朝鮮との交流・長崎貿易・貿易都市長崎・長崎警備	深瀬公一郎(長崎歴史文化博物館研究員)
第4回	5月8日(木) 17:30~18:30	長崎奉行所ゾーンについて	安高啓明(長崎歴史文化博物館研究員)

(2)スキルアップ研修(計12回) 講師：原田博二(長崎歴史文化博物館研究所長)

時間：17:00~19:00

	テーマ
4月	地役人(「貿易都市長崎」)
5月	長崎と石橋
6月	シーボルトとそのコレクション
7月	芥川龍之介と河童屏風
8月	唐寺
9月	唐寺2・興福寺
10月	江戸時代の長崎貿易
11月	出島
12月	出島
1月	中国との交流・唐人屋敷
2月	黄檗宗
3月	ポルトガル船の来航 ~平戸開港から横瀬浦まで~

(3)他博物館等視察・交流

- 5月 熊本城、佐賀県立佐賀城本丸歴史館見学
- 10月 佐賀県立名護屋城博物館、唐津城見学
- 12月 長崎県美術館、長崎原爆資料館、出島ボランティアとの交流会
- 3月 九州国立博物館ボランティア英語部会との交流会

- ・今年度は業務支援ボランティアの登録が増加したため、今後の募集について検討が必要。
- ・団体の案内希望が増加しているが、ガイドボランティアが少ないので募集・養成が必要。
- ・ボランティアからの指摘、意見等の伝達システムが不十分。

1 収蔵資料・資料貸出

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約48,000点が長崎歴史文化博物館に移管された。

旧県立美術博物館所蔵	約2,000点(美術工芸1,830点 歴史178点)
旧長崎市立博物館所蔵	約16,000点(歴史10,300点 近代美術4,500点 近現代1,200点)
県立長崎図書館所蔵	約30,000点(文書・図書)

指定文化財

○国指定重要文化財

安政二年「日蘭条約書」
紙本著色泰西王侯図屏風 六曲一双屏風 1612～1614年頃
長崎奉行所関係資料 1,242点

○県指定文化財

刀・対州住長幸
刀・肥前国忠吉
青方文書
永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

川原慶賀筆 紙本著色瀉血手術図 江戸後期
紙本著色南蛮人来朝図屏風 六曲一双屏風 慶長年間
川原慶賀筆 唐蘭館絵巻 文政期頃

資料画像の貸出件数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
135件	328件	435件	362件

資料の貸出し

平成19年度

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
1	西遊旅譚 寛政6年/巻之1	13 106-2 1-2			
2	勇魚取図絵 上/(文政12年)	ハ17 341 1			
3	勇魚取図絵 下/(文政12年)	ハ17 341 2			
4	有田焼三ツ組鉢	陶(日本)4-1	シーボルト記念館	第47回企画展 「シーボルトと鯨」	2007年7月10日～9月6日
5	有田焼三ツ組鉢	陶(日本)4-2			
6	有田焼三ツ組鉢	陶(日本)4-3			
7	清水寺末次船絵馬下絵	船舶13	鳥根県立古代出雲 歴史博物館	世界遺産へ 「輝きふたたび 石見銀山展」	2007年7月14日～9月24日
8	薬種寄 天保7丙申年ヨリ/ク印ノ部	17 183-2 16			
9	薬種寄 天保7丙申年ヨリ/コ印ノ部	17 183-2 21			
10	薬種寄 天保7丙申年ヨリ/セ印ノ部	17 183-2 32			
11	見帳 卯年	17 83-2 114			
12	見帳 文化10年	17 83-2 19			
13	見帳 文政8年	17 83-2 55			
14	柳下鶴図	A1イ0153	神戸市立博物館	特別展「西洋の青 ンブルーをめぐって」	2007年7月21日～9月2日
15	鷹匠図	A2イ0052			
16	富嶽図	A2イ0053			
17	犯科帳 113/自天保6年至同7年	B)14 1-1 113			
18	唐阿蘭陀申渡 天保6年～文久元年/第1	B)17 6-1 1			
19	明安調方記 1	へ17 230-1			
20	明安調方記 2	へ17 230-2			
21	蘭人鷹狩図	絵(長崎)38			
22	泰西王侯図屏風	A2イ0051	サントリー美術館	BIOMBO/屏風 日本の美	2007年9月1日～12月16日
23	泰西王侯図屏風	A2イ0051	大阪市立美術館	BIOMBO/屏風 日本の美	2007年9月1日～12月16日
24	麒麟図	A1			
25	柳二鶏	A1イ0042	秋田市立 千秋美術館	秋田蘭画とその時代展	2007年9月27日～11月4日
26	海棠黄鳥図	絵(長崎)114			
27	阿蘭陀屋敷図	3 6-2			
28	諸厄利亜語林大成草稿 卷一～卷四 一	840-1-1			
29	諸厄利亜語林大成草稿 卷五～卷八 二	840-1-2			
30	諸厄利亜語林大成草稿 卷九～卷十二 三	840-1-3			
31	諸厄利亜語林大成草稿 卷十三～卷十五 四	840-1-4			
32	諸厄利亜語林大成抜稿 卷五～卷八 二	840-2-1			
33	諸厄利亜語林大成抜稿 卷九～卷十二 三	840-2-2			
34	諸厄利亜語林大成抜稿 卷十三～卷十五 四	840-2-3			
35	長崎諸役場繪圖	図101			
36	長崎細見之図	図113			
37	〔和蘭屋敷図〕	図137			
38	出島平面地図	図139			
39	出島平面地図	図140			
40	出島オランダ屋敷平面図	図141			
41	出島図	図159			
42	〔長崎港図〕	図182			
43	出島図	図364	長崎市教育委員会	第6回展覧会 出島繪圖	2007年10月5日 ～2008年3月31日
44	肥前長崎圖	図5			
45	〔出島図〕(長崎諸地図)	図52			
46	長崎諸役場繪圖	図99			
47	長崎板画 出島図版木	木(日本)38			
48	出島図(文献社版)	版(長崎)58			
49	花月蘭人遊饗図	絵48			
50	長崎古今集覧名勝圖繪稿本 上	絵(長崎)142-1			
51	長崎古今集覧名勝圖繪 中	絵(長崎)142-2			
52	長崎古今集覧名勝圖繪 下	絵(長崎)142-3			
53	唐蘭館絵巻	絵(長崎)42-1			
54	大浦真景図	複製19			
55	長崎図屏風・半双	複製56			
56	フェートン号図(崎陽録)	軍事1			
57	伊万里焼五艘船茶碗	陶(日本)11			
58	伊万里焼出島蘭館図染付大皿	陶(日本)21			
59	亀山焼長崎港染付瓶掛	陶(長崎)21			
60	亀山焼駱駝染付蘭文入盃	陶(長崎)85			
61	シーボルト肖像画	18 16-1	福山市鞆の浦 歴史資料館	特別展鞆まるごと博物館 「鞆の町並みと商家の賑わい」	2007年10月12日～11月25日
62	出島図	絵(長崎)485			
63	瀬戸内海地図屏風	A1イ0004	八代市立博物館 未来の森ミュージアム	小西行長-Don Adostinho-	2007年10月19日～11月25日
64	南蛮人交易図	A1イ0151			
65	弾琴図	A2イ0003			

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
66	係米夷参府拝礼事件雑録 安政巳年	13 620			
67	米夷参府拝礼雑記	13 653	たばこと塩の博物館	特別展「幕末ニッポン」	2007年11月11日 ～2008年1月25日
68	阿蘭陀茶臼	Fイ0013			
69	渡辺与平 落ち椿	絵(長崎)145			
70	渡辺与平 夕刊売	絵(長崎)146			
71	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 1			
72	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-10			
73	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-11			
74	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-12			
75	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-13			
76	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-14			
77	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-15			
78	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-16			
79	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-17			
80	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-18			
81	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-19			
82	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 2			
83	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-20			
84	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-21			
85	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-22			
86	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-23			
87	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-24			
88	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-25			
89	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-26			
90	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-27			
91	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-28			
92	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-29			
93	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 3			
94	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-30			
95	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-31			
96	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-32			
97	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-33			
98	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-34			
99	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-35			
100	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-36			
101	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-37			
102	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-38	長崎県美術館	渡辺与平展	2007年11月20日～ 3月23日
103	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-39			
104	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 4			
105	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-40			
106	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-41			
107	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-42			
108	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-43			
109	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-44			
110	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-45			
111	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-46			
112	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-47			
113	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-48			
114	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-49			
115	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 5			
116	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-50			
117	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-51			
118	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-52			
119	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-53			
120	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-54			
121	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-55			
122	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-56			
123	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-57			
124	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-58			
125	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-59			
126	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155- 6			
127	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-60			
128	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-61			
129	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-62			
130	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-63			
131	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-64			
132	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-65			
133	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-66			
134	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-67			
135	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-68			

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
136	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-69			
137	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-7			
138	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-70			
139	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-71			
140	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-72			
141	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-73			
142	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-74	長崎県美術館	渡辺与平展	2007年11月20日～3月23日
143	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-75			
144	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-76			
145	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-77			
146	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-8			
147	渡辺与平 画稿	絵(長崎)155-9			
148	外国船具図 原図松浦伯爵家蔵	3 13-1			
149	唐船之図 巻1 / 唐船及和蘭船絵巻物 / 原図松浦伯爵家所蔵	3 7-2 1			
150	唐船之図 巻2 / 唐船及和蘭船絵巻物 / 原図松浦伯爵家所蔵	3 7-2 2			
151	長崎港図	A1イ0051			
152	和蘭船のある外国風景	A2ニ0010			
153	蘭船図	A2ノ0010			
154	洋人男女図	A2ノ0012			
155	蘭船図	A2ノ0020			
156	蘭船図	A2ノ0029			
157	長崎風景眼鏡絵 阿蘭陀船之図	A2ノ0049-004	たつの市立龍野 歴史文化資料館	描かれた船	2008年1月21日～4月4日
158	長崎風景眼鏡絵 梅ヶ崎之図	A2ノ0049-007	(たつの市教育委員会)		
159	唐船入津図	A2ノ0062			
160	阿蘭陀船図	A3ノ0012			
161	帆船	A3ノ0053			
162	阿蘭陀船図	A3ノ0070			
163	阿蘭陀船図	A3ノ0072			
164	阿蘭陀船入津ノ図	A3ノ0073			
165	ロシア船之図	版(長崎)22			
166	オランダ船図	絵55			
167	崎陽大浦真景図	絵(長崎)105			
168	フェートン号図(崎陽録)	軍事1			
169	五島福江城郭 嘉永3年	3 150-1			
170	旧福江之図	3 153-2	五島観光歴史資料館	五島領古地図展	2008年2月18日～4月15日
171	五島之古図	3 24-2			
172	五島鯛之浦略測図	3 91			
173	五島に於ける鯨捕沿革図説 天保2年卯仲冬 / 1	17 60-2 1			
174	五島に於ける鯨捕沿革図説 天保2年卯仲冬 / 2	17 60-2 2			
175	五島に於ける鯨捕沿革図説 天保2年卯仲冬 / 3	17 60-2 3			
176	御家并御家中諸家有川氏系図	ア13 39	新上五島町鯨賓館 ミュージアム(新上 五島町教育委員会)	青方文書、故郷に帰る	2008年2月20日～4月15日
177	太之浦難船唐船記録 3	ア14 4 3			
178	有川組鯨突揚并組入目年々指引目録仕上帳 自元禄4未年至享保13申年	ア17 13			
179	覚 宝暦2年申6月 / 鯨組仕法	ア17 47			
180	有川組諸勤式 文政13年寅6月	ア17 9			
181	西海鯨鯢記、有川組諸勤式有川鯨組式法定	ハ17 40			
182	シーボルト肖像画	18 16-2			
183	瀉血手術図	A2ノ0011			
184	年中行事絵 諏訪社頭図	A2ノ0036			
185	年中行事絵 正月図	A2ノ0037			
186	年中行事絵 餅搗き図	A2ノ0054			
187	年中行事絵 正月図	A2ノ0055			
188	年中行事絵 七夕図	A2ノ0057			
189	年中行事絵 花見 宮詣で	A2ノ0060			
190	年中行事絵 菊競 観菊会	A2ノ0061			
191	唐館蘭館図絵巻	A2ノ0065	日本外科学会 長崎県美術館	医学史展覧会	2008年3月1日～6月20日
192	年中行事絵 雛祭り	A2ノ0066			
193	年中行事絵 観菊会	A2ノ0067			
194	年中行事絵 七夕	A2ノ0068			
195	年中行事絵 面浮立	A2ノ0069			
196	産科医療器具	F口0002-004			
197	医療器具	F口0002-006			
198	外科医療器具	F口0002-007			
199	肖像写真(楠本イネ・タカ)	G51			
200	薬箱	Gフ0002			

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
201	医家薬箱	医学3			
202	解剖図(平三郎解剖図)	医学4			
203	解剖図(平三郎解剖図)	医学4			
204	解剖図(平三郎解剖図)	医学4			
205	解剖図(平三郎解剖図)	医学4			
206	解剖図(平三郎解剖図)	医学4	日本外科学会 長崎県美術館	医学史展覧会	2008年3月1日～6月20日
207	解剖図(平三郎解剖図)	医学4			
208	解剖図(平三郎解剖図)	医学4-1			
209	解剖図(平三郎解剖図)	医学4-2			
210	薬箱	医学6			
211	蘭人外科療治図	版(長崎)19			
212	出島図	絵(長崎)485			
213	南蛮人來朝之図	A1イ0001			
214	紅毛人逍遙図	A2ニ0004			
215	洋人散歩図	A2ノ0002			
216	弹琴図	A2ノ0003			
217	蘭人食事之図	A2ノ0033			
218	オランダジン	A3ノ0029			
219	オランダ人	A3ノ0033			
220	紅毛船持渡象之図	A3ノ0038			
221	阿蘭陀人黒坊戲并犬図	A3ノ0045	府中市美術館	南蛮の夢、紅毛のまぼろし	2008年3月15日～5月11日
222	オランダ人遠眼鏡	A3ノ0046			
223	阿蘭陀人食事之図	A3ノ0068			
224	阿蘭陀船図	A3ノ0092			
225	生写異国人物図弘郎察小娘引犬散歩之図	A3ロ0122			
226	螺鈿蒔絵花樹鳥文聖龕	Dホ0048			
227	螺鈿蒔絵四季彩洋櫃	Dホ0053			
228	南蛮人蒔絵印籠	Dホ0056			
229	ウンズンカルタ	民具12			
230	ラクダ図	版(長崎)64			
231	青緑山水扇面画幅	A1イ0012			
232	双鶴之図	A1イ0025			
233	花鳥図	A1イ0032			
234	富貴毫蓋図	A1イ0069			
235	梅花書屋図	A1イ0071			
236	覆瓶画箋	A1イ0157			
237	迎東方朔図	A1イ0160			
238	納涼図	A1イ0203			
239	三仙人図	A1イ0204	長崎県美術館	川原慶賀と江戸後期の長崎派	2008年3月7日～6月22日
240	●風七月図	A1イ0205-001			
241	秋景山水図	A1ロ0020			
242	春山聳翠図	A1ロ0110			
243	唐人・紅毛人図	A2ノ0004			
244	平安福寿図	A2ノ0005			
245	プロムホフ夫人図	A2ノ0035			
246	布晒し図	A2ノ0045			
247	雪中山水図	絵(長崎)358			
248	南蛮復元楽器	Fイ0138	大村市教育委員会	天正少年3000日の旅	2008年3月20日～3月29日

平成20年度

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
249	東海道神奈川之勝景	A3□0111			
250	横浜交易西洋人荷物運送之図	A3□0112			
251	神奈川横浜新開港図	A3□0113			
252	横浜本町景港崎街新廓	A3□0115			
253	横浜売物図絵唐物店之図	A3□0116			
254	横浜売物図絵之内横浜唐物店図	A3□0117			
255	横浜休日佛蘭西人馬遊行	A3□0123			
256	横浜休日魯西亜人遊行	A3□0124			
257	横浜休日亜墨利加人遊行	A3□0126			
258	亜墨利加之商人小樹之桜を求めて大いに歓喜之図	A3□0130			
259	横浜商館真図	A3□0143			
260	外国人衣服仕立之図	A3□0157			
261	五ヶ国異人酒宴之図	A3□0159			
262	外国人どんたく遊らん行歩乃図	A3□0161			
263	亜墨利加国蒸気船中之図	A3□0163			
264	亜墨利加人之図パン製ノカマト	A3□0166			
265	横浜岩亀梯子供手踊之図	A3□0180			
266	武州神奈川横浜之風景	A3□0182			
267	武州横浜八景之内朝市乃雪	A3□0188			
268	武州横浜八景之内道行の遠鐘	A3□0189			
269	武州横浜八景之内本村の夕照	A3□0191			
270	武州横浜八景之内野毛乃晴風	A3□0192			
271	新板万国人物尽	A3□0195			
272	諸国名勝尽競之内佛蘭西把里須府	A3□0196			
273	万国名勝尽競之内魯西亜本都伯徳	A3□0207	そごう美術館	横浜浮世絵展(仮称)	2008年7月1日～9月15日
274	馬車船往來寿古録	A3□0211			
275	横浜海岸鉄道之図	A3□0214			
276	鉄道独案内	A3□0216			
277	AMERIKAZIN遊興	A3□0220			
278	異人遊興図	A3□0230			
279	生写南京人之図	A3□0233			
280	神奈川横浜一覽	A3□0245			
281	亜墨利加賑之図	A3□0253			
282	英吉利西竜道大港	A3□0254			
283	横浜英吉利西商館繁栄図	A3□0265			
284	横浜商館天主堂図	A3□0274			
285	無題(着せかえおもちゃ絵)	A3□0320			
286	新橋鉄道蒸気車之図	A3□0325			
287	横浜鉄道蒸気出車之図	A3□0326			
288	梅園唱歌図	A3□0345			
289	欧州管絃楽合奏之図	A3□0346			
290	写生猛虎之図	A3□0358			
291	舶来大象図	A3□0361			
292	横浜新海地高島町鉄道之真景	A3□0374			
293	武州横浜の景	A3□0377			
294	絵入名所横浜新図	A3□0380			
295	横浜勝競本町通神奈川県庁より時計台の一覽	A3□0381			
296	金港美人揃尾上町富貴楼	A3□0383			
297	日本西洋婦人束髪図会	A3□0388			
298	北亜墨利加人物ベルリ像	A3□0398			
299	万国人物絵 明和6年秋日元厚求	3 106- 1			
300	伊東マンショ肖像画	A2Ha300			
301	メスキータ神父肖像画	A2ni301			
302	南蛮人之図	A2ノ0032			
303	漢洋長崎居留図巻	A2ノ0039			
304	万国人物図	A3ノ0013	国立民族学博物館		
305	阿蘭陀人読書図	A3ノ0028			
306	阿蘭陀人図	A3ノ0034			
307	プチャーチン像	A3ノ0057		アジアとヨーロッパの肖像	2008年9月11日 ～2009年3月29日
308	万国地図B(世界万国日本ヨリ海上里数、王城人物図)	A3ノ0060			
309	阿蘭陀人・咬●●黒坊	A3ノ0076			
310	唐人・紅毛人図	A2ノ0004			
311	万国人物図(世界人形図)	A3ノ0014	国立美術館 国立国際美術館		
312	阿蘭陀人之図	A3ノ0035			
313	阿蘭陀婦人之図	A3ノ0043			

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
314	万国地図A(万国人物之図)	A3ノ0059	福岡アジア美術館		
315	万国人物絵 明和6年秋日元厚求	3 106- 1			
316	漢洋長崎居留図巻	A2ノ0039			
317	万国人物図	A3ノ0013			
318	ブチャーチン像	A3ノ0057			
319	万国地図B(世界万国日本ヨリ海上里数、王城人物図)	A3ノ0060			
320	阿蘭陀女人	A3ノ0077			
321	阿蘭陀人之図	A3ノ0097			
322	本木仁太夫良永之絵像	18 80- 3			
323	本木庄左衛門正栄並同夫人之絵像	18 80- 4			
324	万国人物之図 正保丁酉 長崎津開板	3 26- 2			
325	伊東マンショ肖像画	A2Ha300			
326	メスキータ神父肖像画	A2ni301			
327	万国人物図巻	A2ノ0021			
328	ブチャーチン像	A3ノ0057			
329	万国地図B(世界万国日本ヨリ海上里数、王城人物図)	A3ノ0060	神奈川県立 歴史博物館		
330	唐人・紅毛人図	A2ノ0004			
331	万国人物図巻	A2ノ0022			
332	万国人物図(世界人形図)	A3ノ0014			
333	万国地図A(万国人物之図)	A3ノ0059			
334	阿蘭陀人男女図	A3ノ0078			
335	阿蘭陀人読書図	A3ノ0095			
336	阿蘭陀人図	A3ノ0096			
337	アジア図	Fイ0078			
338	諸藩船徽 慶応2年	B)14 154- 2		福山市鞆の浦 歴史資料館	開館20周年記念特別展 坂本龍馬といろは丸事件
339	諸家届伺船買入御附札御条約外之船渡来達留 安政6年～慶応元年	B)14 34- 7 1			
340	諸家届伺船買入御附札御条約外之船渡来達留 慶応2年	B)14 34- 7 2			
341	山口伝女画像	画像(長崎)10	長崎県美術館	長崎の美術 4 彭城貞徳展	2008年10月15日 ～2009年3月15日
342	真野浩四郎画像	画像(長崎)8			
343	富士山図	絵(長崎)503			
344	Yedo and Peking	2 31	シーボルト記念館	シーボルトが見た幕末日本	2008年11月1日 ～2009年1月9日
345	A Diplomat in Japan	2 78			
346	薩州蔵屋敷御手当証 12月	シ13 155			
347	御扶持方被下候達書 天保12年丑4月17日	へ14 561			
348	算法三十七間起源	へ15 49	長崎市教育委員会	長崎算盤と和算書展	2009年2月10日～3月31日
349	算法巻	教育 2			
350	[算術免許状]	聖堂 410- 1			

2 資料修復

平成19年度

■美術資料

資料名	所有者	資料番号	材質	修復仕様
月照紗聡人図	県	A I 1104	紙本着色	軸装
楠正成絵像	県	A I 1116	絹本着色	軸装
白鷹松樹図	県	A I 1119	絹本着色	軸装
書幅	市	書(外国)21	絹本墨書	無地裂。木軸新調(宇佐美)、再利用(富永)。一文字は金襴(または、銀襴 富永)太巻き芯・木箱新調
將軍図	市	絵(日本)19	絹本着色	表装は、無地裂。一文字・中べりは金襴。牙軸首は新調(富永は再利用)。太巻き芯・木箱を新調。
大浦方面埋立関係略図	市	図98	紙本着色	額装へ変更(マット紙不要、木縁のみ。書簡は並べ替え)、アクリル板は不要。紙箱新調
醫學校境内全圖	市	図187	紙本着色	軸装
高島秋帆徳丸ヶ原砲術訓練図	市	絵15	紙本着色	軸装
刀剣手入れ	県	D I 1,10,11,16,18,19,20,23	鉄	研磨
刀剣手入れ	市	刀剣 1~10	鉄	研磨
刀剣保管具(白鞘・竹光)	市	刀剣 9	鉄	研磨
刀磨き	市	刀剣 4	鉄	

■文書資料

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
肥前国嶋原切支丹一乱始終	長崎県	13-557	107	表紙本紙共に紙質劣化、折り目が切れていて汚損の為裏打ち
邪執門由緒書(福田文庫)	長崎県	福田11-134	127	水濡れによる汚れとシミ、カビの発生少々。シミ落し作業
御種人參唐方渡取斗掛被仰付度会所役人名前申上候書付	長崎県	中西家旧蔵資料		表紙汚損、本紙の虫喰いは穴を繕い修理
追善夢之柳	長崎県	中西家旧蔵資料	16	水害により板状固まり、汚損、劣化、洗浄後解体剥離
将棋指覚大成 元禄版本	長崎県	中西家旧蔵資料	25	水害により板状固まり、汚損、劣化、洗浄後解体剥離
英語箋 石橋政方	長崎県	中西家旧蔵資料	21	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
奥の細道	長崎県	中西家旧蔵資料	66	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
蕉風談拾遺	長崎県	中西家旧蔵資料	18	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
芭蕉庵興業	長崎県	中西家旧蔵資料	81	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
集語 オランダ語	長崎県	中西家旧蔵資料	26	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
梅屋敷の記	長崎県	中西家旧蔵資料	7	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
本草綱目啓蒙 香木科	長崎県	中西家旧蔵資料	39	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
うたくらべ	長崎県	中西家旧蔵資料	13	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
うたくらべ批評	長崎県	中西家旧蔵資料	10	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
開化新題歌集	長崎県	中西家旧蔵資料	22	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
明治廿四年二月廿二日月次歌会歌集	長崎県	中西家旧蔵資料	5	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
明治廿四年四月廿二日月次歌会歌集	長崎県	中西家旧蔵資料	5	水害の汚水を含み、臭いがあり、板状固着、洗浄後裏打ち修理
改正音順五経	長崎県	安永家資料	35	表紙の汚れと本紙の虫喰い、虫喰い穴は食裂き紙で繕った
新薬百品考 坪井信良訳述	長崎県	安永家資料	49	水損によるシミ、破損部分あり
西医略論 目錄卷上 安政戊午 英国医士合信氏著	長崎県	安永家資料	66	水濡れによる汚損。劣化変色、虫喰い
西医略論 卷中 安政戊午 英国医士合信氏著	長崎県	安永家資料	56	水濡れによる汚損。劣化変色、虫喰い
外科拾要 三	長崎県	安永家資料	51	水濡れによる汚損。劣化変色、虫喰い
外科拾要 初編	長崎県	安永家資料	34	水濡れによる汚損。劣化変色、虫喰い
公氏医宗玉海 一	長崎県	安永家資料	34	表紙と本紙の虫喰い
公氏医宗玉海 三	長崎県	安永家資料	34	表紙と本紙の虫喰い
病科鍵	長崎県	安永家資料	49	水損による汚損シミ、劣化
微毒約言 卷上	長崎県	安永家資料	46	水損による汚損シミ、劣化。カビの発生。表紙の破損、欠落
曼公治痘用方 池田直正筆記	長崎県	安永家資料	42	水損による汚損シミ、劣化
朋戴曼公先生治術伝 池田直正筆記	長崎県	安永家資料	50	虫喰いがひどく、水損のため、劣化している。汚れしみがひどい
海外行御印章願 明治八年	長崎県	14-393-1	50	表紙の折れと糊浮き。虫喰い穴は食裂き紙で繕った
明治五年大蔵省布達 全書 長崎県平戸支庁	長崎県	14-573-7	182	表紙の破損。部分的な虫喰いの修理
平戸史料年表 目次 上	長崎県	山口13-101-1	541	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 目次 下巻附録	長崎県	山口13-101-2	509	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 天保十一年	長崎県	山口13-101-3	64	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 天保十二年	長崎県	山口13-101-4	102	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 天保十三年	長崎県	山口13-101-5	47	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 天保十四年	長崎県	山口13-101-6	51	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 弘化元年	長崎県	山口13-101-7	65	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 弘化二年	長崎県	山口13-101-8	30	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 弘化三年	長崎県	山口13-101-9	70	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し
平戸史料年表 弘化四年	長崎県	山口13-101-10	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのほずれは綴じ直し

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
平戸史料年表 嘉永元年	長崎県	山口13-101-11	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 嘉永二年	長崎県	山口13-101-12	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 嘉永三年	長崎県	山口13-101-13	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 嘉永四年	長崎県	山口13-101-14	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 嘉永五年	長崎県	山口13-101-15	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 嘉永六年	長崎県	山口13-101-16	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政元年	長崎県	山口13-101-17	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政二年	長崎県	山口13-101-18	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政三年	長崎県	山口13-101-19	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政四年	長崎県	山口13-101-20	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政五年	長崎県	山口13-101-21	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 安政六年	長崎県	山口13-101-22	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 万延元年	長崎県	山口13-101-23	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 文久元年	長崎県	山口13-101-24	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 文久二年	長崎県	山口13-101-25	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 文久三年	長崎県	山口13-101-26	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 元治元年	長崎県	山口13-101-27	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応元年日件録	長崎県	山口13-101-28	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応元年附録	長崎県	山口13-101-29	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応二年日件録	長崎県	山口13-101-30	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応二年附録	長崎県	山口13-101-31	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応三年日件録	長崎県	山口13-101-32	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 慶応三年附録	長崎県	山口13-101-33	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治元年 日件録	長崎県	山口13-101-34	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治元年 日件録 下	長崎県	山口13-101-35	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治元年 附録	長崎県	山口13-101-36	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治元年 附録 奥羽一件	長崎県	山口13-101-37	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治二年日件録	長崎県	山口13-101-38	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治二年日附録	長崎県	山口13-101-39	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治三年日件録	長崎県	山口13-101-40	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治三年附録	長崎県	山口13-101-41	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治四年日件録	長崎県	山口13-101-42	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治四年附録	長崎県	山口13-101-43	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 自明治五年至明治廿年	長崎県	山口13-101-44	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 自明治廿一年至明治三十年	長崎県	山口13-101-45	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 自明治三十一年至明治三十五年	長崎県	山口13-101-46	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 自明治三十六年至明治四十二年	長崎県	山口13-101-47	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表附録	長崎県	山口13-101-48	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 宮内省及宮家関係書類	長崎県	山口13-101-49	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 心月公立花火木両家往復書簡	長崎県	山口13-101-50	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 心月公往復書翰集	長崎県	山口13-101-51	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 心月公往復書翰集	長崎県	山口13-101-52	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 明治四十一年附録心月公御葬儀式并悼辞詳録	長崎県	山口13-101-53	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
平戸史料年表 心月公諸家書翰集	長崎県	山口13-101-54	一冊	題箋の糊浮きは糊差し。糸綴じのはずれは綴じ直し
ユニオンリーダー直訳	長崎県	中西家旧蔵資料	35	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
長崎・北馬町箇所割図	長崎県	3K_917		技術講習会に使用した。折り目を周囲に貼り裏打ち処置
西伯利派遣軍作戦経過概見図 大正七年	長崎県	中西家旧蔵資料		技術講習会に使用した。手紙目の破れは喰い裂き紙で修理
鮮黄帝之遺法 岑泰于	長崎県	中西家旧蔵資料	41	表紙、本紙共に虫喰いがひどいので裏打ち処置
敬齋箴	長崎県	中西家旧蔵資料	19	水害により板状固まり、汚損、虫喰い、洗浄後解体剥離
切断要法	長崎県	中西家旧蔵資料	27	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
内科秘録	長崎県	中西家旧蔵資料	36	水害の汚水を含み、臭いがあり虫喰いのため洗浄後修理
皮膚病論	長崎県	中西家旧蔵資料	54	水害の汚水を含み、臭いがあるため洗浄後修理
當戊宗門人別御改帳 越後国頸城郡武士郷寺脇村	長崎県	中西家旧蔵資料	5	汚損によるシミ、カビを洗浄後、裏打ち処置
中町出火之節見舞申請候控 明治五年	長崎県	渡辺文庫	3	汚損によるシミ、カビを洗浄後、裏打ち処置
追鷹狩御一件被仰出書(天保十五年甲辰二月)	長崎県	中西家旧蔵資料	4	汚損によるシミ、カビを洗浄後、裏打ち処置
陣形図	長崎県	青方文庫	6	虫喰い、分泌物の付着がひどいので、手当て後裏打ち処置
「浦上村山里絵図」(別の絵図資料からの分離)	長崎県	3_205-6		化学糊で修理してあり状態悪いので剥がして再修理
香月薫平実家	長崎県	古賀文庫	8	カビ、板状固着。無理に開けた跡があり、欠落箇所が多い。裏打ち処置
「漢方医書」	長崎県	安永家資料	64	前欠、中欠、後欠虫喰いと劣化のため裏打ち処置後製本
載曼公痘疹秘訣	長崎県	中西家旧蔵資料	63	水害による汚損、虫喰いのため裏打ち処置後製本
諫早家家系図	長崎県	中西家旧蔵資料	31	水害による汚損、虫喰い部分は繕い、表紙のみ裏打ち処置
魏下蘭座右銘	長崎市	120-5	15	仮綴で二つ折りにしてある折りシワを伸ばして厚紙に挟んだ
八幡町人別宗旨改帳 明治三年	長崎市	160-15	66	前後の表紙の劣化、訂正箇所の付箋が糊浮きのため剥がれる
今籠町人別宗旨改帳 明治三年	長崎市	160-14	33	前後の表紙の劣化、訂正箇所の付箋が糊浮きのため剥がれる
本石灰町宗旨改帳 明治三年	長崎市	160-17	80	前後の表紙の劣化、虫喰いと付箋が糊浮きのため剥がれる
八幡町人別宗旨改帳 慶応三年正月	長崎市	160-18	62	表紙の破損、折れ、シミ、劣化
年賦證文之事	長崎市	330-12	一通	水濡れによる汚れとシミ。カビの発生。シミ落し後裏打ち処置
多良村々家数人別御改帳 宝暦三年	長崎市	160-23	15	虫喰い顕著のため裏打ち処置

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
宗旨改帳	長崎市	160-24	28	虫喰い顕著のため裏打ち処置
浄土門徒日蓮禅天台真言宗門人別改帳	長崎市	160-27-3	34	虫喰い部分は食い裂き紙で穴の繕い。表紙の折れ
宛行状	長崎市	310-90-12	一通	水濡れによる汚れとシミ、カビの発生。シミ落し後裏打ち処置
暮日修行式	長崎市	170-4	28	水濡れによる汚れとシミ。カビの発生。シミ落し後裏打ち処置
大塩騒動一件(米屋共江被仰渡候御教諭之書付写)	長崎市	310-132	23	紙縫りが切れているので、前後に入紙をして綴じなおした
手頭(茂四郎出頭命令)	長崎市	310-141-2	一通	下張りであったと思われる糊の跡と紙片の付着と虫喰い
手頭(太助出頭命令)	長崎市	310-141-4	一通	汚れと紙質劣化、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(出頭命令)	長崎市	310-141-5	一通	汚れ、虫喰い、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
手頭(出頭命令)番所(西中町乙名宛)	長崎市	310-141-6	一通	汚れ、虫喰い、破損あり裏打ち処置
手頭(牢内差入許可)	長崎市	310-141-7	一通	汚れを落した後、継ぎ目の糊浮きによるはなれの糊差し
手頭(有田長蔵出頭命令)	長崎市	310-141-8	一通	汚れ、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
手頭(鮫目利富田惣太夫出頭命令)	長崎市	310-141-9	一通	劣化、破損、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(牢内差入許可)	長崎市	310-141-10	一通	劣化、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(さく出頭命令)	長崎市	310-141-11	一通	劣化、破損、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(牢内差入許可)	長崎市	310-141-12	一通	虫喰い少々、汚れてシワになっている。
手頭(大田忠次右衛門出頭命令)	長崎市	310-141-13	一通	汚れを落した後、虫喰いの部分修理
手頭(出頭命令)	長崎市	310-141-14	一通	劣化、破損、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(出頭命令)	長崎市	310-141-15	一通	虫喰い、全体に汚れ、破損のため裏打ち処置
手頭(出頭命令)番所(万屋町乙名他宛)	長崎市	310-141-16	一通	汚れ落し後、虫喰い穴を喰裂紙にて繕った。部分修理
手頭(山脇出頭命令)番所(袋町乙名組頭宛)	長崎市	310-141-17	一通	虫喰い、全体に汚れ、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
手頭(牢内差入許可)	長崎市	310-141-19	一通	虫喰い、全体に汚れ、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
手頭(牢内差入許可)	長崎市	310-141-21	一通	虫喰い、全体に汚れ、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
手頭(出頭命令)番所(古町乙名他宛)	長崎市	310-141-23	一通	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
手頭(出頭命令)	長崎市	310-141-24	一通	劣化、破損、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
手頭(出頭命令)番所(引地町他宛)	長崎市	310-141-25	一通	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
手頭(出頭命令)	長崎市	310-141-26	一通	劣化、破損、汚損、虫喰いのため裏打ち処置
福田家文書 吾妻掲 三冊之内	長崎市	90-12-1	13	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
柿袴抜書	長崎市	90-12-3	17	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
新古今和歌集開書	長崎市	90-12-9	3	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
(俳諧関係)	長崎市	90-12-13	4	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
(俳諧関係)	長崎市	90-12-15	30	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
持分作書数	長崎市	90-12-23	7	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
半顔仙	長崎市	90-12-24	6	汚れと紙質劣化、虫喰い、破損部分があるため裏打ち処置
覚(人參値段書)	長崎市	660-58-3	一通	継紙の糊浮き、虫喰いのため裏打ち処置
(松森神社書類)(通行証)	長崎市	171-50-1	一通	継紙の糊浮き、虫喰いのため裏打ち処置
覚(林家由緒書)	長崎市	281-30	7	本紙の前後に一枚ずつ入紙をして折れを伸ばし綴じた
(伊勢町)明細帳 天保三年辰七月改	長崎市	291-8	5	虫喰い穴が大小多いので裏打ち処置
阿蘭陀通詞方分限帳	長崎市	310-1	15	虫喰い穴が多く、付箋が糊浮きため裏打ち処置
護身鎮之傳	長崎市	170-7	2	酸性紙の表紙をはずして部分修理
鎮懐石八幡宮由緒書	長崎市	171-59	8	酸性紙の表紙をはずして部分修理
諸国神明勸請御禁制之例	長崎市	170-2	74	酸性紙の表紙をはずして部分修理
諸国神明禁止例文	長崎市	170-5	26	酸性紙の表紙をはずして部分修理
福州黄檗和尚招請須知	長崎市	181-14	19	酸性紙の表紙をはずして部分修理
(覚書)(かびたん江戸参府に関する件)	長崎市	310-17	15	虫喰いのところのみ裏打ち処置と部分修理
覚書(阿蘭陀人献上物付添一件)	長崎市	310-134-2	15	虫喰いのところのみ裏打ち処置と部分修理
諸祠堂控帳	長崎市	180-27	13	虫喰い、汚損劣化、ホッチキスのさびをとったあと裏打ち処置
(威福寺一件書類)乍恐口上書(威福寺訴訟一件)	長崎市	181-93-2	9	全丁にわたり虫喰い穴の繕い。最後の丁のみ裏打ち
(威福寺一件書類)乍恐奉願口上書(神宮寺訴訟一件)	長崎市	181-93-3	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
(威福寺一件書類)乍恐奉願口上書(神宮寺へ龍蔵院入寺一件)	長崎市	181-93-4	一通	虫喰いが墨字にかかっている、下の方は破損。裏打ち処置
(威福寺一件書類)乍恐奉願口上書(威福寺訴訟一件)	長崎市	181-93-6	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
乍憚奉願口上書(役料配分に関する件)	長崎市	310-137	6	虫喰いが墨字にかかっているため裏打ち処置
噺蟹道人東帰詩	長崎市	930-5	8	虫喰いのため裏打ち処置
知恩院寶物發誌	長崎市	181-99	24	虫喰いのため裏打ち処置
三十二番扇合	長崎市	910-13	23	刊本であるが紙質劣化と虫喰いのため裏打ち処置
乍恐以書付御答申上候覚(大浦けい訴訟一件)	長崎市	320-7-1	13	虫喰いのところのみ裏打ち処置
手頭(長崎製鉄所御用係辞令)	長崎市	210-49	一通	再虫喰いのため剥がして再修理。裏打ち処置
口上書(五人組改に関する件)	長崎市	310-89	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
(水神社関係書類)一札之事(水神社一件)	長崎市	171-35-1	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
(水神社関係書類)一札之事(水神社一件)	長崎市	171-35-2	一通	虫喰いと継紙のはずれのため裏打ち処置
出雲兩國造家并伊勢本居氏石州小篠氏年始書状控書簡	長崎市	171-51-4	一通	虫喰いがひどく墨字にかかっているため裏打ち処置
出雲兩國造家并伊勢本居氏石州小篠氏年始書状控書簡	長崎市	171-51-5	一通	虫喰い穴は食裂き紙で繕い。部分修理
出雲兩國造家并伊勢本居氏石州小篠氏年始書状控書簡	長崎市	171-51-6	一通	虫喰いがひどく墨字にかかっているため裏打ち処置
出雲兩國造家并伊勢本居氏石州小篠氏年始書状控書簡	長崎市	171-51-7	一通	虫喰い甚大、汚れ、シミの手当て後裏打ち処置

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
出雲兩國造家并伊勢本居氏石州小篠氏年始書状控書簡	長崎市	171-51-8	一通	虫喰い甚大、汚れ、シミの手当て後裏打ち処置
宛行状	長崎市	310-90-1	一通	虫喰い穴多数。汚れとシミの除去後裏打ち処置
宛行状	長崎市	310-90-2	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
宛行状 寛文十一年十二月五日	長崎市	310-90-3	一通	汚れとシワ伸ばし後、虫喰い箇所のみ修理
宛行状 万延元年九月十八日	長崎市	310-90-5	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
宛行状 元禄十一年四月十八日	長崎市	310-90-4	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
宛行状 寛政四年七月十六日	長崎市	310-90-7	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
宛行状	長崎市	310-90-8	一通	虫喰いと汚れて紙質劣化のため裏打ち処置
(大音寺坂天満宮一件)乍憚口上書(下社人榊大和不埒一件)	長崎市	171-42-1	一通	虫喰いが墨字にかかっている、下の方は破損。裏打ち処置
(大音寺坂天満宮一件)乍憚口上書(下社人榊大和不埒一件)	長崎市	171-42-2	一通	虫喰い穴は食裂き紙で繕い。部分修理
伊勢宮修理一件 口上之覚(伊勢宮修理一件)	長崎市	171-46-1	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
伊勢宮修理一件 口上之覚(伊勢宮修理一件)	長崎市	171-46-2	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
伊勢宮修理一件 口上之覚(伊勢宮修理一件)	長崎市	171-46-3	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
伊勢宮修理一件 口上之覚(伊勢宮修理一件)	長崎市	171-46-4	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
差上御請證文之事(楠稻荷社境内訴訟一件)明和五年	長崎市	171-55-14	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
(松森神社書類)副證文之事 天明元年丑十二月	長崎市	171-50-2	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
楠稻荷神社一件 請取申拝借米之事 天保三年辰六月	長崎市	171-55-3	一通	虫喰い。紙質の状態はいいので虫喰い穴の繕いのみ
楠稻荷神社一件 乍恐口上書(楠稻荷社境内訴訟一件)	長崎市	171-55-4	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
楠稻荷神社一件 乍恐口上書(楠稻荷社境内訴訟一件)明和三年	長崎市	171-55-6	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
楠稻荷神社一件 伊勢宮末社小嶋郷楠稻荷社境内絵図	長崎市	171-55-1	一舗	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。紙質良好、折しわのばし
楠稻荷神社一件 伊勢宮末社小嶋郷楠稻荷社境内絵図	長崎市	171-55-2	一舗	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。紙質良好
楠稻荷神社一件 乍恐口上書(楠稻荷社境内訴訟一件)明和三年	長崎市	171-55-7	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
預り銀證文之事 文久三年	長崎市	340-13	一通	大小の虫喰い穴は、紙質良好の為、食裂き紙で繕いする
外務省御觸達(阿片禁止令)華文	長崎市	310-142-1	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
外務省御觸達(阿片禁止令)和文	長崎市	310-142-2	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
覚(巴阿蘭陀五番船銀預証)	長崎市	660-87	一通	紙背あり。虫喰い穴は喰い裂き紙で繕った
宗旨手形之事 寛保元年酉九月	長崎市	160-9	一通	虫喰いと汚れとヤケ
預り申銀子之事	長崎市	330-13	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
預り申銀子之事	長崎市	330-9	一通	汚れヤケしみシワの手当て後、虫喰い穴の繕い
地所并建物永代売渡証文之事	長崎市	330-15	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
覚(宗旨改)	長崎市	190-22-1	一通	酸性紙の台紙をはずして部分修理としみの手当てをした
(威福寺一件書類)乍憚口上之覚(借用銀に関する件)	長崎市	181-93-7	一通	汚れを軽く落としたあと、虫喰い穴の繕い
借用銀證文之事	長崎市	330-10	一通	汚れヤケしみシワの手当て後、虫喰い穴の繕い
切支丹宗門就御改仕上起請文前書	長崎市	190-23	一通	汚れヤケしみシワの手当て後、虫喰い穴の繕い
(地所見取図)	長崎市	360-10	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
(森家相続関係資料)銀割御請書	長崎市	360-8-10	一通	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
花引通	長崎市	330-14	47	汚れてしみになった箇所が腐っている。裏打ち処置
長崎奉行歴代	長崎市	310-157	8	虫喰い穴を喰い裂紙にて繕い。
(威福寺一件書類)御請申一札之事(威福寺訴訟一件)	長崎市	181-93-5	一通	虫喰い甚大、継ぎ目の糊浮きのため裏打ち処置
(森家相続関係資料)覚(受領書)	長崎市	360-8-5	一通	紙質は良好なので虫喰い穴は喰い裂き紙で繕った
(森家相続関係資料)覚(勘定書)	長崎市	360-8-6	一通	紙質は良好なので虫喰い穴は喰い裂き紙で繕った
覚(先触)	長崎市	670-3	一通	懸紙と本紙共に虫喰い。喰裂き紙にて穴の繕い
口上覚(組合に関する件)	長崎市	171-58	一通	懸紙、本紙共に虫喰い劣化のため裏打ち処置
(森家相続関係資料)書簡(郊之輔より申含遣候口上書取申上候)	長崎市	360-8-14	一通	懸紙は部分修理。本紙は喰裂き紙にて、虫喰い穴の繕い
(森家相続関係資料)覚(勘定書)	長崎市	360-8-2	一通	懸紙は裏打ち。本紙は喰裂き紙にて虫喰い穴の繕い
(森家相続関係資料)一札之事(養子相続の件)	長崎市	360-8-1	一通	懸紙、本紙共に虫喰い劣化のため裏打ち処置
(幕府一件)(覚)(参府に関する件)	長崎市	170-16-2	一通	汚れの除去後、虫喰い穴が多いので裏打ち処置
(幕府一件)例書覚(参府に関する件)	長崎市	170-16-1	一通	カビの除去後、紙質が弱っていたので裏打ち処置。
伊勢宮関係書類 手頭(御達伝達の件)	長崎市	171-39-1	一通	本紙、懸紙共に喰い裂き紙にて虫喰い穴の繕い修理
覚(人參値段書)	長崎市	660-58-2	一通	虫喰い穴は食裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
定宿帳	長崎市	670-5	136	虫喰い甚大。劣化と汚損のため裏打ち後枕を入れて製本
(森家相続関係資料)書簡	長崎市	360-8-15	一通	懸紙、本紙共に、虫喰いがひどいので裏打ち処置
(神崎社継目ノ件)乍憚口上書(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-1	一通	本紙は虫喰い穴の繕い。懸紙二枚は裏打ち処置
稲佐関之所手控	長崎市	310-108	14	虫喰いのため裏打ち処置後製本
覚(先触)	長崎市	670-1	一通	本紙はシミ抜き後虫喰い穴の繕い。懸紙のみ裏打ち処置
(森家相続関係資料)書簡 天保六年	長崎市	360-8-21	一通	本紙は虫喰い甚大のため裏打ち処置。懸紙は穴の繕い
(森家相続関係資料)覚(森より之勘定書)	長崎市	360-8-3	一通	本紙はシミ抜き後虫喰い穴の繕い。懸紙は部分修理
(伊勢宮に関する書類)(伊勢宮造修一件他)	長崎市	171-56-1	一通	虫喰いと汚れのため裏打ち処置
(神崎社継目ノ件)乍憚口上書(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-4	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い。部分修理

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
(伊勢宮に関する書類)覚(継目札銀内訳控)	長崎市	171-56-4	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
(神崎社継目ノ件)乍恐口上書(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-6	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
(神崎社継目ノ件)乍恐以別紙奉願口上覚(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-10	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
(伊勢宮に関する書類)口上之覚(奉行他寄進銀控)	長崎市	171-56-8	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
(神崎社継目ノ件)乍恐口上書(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-2	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
乍憚御悉欺申上候覚(宮永丹後謝状)	長崎市	171-44	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
(伊勢宮に関する書類)覚(位階猶子神道伝授費用)	長崎市	171-56-11	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
(伊勢宮に関する書類)(伊勢宮由緒書)	長崎市	171-56-9	一通	本紙は虫喰い甚大のため裏打ち処置。
(伊勢宮に関する書類)(伊勢宮由緒書)(断簡)	長崎市	171-56-10	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理、継ぎ目の糊差し
(神崎社継目ノ件)乍恐口上書(神崎社跡目一件)	長崎市	171-41-3	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
宛行状	長崎市	310-90-11	一通	虫喰いとカビの発生により紙質劣化のため裏打ち処置
(聖福寺宗旨帳)	長崎市	160-22-2	2	汚れてシミが付いているので処置後裏打ち
手頭(農商入籍許可証)	長崎市	310-159	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
證(地券税他受領証)	長崎市	340-8	一通	虫喰い穴は喰い裂き紙で繕い修理
辰秋割(銀仮預証)	長崎市	660-85	一通	汚れを落とした後、虫喰い穴の繕い修理
乍憚奉願口上書(八幡神社興行一件)	長崎市	171-47	4	虫喰い部分のみ繕い修理。
窮理図解 卷之中	長崎市	400-3	24	本紙の虫喰い穴の繕いと表紙を裏打ち後製本
長崎府職員録	長崎市	310-105	35	裏打ち処置後、裁断、製本。赤インク、朱書があるので要注意

平成20年度

■美術資料

資料名	所有者	資料番号	材質	修復仕様
日本人の一生	県	—	紙本着色	シミ抜き・額装(栓④)
書幅	市	書(長崎)288	紙本墨書	軸装
書幅	市	書(長崎)300	紙本墨書	軸装
水仙靈芝図	市	絵(中国)24	紙本淡彩	軸装
刀	県	Dイ1,10,11,16,18,		手入れ(3ヶ月度)
刀剣	市	刀剣1~10		手入れ(3ヶ月度)
脇差	市	刀剣8	鉄	研磨

■文書資料

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
日記 文政十二年 丑正月ヨリ八月マデ	長崎県	藤13-3-3-13		酸性紙の旧表紙カバーが劣化の為、和紙の表紙に取替え糊浮き箇所の糊差し
日記 文政十三年 寅正月ヨリ七月マデ	長崎県	藤13-3-3-15		酸性紙の旧表紙カバーが劣化の為、和紙の表紙に取替え糊浮き箇所の糊差し
長崎県国宝建造物修理関係 昭和14年6月~同16年5月	長崎県	16-319	448	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化、裏打ち後厚いので分冊
富江取合之覚 宝暦六年丙子歳六月(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	18	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
大浦天主堂関係綴 昭和22年7月~同24年4月	長崎県	16-316-1	648	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化、裏打ち後厚いので分冊
長崎県人物伝 全	長崎県	13-691-2	厚さ7cm	刊本で、繰り返しコピーによる背の破損。本紙のはずれと背の修理
大浦天主堂関係綴 昭和24年5月~同25年3月	長崎県	16-316-2	550	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化、裏打ち後厚いので分冊
異国船警備布陣図(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	長尺物	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
嘉永三庚戌年御書出帳 自正月至九月	長崎県	渡辺14-336		表紙の部分修理と綴じ糸の綴じ直し
亜夷一件 戦艦海防上疏・戦艦製造白牋(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	24	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
蝦夷地騒動 文化四年(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	25	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
江戸御知行之節御供心得(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	14	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
長崎御目付井上図書様方江出候控(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	13	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
士大将一手異船打払(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	10	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
刑罰大秘録	長崎県	14-941	41	糸綴の糸が切れている。部分的な虫喰い穴の修理
東南表 和田寧 著(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	20	酸性紙の資料で劣化虫喰いの為、脱酸処理後裏打ち処置
大浦天主堂関係綴 昭和25年5月~9月	長崎県	16-316-3	326	酸性紙で水損の為カビの発生と酸性劣化。脱酸後裏打ち処置
御領分正御高辻郷村帳(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	15	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
大浦天主堂関係綴 昭和25年11月	長崎県	16-316-4	187	酸性紙で水損の為カビの発生と酸性劣化。脱酸後裏打ち処置
大浦天主堂関係綴 昭和25年	長崎県	16-316-5	369	酸性紙で水損の為カビの発生と酸性劣化。脱酸後裏打ち処置
延宝元年英船渡来一件(古賀文庫)	長崎県	古賀13-332	43	酸性紙の表紙が酸化による劣化の為破損。脱酸処置後裏打ち
福江御用所(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	5	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
積渡山御境杭之覚(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	11	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
火消御役二付而之覚書元禄拾五年(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	15	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
太陽暦和解 全 明治七年三月(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	26	水害被災の為汚損、虫喰いがひどいので洗浄後裏打ち処置

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
姉嬰新説 乾	長崎県	中西家旧蔵資料	38	水害被災の為、汚損。特に表紙がひどく洗浄後修理虫喰い穴は繕い
物理全志 九	長崎県	中西家旧蔵資料	40	水害被災の為、汚損。特に表紙がひどく洗浄後修理虫喰い穴は繕い
法書至要抄 中 目録	長崎県	中西家旧蔵資料	45	水害被災の為、汚損。特に表紙がひどく洗浄後修理虫喰い穴は繕い
内科簡明 卷之十四	長崎県	中西家旧蔵資料	34	水害被災の為、汚損。特に表紙がひどく洗浄後修理虫喰い穴は繕い
御参勤日記(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	86	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
書簡「寒中見舞御札」(薬師寺文書)	長崎市	380-3	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 慶安元年子六月(薬師寺文書)	長崎市	390-1	I通	虫喰穴が大小種々。喰裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 慶安元年(薬師寺文書)	長崎市	390-2	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
起請文前書之事 慶安二年(薬師寺文書)	長崎市	390-3	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
起請文前書之事 慶安三年(薬師寺文書)	長崎市	390-4	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
「黒坊一件」「寄合町諸事書上関連」(薬師寺文書)	長崎市	320-1	I通	汚れがひどく虫喰いが多いので汚れの除去後裏打ち処置
覚 太政官 一通(今般王政御一新二付)(薬師寺文書)	長崎市	310-1	33×168	湿害によりカビと虫喰いの為劣化がひどい。裏打ち処置
起請文前書之事 慶安四年(薬師寺文書)	長崎市	390-6	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 慶安五年(薬師寺文書)	長崎市	390-8	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文之事 明暦元年(薬師寺文書)	長崎市	390-9	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 慶安五年(薬師寺文書)	長崎市	390-7	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
起請文前書之事 慶安十年(薬師寺文書)	長崎市	390-10	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
起請文之事 明暦二年(薬師寺文書)	長崎市	390-11	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文之事 明暦貳年(薬師寺文書)	長崎市	390-12	I通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
起請文前書之事 明暦三年(薬師寺文書)	長崎市	390-13	I通	虫喰い穴が多いが紙質や良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 明暦三年(薬師寺文書)	長崎市	390-14	I通	虫喰い穴が多いが紙質や良好。喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 明暦四年(薬師寺文書)	長崎市	390-15	I通	虫喰い穴が多いが紙質や良好。喰い裂き紙にて繕い修理
起請文 万治二年三月(薬師寺文書)	長崎市	390-16	I通	紙の劣化箇所と虫喰い穴の繕いの修理。
起請文前書之事 万治三年(薬師寺文書)	長崎市	390-17	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 万治四年(薬師寺文書)	長崎市	390-18	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 寛文二年(薬師寺文書)	長崎市	390-19	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
人別帳 宗旨証文控 明治二年(薬師寺文書)	長崎市	190-2	一冊	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書 寛文三年(薬師寺文書)	長崎市	390-20	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 寛文三年(薬師寺文書)	長崎市	390-21	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文之事 寛文三年(薬師寺文書)	長崎市	390-22	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
誓紙前書之事 寛文四年(薬師寺文書)	長崎市	390-23	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 寛文五年(薬師寺文書)	長崎市	390-24	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 寛文七年(薬師寺文書)	長崎市	390-25	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 寛文八年(薬師寺文書)	長崎市	390-26	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 寛文十二年(薬師寺文書)	長崎市	390-27	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-29	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-30	I通	虫喰い穴が多いが喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-31	I通	虫喰い穴が多いが喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-32	I通	虫喰い穴が多いが喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書 延宝三年(薬師寺文書)	長崎市	390-33	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-34	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書之事 延宝二年(薬師寺文書)	長崎市	390-35	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
起請文前書 延宝九年(薬師寺文書)	長崎市	390-37	I通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 元禄六年(薬師寺文書)	長崎市	390-39	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事 元禄六年(薬師寺文書)	長崎市	390-40	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文前書之事 元禄十一年(薬師寺文書)	長崎市	390-41	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文前書之事 元禄十三年(薬師寺文書)	長崎市	390-42	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
誓詞 天保六年(薬師寺文書)	長崎市	390-43	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書 享保六年(薬師寺文書)	長崎市	290-44	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文前書 享保六年(薬師寺文書)	長崎市	390-45	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文前書 享保十一年(薬師寺文書)	長崎市	390-46	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文之事 享保十一年(薬師寺文書)	長崎市	390-47	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文之事 享保十一年(薬師寺文書)	長崎市	390-48	I通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
起請文前書 元文四年(薬師寺文書)	長崎市	390-53	I通	本紙は虫喰い穴の繕い。包紙は劣化しているので裏打ち処置
自覚流起請文 寛延三年(薬師寺文書)	長崎市	390-54	I通	継ぎ目の糊差し。本紙と包紙の虫喰い穴の繕い修理
起請文前書(薬師寺文書)	長崎市	390-55	I通	継ぎ目の糊差し。本紙と包紙の虫喰い穴の繕い修理
起請文前書 宝暦十三年(薬師寺文書)	長崎市	390-56	I通	継ぎ目の糊差し。本紙と包紙の虫喰い穴の繕い修理
起請文前書之事 天明三年(薬師寺文書)	長崎市	390-57	I通	継ぎ目の糊差し。本紙と包紙の虫喰い穴の繕い修理
起請文之事 寛政四年(薬師寺文書)	長崎市	390-58	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し
起請文之事 寛政四年(薬師寺文書)	長崎市	390-59	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文之事 寛政四年(薬師寺文書)	長崎市	390-60	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文之事 寛政四年(薬師寺文書)	長崎市	390-61	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し
起請文之事 寛政四年(薬師寺文書)	長崎市	390-62	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文之事 寛政五年(薬師寺文書)	長崎市	390-63	I通	虫喰穴を喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し
起請文之事 寛政五年(薬師寺文書)	長崎市	390-64	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
起請文之事 寛政七年(薬師寺文書)	長崎市	390-66	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
起請文前書 寛政七年(薬師寺文書)	長崎市	390-68	I通	本紙と包み紙共に虫喰い。喰い裂き紙にて穴の繕い修理
誓約文之事 寛政九年(薬師寺文書)	長崎市	390-70	I通	虫喰い穴が多いが、喰裂き紙で繕い修理をした。
起請文 寛政十二年(薬師寺文書)	長崎市	390-71	I通	本紙、包紙共に虫喰い穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文 享和二年(薬師寺文書)	長崎市	390-72	I通	本紙、包紙共に虫喰い穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文之事 享和三年(薬師寺文書)	長崎市	390-73	I通	本紙、包紙共に虫喰い穴を喰裂き紙にて繕い修理
起請文前書之事(断簡)	長崎市	390-74	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
自覚流 手前目録 寛政五年(薬師寺文書)	長崎市	390-75	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
手頭 [役儀讓状] (薬師寺文書)	長崎市	390-76	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
乍恐奉願候口上書 [拝借銀に関する件] (薬師寺文書)	長崎市	660-5	I通	本紙はシミが付いている。包紙は劣化、破損のため裏打ち処置
南学家道統略図(聖堂文庫)	長崎市	120-3	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
惺窩家道統略図(聖堂文庫)	長崎市	120-4	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
異端堀川学家(聖堂文庫)	長崎市	120-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
覚 [聖堂由緒書] (聖堂文庫)	長崎市	210-3	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
覚 [聖堂由緒書] (聖堂文庫)	長崎市	210-4	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
聖堂開基以来由緒(聖堂文庫)	長崎市	210-27-1	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
覚書 [聖堂開基以来由緒] (聖堂文庫)	長崎市	210-27-2	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
覚 [唐人寄附一件] (聖堂文庫)	長崎市	211-1	I通	虫喰い穴は喰裂き紙で繕い修理。継ぎ目の糊浮きには糊差し
御書付 [向井家由緒書] 享保十二年(聖堂文庫)	長崎市	280-25	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
書付 [御即位自閑東下向の令] (聖堂文庫)	長崎市	220-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
[書記役由緒書] (断簡)(聖堂文庫)元文元年	長崎市	280-6	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。付箋の虫喰いも同様。
手頭 [後藤惣左衛門町年寄上席会所調役任命の件]	長崎市	280-34	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
手頭 [教授所手当銀に関する件] 文久元年(聖堂文庫)	長崎市	280-27-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
手頭 [聖堂修復料に関する件] 元治二年(聖堂文庫)	長崎市	280-27-6	I通	シバン虫の食痕跡がひどいので裏打ち処置
口上書(聖堂文庫)	長崎市	280-30	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
覚 [役料受領書]	長崎市	280-31	1冊 3丁	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。包紙はしみ取り
手頭 [褒状] 弘化元年	長崎市	280-33	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
覚 [書物改手伝役由緒] (断簡)(聖堂文庫)	長崎市	280-40-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
覚 [書記役村岡道四郎他役料] (聖堂文庫)	長崎市	280-41-7-1	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
[包紙] [旧幕府之節諸願書伺書等之書付] (聖堂文庫)	長崎市	280-41-7-7	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
北家藤原菊池系譜(聖堂文庫)	長崎市	280-50	I通	27.4×506cmの長さがあり、継ぎ目の糊差しと虫喰い穴の繕い修理
本家続續キ大略(聖堂文庫)	長崎市	280-59	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
[案文] [元簡儀勅方に関する願書] (聖堂文庫)	長崎市	280-64	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
奉願口上 [退役願] 享保八年	長崎市	280-69	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
手頭 [酒井左衛門尉病氣退役の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-6	I通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
手頭 [桑原善兵衛長崎奉行就任の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-7-1	I通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
覚 [由緒] (聖堂文庫)	長崎市	280-67	I通	虫喰い穴は多いが、紙質が良好のため喰裂き紙にて繕い修理
覚 [退役願] (聖堂文庫)	長崎市	280-68	I通	虫喰い穴は多いが、紙質が良好のため喰裂き紙にて繕い修理
村山氏家系記(聖堂文庫)	長崎市	280-47	4丁	ホクシングが見られる。虫喰が多いので裏打ち修理
手頭 [大岡美濃守長崎奉行就任の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-20	I通	虫喰い穴は多いが、紙質が良好のため喰裂き紙にて繕い修理
手頭 [高尾伊賀守長崎奉行就任の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-22	I通	虫喰い穴は多いが、紙質が良好のため喰裂き紙にて繕い修理
手頭 [中川飛騨守勘定奉行就任の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-24	I通	虫喰い穴は多いが、紙質が良好のため喰裂き紙にて繕い修理
手頭 [石谷備後守長崎奉行兼役御免夏目泉守同地奉行就任の件]	長崎市	310-31	I通	一度裏打ちしてあるがカビの発生が見られる。剥がして再修理。
[有田村亀吉他雇入一件] (聖堂文庫)	長崎市	310-35	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
長州公より芸州公を以奉る奉書の写(聖堂文庫)	長崎市	310-39	I通	軽くシミをとったあと、虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
御触 [慶長金新金通用に関する件] 享保二十年	長崎市	320-1	I通	軽くシミをとったあと、虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
御触 [誉田八幡寄附に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理 16.2×66.7cm
御触 [出産児殺害に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-4	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。16×181cm
御書付 [曆板行一件] (聖堂文庫)	長崎市	320-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。17.6×161cm
御触 [道中に於ける訴訟に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-11-1	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。16×89.5cm
御触 [唐蚕薬種植付に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-11-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。15.5×176cm
御書付 [当地旅人改に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-11-10	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。15.5×155cm
御触 [朱墨売買に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-11-12	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。16×67.4cm
御触 [錢座真鍮銭吹方の件] (聖堂文庫)	長崎市	320-10-1	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
御触 [陰陽道の免許に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-6	I通	虫喰い穴が多いが、喰い裂紙で大小の穴の繕い修理
御書付 [長崎取締に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	320-10-2	I通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
御書付〔長崎会所金銀出方に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-12-9	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御書付〔質素儉約に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-22	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
[年号改](聖堂文庫)	長崎市	320-15	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御触〔抜荷に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-13-2	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置
御書付〔唐船入津一件〕寛政三年(聖堂文庫)	長崎市	320-13-3	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置 15.5×125cm
御書付〔市中米穀高値一件〕天明七年未六月(聖堂文庫)	長崎市	320-13-4	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置 16.0×197cm
御書付〔旅宿に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-17	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置 16.3×154.8cm
御書付〔唐蘭館取締に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-18	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御触〔牢屋内への送り物に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-27	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御書付〔押借の者に対する取締一件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-24	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置
御書付〔御改革一件〕(聖堂文庫)	長崎市	320-28	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
覚〔聖堂開基以来聖堂二付被下銀并拝借銀被仰付候書付〕	長崎市	330-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
向井雅次郎儀聖堂内講堂書藏普請入用銀拝借之儀願出候二付伺書	長崎市	330-3	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
一札之事〔借用書〕文政十年(聖堂文庫)	長崎市	330-8-1	I通	湿害による紙の劣化の為裏打ち処置
借用銀證文之事 文政十二年(聖堂文庫)	長崎市	330-8-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
借用申銀證文之事 文政六年(聖堂文庫)	長崎市	330-8-3	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
拝借銀證札之事 安政四年(聖堂文庫)	長崎市	330-11-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。
覚〔借金銀掛合に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-12-1	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。
[御書付](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	330-12-2	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。
覚〔聖堂修復銀拝借の件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-13-3	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
拝借御願被成候節之御書付 文化3年(聖堂文庫)	長崎市	330-15	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。包紙あり
口上之覚〔地下配分銀遅滞に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-16	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
借用金證文之事 文久二年(聖堂文庫)	長崎市	330-17	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。
御書付〔唐紅毛船経費儉約の件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-20	3丁	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御触〔宍朱金通用停止の件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-21	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御触〔疵金軽目金通用取調に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-22	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御触〔金銀融通用に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-23	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御触〔金銀両替掛合に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-24	I通	虫喰いとシミがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
[御触](断簡)[吹改金銀引換に関する件](聖堂文庫)	長崎市	330-25	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御触〔古金引替に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-28-1	I通	虫喰いと焼け焦げの穴が空いているので裏打ち処置
御書付〔金銀両替帳合金停止に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-31	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置。汚れしみあり
御触〔切金通用一件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-32	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御書付〔物品売買質入等に関する件〕天明八年(聖堂文庫)	長崎市	330-33	I通	虫喰い甚大、文字にかかっているので裏打ち処置。汚れしみあり
覚〔頼母子講銀配分に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-35-1	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
覚〔頼母子講銀配分に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-35-2	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御書付〔金銀引替に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-29	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差しは糊差し
覚(断簡)[金銀吹改一件](聖堂文庫)	長崎市	330-30	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
御触〔取退無尽停止一件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-36	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊浮きにより欠落
御触〔盲人浪人高利金貸出に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-37	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
覚〔書記御用方田辺八右衛門他役料〕(聖堂文庫)	長崎市	330-38	I通	虫喰いがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
手頭〔書籍代に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-39	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
覚〔借用証〕天保十一年子二月二十五日(聖堂文庫)	長崎市	330-11-5	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
一札之事〔借用書〕文政十年(聖堂文庫)	長崎市	330-6	I通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の糊差し。
覚〔頼母子講銀配分に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-13-1	I通	虫喰いとシミがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
覚〔頼母子講銀配分に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	330-13-2	I通	虫喰いとシミがひどく、墨書にかかっているので裏打ち処置
御返答書〔菓草二種植付の件〕(聖堂文庫)	長崎市	310-40-1	I通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして繕い修理

6

調査研究事業

1 調査研究

1. ライデン国立民族学博物館との交流事業

① ライデン国立民族学博物館所蔵日本コレクションの調査

調査期間：2008年6月21日～6月29日

調査先：ライデン国立民族学博物館

調査者：平岡隆二(当館主任研究員) 徳永宏(県文化振興課学芸員)

② ライデン国立民族学博物館所蔵日本コレクションの展示

場所：常設展示室<オランダとの交流>

「商館員のアイヌコレクション」

期間：2008年5月21日～7月4日

「新発見のカピタン部屋絵図」

期間：2008年7月5日～9月15日

「江戸のメイキャップ」

期間：2008年9月17日～12月15日

「広重と慶賀の東海道～広重没後150周年記念～」

期間：2008年12月17日～2009年2月16日

「江戸の歯みがき・喫煙具」

期間：2009年2月18日～5月11日

2. 媽祖に関する調査研究

長崎県文化・スポーツ振興部文化振興課が3ヵ年計画で実施した媽祖に関する調査研究に協力した。

<調査先>

長崎市内：長崎大学附属図書館経済学部分館、日山神社、熊野神社、興福寺、崇福寺、旧唐人屋敷、滝の観音、悟真寺

長崎県内：佐世保市、諫早市、西海市、西彼時津町、川棚町、波佐見町、平戸市、五島市、南松浦郡

九州地区：佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県

関西地区：大阪市、藤井寺市、神戸市、天理市

関東地区：千葉県、茨城県

東北・北海道：宮城県、青森県、北海道

海外：中国福建省

<調査担当者>

長崎県文化振興課 本馬貞夫 大石一久 石尾和貴 松下久子 徳永宏

長崎歴史文化博物館 深瀬公一郎

外部協力者 藤田明良(天理大学教授)他

3. 平成20年度「サービス産業生産性向上支援調査事業」

経済産業省の委託調査事業として、(株)乃村工藝社、慶応義塾大学SFC研究所、長崎歴史文化博物館からなるコンソーシアムを組織し、「文化・観光施設におけるサービス生産性向上プロジェクト」を実施した。

<事業の目的>

ディスプレイ業が扱うサービス群全体の生産性向上を促す手法の開発に取り組む。利用者データを活用した顧客基準の評価指標づくりや顧客満足の最大化に向けた運営現場の改善、業務の効率化・高度化を目指す。

<調査内容>

- a. 潜在的顧客層を含めた顧客理解調査
潜在的顧客層を含めた顧客ニーズの理解把握を行う。
- b. ミュージアム内部における顧客動態調査
無線ネットワークを活用し、無意識レベルでの顧客動向／滞留性を調査し、顧客特性に合わせた動態を理解する。
- c. 顧客満足度調査
顧客の経験価値と満足度について調査を行う。

<調査方法>

アイカメラ調査／ボランティア日誌分析／グループディスカッション／来館者Before-After調査／潜在的意識顧客調査(インターネット調査)／スタッフ気づき調査／全館スタッフワークショップ／館内動態改善調査

2 出版事業

1. 研究紀要

長崎の歴史文化や館蔵資料に関する調査研究の成果を発表することを目的に、「研究紀要」を発行した。

『研究紀要第2号』

発行：2007年12月31日

「長崎歴史文化博物館収蔵沢口一之発給『算術免許状』について」佐藤賢一(電気通信大学准教授)

「『崎陽諏訪明神祭祀図』に描かれる踊町について 江戸時代における諏訪祭礼の踊町順とその変遷」原田博二(当館研究所長)

「長崎奉行所関係資料の抜荷記録にみる琉球貿易」深瀬公一郎(当館研究員)

「江戸幕府治安維持に関する一考察－長崎の警察機関を事例として－」安高啓明(当館研究員)

「二十四孝『大舜』図についての一考察－岩井江雲筆『白象図』の図像的位置づけと制作事情を中心に－」植松有希(当館研究員)

「『慶賀魚図』の推定制作年代」平岡隆二(当館主任研究員)

<史料紹介>「慶応三年のキリシタン教会暦」清水紘一(中央大学教授)

『研究紀要第3号』

発行：2008年12月31日

「伴天連追放分の発令過程」清水紘一氏(中央大学人文科学研究所客員研究員)

「ライデン国立民族学博物館蔵川原慶賀筆『寺院図』について」原田博二(当館研究所長)

「イエズス会の日本布教戦略と宇宙論－好奇と理性、デウスの存在証明、パライソの場所－」平岡隆二(当館主任研究員)

「19世紀における東アジア海域と唐人騒動」深瀬公一郎(当館研究員)

「長崎奉行所の法概念－長崎奉行所関係資料を中心に－」安高啓明(当館研究員)

「木下逸雲・池島邨泉を中心とする、長崎の書画会について」植松有希(当館研究員)

2. 史料翻刻

当館所蔵の古文書資料の活用を広くはかることを目的に、史料の翻刻作業を行い「長崎歴史文化博物館長崎歴史文化研究所史料叢書」として刊行した。

平成19年度・20年度は、国の重要文化財に指定されている「長崎奉行所関係資料」の中から唐人屋敷や出島での抜荷事件に関する記録が記された「唐阿蘭陀申渡」を翻刻した。

長崎歴史文化研究所史料叢書二「唐阿蘭陀申渡(上)」

発行：2008年3月31日

執筆・編集協力：長崎史学習会

長崎歴史文化研究所史料叢書三「唐阿蘭陀申渡(下)」

発行：2009年3月31日

執筆・編集協力：長崎史学習会

<編集委員>

大堀 哲 原田博二 平岡隆二 深瀬公一郎 植松有希

3. 長崎学ハンドブック

長崎市の長崎学普及事業の一環として始まった長崎学ハンドブックの刊行は、長崎市立博物館においてこれまでに「長崎の史跡(北部編)」「長崎の史跡(南部編)」「長崎の史跡(歌碑・句碑・記念碑編)」「長崎の史跡(墓地・墓碑編)」の4巻が刊行された。この事業を引き継ぎ平成19年度に長崎学ハンドブックⅤとして「長崎の史跡(街道)」を発行した。

長崎学ハンドブックⅤ「長崎の史跡(街道)」

発行：2007年11月30日

監修：原田博二(当館研究所長)

3 館外活動

原田博二

- ・大分県立歴史博物館資料収集委員会委員(平成19年度)
- ・長崎大学留学生センター非常勤講師(2008年4月～9月)
- ・長崎大学大学教育機能開発センター非常勤講師(2007年10月2日)
- ・長崎純心大学非常勤講師(平成19年度)
- ・長崎県博物館資料価格評価委員会委員(平成19年度)
- ・長崎県博物館資料収集委員会委員
- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月3日)
- ・雲仙市教育委員会 鍋島邸資料整理委員会委員(2007年6月～2008年3月)

竹内有理

- ・文部科学省生涯学習政策局「これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議 学芸員の養成に関するワーキンググループ」委員(2007年9月～2009年3月)
- ・放送大学客員准教授(平成19年度・平成20年度)
- ・『新訂博物館経営・情報論』(放送大学教育振興会 2008年3月発行)執筆
- ・「社会的責任と利益追求のはざまでー長崎歴史文化博物館の事例からー」『文化経済学会第6巻第1号』(2008年)執筆

越中勇

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員(平成19年度・平成20年度)
- ・九州国立博物館 買取評価会委員(平成19年度)
- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月20日)

平岡隆二

- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月12日)
- ・県立長崎シーボルト大学講師(2007年11月14日／11月28日)

安高啓明

- ・長崎市中央公民館講座講師(2007年10月3日／2008年6月10日)
- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月5日)
- ・雲仙市教育委員会 鍋島邸資料整理委員会委員(2007年6月～2008年3月)
- ・NHK文化センター長崎支社講師(平成19年度)
- ・平成19年度文化庁歴史民俗資料館等専門職員研修会参加

深瀬公一郎

- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月10日)
- ・長崎県文化振興課「旅する長崎学講座」講師(2009年1月10日)
- ・平成20年度文化庁歴史民俗資料館等専門職員研修会参加

植松有希

- ・長崎商工会議所 長崎歴史文化観光検定1級受験対策セミナー講師(2007年12月17日)

久保憲司

- ・第1回九州国立博物館ボランティアコーディネーターネットワーク会議出席(2007年10月26日)

1 博物館実習

平成19年度

◇実習期間 8月7日(火)～8月17日(金)10日間

◇実習内容

1日目	・オリエンテーション ・施設の概要、教育普及事業 ・施設見学(バックヤード等) ・展示室見学(常設・企画)
2日目	・資料管理 ・資料の取扱い(美術) ・教育普及「子どもたちの魚展」準備
3日目	・資料の取扱い(美術) ・資料の取扱い(工芸)
4日目	・教育普及事業について ・教育普及「べっ甲体験」 ・接客業務 フロア体験 ・広報・営業について ・教育普及「ナイトミュージアム」
5日目	・体験コーナー説明 ・教育普及「染め物体験」 ・接客業務 フロア体験 ・来館者調査
6日目	・教育普及 ワークシート体験 ・教育普及 長崎刺繍・木で作ろう ・来館者調査 ・接客業務 フロア体験
7日目	・古文書修復 ・来館者調査
8日目	・企画展の作り方
9日目	・来館者調査 ・課題制作
10日目	・課題制作 ・課題発表



◇実習生

田村 裕一	立教大学文学部史学科 3年
根メ 舞子	宮崎大学教育文化学部生活文化課程生活環境コース 4年
永尾 江美	日本女子大学人間社会学部文化学科 4年
黒板 絵梨	東京女子大学現代文化学部地域文化学科 4年
迎 華代	長崎国際大学人間社会学部国際観光学科 4年
片山 亜津子	長崎国際大学人間社会学部国際観光学科 4年
葛屋 百合子	活水女子大学文学部英語学科 4年
井手 涼子	活水女子大学文学部人間関係学科 4年
瀬戸 梓	活水女子大学人間関係学科 4年
高雄 喜子	活水女子大学文学部人間関係学科 4年
吉川 育美	活水女子大学文学部人間関係学科 4年
吉本 彩子	活水女子大学文学部人間関係学科 4年

◇実習期間 8月1日(金)～8月11日(月)10日間

◇実習内容

1日目	・オリエンテーション ・施設の概要 ・ボランティアについて ・施設見学
2日目	・教育事業について ・教育普及「れきぶん探検」 ・企画展展示解説 ・教育普及 クイズラリー ・ボランティア研修
3日目	・教育普及「れきぶん探検」 ・企画展展示解説 ・教育普及「こどものへや」 ・教育普及 ワークシート ・接客業務 フロア体験
4日目	・企画展について ・企画展の広報 ・展示の見せ方 ・スケッチ作品展示作業 ・教育普及「染め体験」準備
5日目	・資料の管理について ・画像の管理 ・資料情報の登録
6日目	・資料の取扱い ・修復作業
7日目	・資料の取扱い ・修復作業
8日目	・来館者調査
9日目	・来館者調査 ・教育普及「ナイトミュージアム」
10日目	・課題制作 ・課題発表



◇実習生

- 平山 裕子 崇城大学芸術学部デザイン学科4年
- 初瀬 博輝 愛知県立芸術大学美術学部(日本画専攻)4年
- 藤原 眞喜子 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
- 下村 香織 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
- 中島 千尋 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
- 前田 はるか 活水女子大学文学部人間関係学科4年
- 松本 まどか 活水女子大学文学部人間関係学科4年
- 石原 菜穂美 県立長崎シーボルト大学国際交流学科4年
- 白石 亜希子 長崎大学教育学部(情報文化教育課程芸術文化コース美術専修)4年
- 村山 美菜子 長崎大学教育学部(美術専攻)3年
- 大場 亮 長崎大学教育学部(情報文化教育芸術文化美術分野専攻)3年
- 朝長 大輔 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科4年
- 山口 純一 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科4年

8

広報マーケティング

1 新聞掲載実績

平成19年度		
掲載日	新聞紙名	見出し
2007年4月3日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展／ボランティアで出展に奔走／広島の上川内さん
2007年4月4日	長崎新聞	4,000点をデータベース化／川原慶賀の作品／きょうから一般公開
2007年4月5日	朝日新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／平和訴える日米親善の「使者」
2007年4月5日	長崎新聞	“ミス・アメリカ”に脚光／7日から「青い目の人形と長崎瓊子展」／皇室に献上 親善の宝物
2007年4月7日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／丁寧に着付け直し
2007年4月6日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／「ミス・アメリカ」と「長崎瓊子」／一緒に知事を“表敬”
2007年4月8日	長崎新聞	日米の子ら祝う／「青い目の人形と長崎瓊子展」開幕
2007年4月8日	読売新聞	日米友好の証し展示／6月まで長崎「青い目の人形」と長崎瓊子
2007年4月8日	西日本新聞	「長崎瓊子」も里帰り／青い目の人形165体を展示
2007年4月14日	長崎新聞	長崎市立山一丁目の長崎歴史文化博物館の二階回廊の一角で、流水を利用した音響装置「水琴窟」が静かな存在感を放っている
2007年4月8日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／80年ぶりの“再会”喜ぶ／日米交流の歴史に思い
2007年4月14日	長崎新聞	「蝶々夫人と長崎」テーマに／市川森一さん奉行所トーク／パークガフニさん迎え
2007年4月15日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／小中学生の入場無料に／平和の大切さ知って
2007年4月14日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／GW挟み多彩な催し／“初公開”の紙芝居も
2007年4月20日	長崎新聞	山田家伝統の武者飾り／七代目 初節句に新調／復元した町屋で公開
2007年4月22日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／「平和への深い思い」平戸で保存「エレン・C」遠山さんが講演
2007年5月4日	長崎新聞	受難乗り越え平和訴え／来月10日まで「青い目の人形展」
2007年4月24日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／昭和初期の教室で授業／桜町小6年／“平和の使者”の交流史に触れる
2007年4月26日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／壱岐の今、そして未来
2007年4月27日	長崎新聞	青い目の人形に会いに行こう／長崎人形交流研究者／遠山博文(六六)
2007年4月30日	長崎新聞	「マダム・バタフライ」の背景は…／市川さんとパークガフニさん／「奉行所トーク」
2007年5月1日	長崎新聞	食／端午の節句の祝い菓子といえば関東では「かしわもち」だが、関西、西日本は「ちまき」が主流だ
2007年5月2日	長崎新聞	茶席のもてなし 来場者の心とむ
2007年5月3日	長崎新聞	初夏の花さわやかに／彩り添えるリレー生け花展
2007年5月4日	長崎新聞	奉行所トーク「蝶々夫人と長崎」／真実の人物像に迫る
2007年5月6日	読売新聞	独楽遊びに親子で挑戦／独特の剣打ち／楽しく色付け
2007年5月6日	朝日新聞	思い出胸いっぱい／佐世保こま
2007年5月5日	長崎新聞	手作り紙芝居好評／歴史を情感豊かに
2007年5月6日	長崎新聞	佐世保こまの絵付けに挑戦
2007年5月10日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／12日に記念コンサート／平和のきずな歌でアピール
2007年5月9日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／日米親善 足跡を解説／ギュリック家の系譜も
2007年5月15日	長崎新聞	うず潮／宮田隆／青い目の人形と瓊子展
2007年5月22日	西日本新聞	オランダ・ライデン博物館所蔵／のぞきカラクリなど展示／長崎歴博に77点届く
2007年5月24日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展 特別講演／渋沢栄一と国際交流／不屈の精神力に学べ
2007年5月30日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／会場内クイズが人気／気分は“宝探し”
2007年5月24日	長崎新聞	生活短信／友情の人形で講演、活動報告
2007年5月21日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／「友情と平和」題材に創作／子どもがイメージを作品化
2007年5月26日	長崎新聞	江戸期の長崎のぞいてみて／カラクリなど4点展示
2007年5月27日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／各県の人形の会交流／ギュリック三世講演も
2007年5月31日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／母国の人形に歓声／米基地内児童51名が対面
2007年5月31日	長崎新聞	悲しみ伝わる「親善人形展」／主婦 中村泉子(七〇)
2007年6月5日	長崎新聞	表情豊かな漢画並ぶ／「故事人物画の世界」展

2007年6月5日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／文化づくりがまちづくり
2007年6月7日	長崎新聞	青い目の人形と長崎瓊子展／平和願うメッセージ続々／修学旅行生や外国人 思い寄せる
2007年6月16日	日本経済新聞	転勤族のための九州・沖縄学／長崎歴史文化博物館／「鎖国時代」の窓口体感
2007年6月23日	長崎新聞	江戸期の七夕再現／川原慶賀の絵をもとに
2007年6月24日	読売新聞	長崎歴史文化博物館／入館者早くも100万人／1年7か月
2007年6月24日	西日本新聞	入館者数が100万人突破
2007年6月24日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館／入館者100万人突破／開館577日目／予想より2年早く
2007年6月24日	朝日新聞	歴史文化博物館／入館者が100万人
2007年6月25日	長崎新聞	市川さん、山口さん 長崎歴史文化博物館で奉行所トーク／「遊びの心」は長崎の文化／平成の丸山事情テーマに
2007年6月27日	長崎新聞	歴史文化博物館で結婚式はいかが／施設活用呼び掛け／奉行所玄関望めるイベント広場
2007年7月1日	西日本新聞	長崎歴史文化博物館入館者が100万人突破／記念の紅梅を植樹
2007年7月1日	読売新聞	旅行けば江戸気分／憧れ「長崎奉行」なぜか3D映像
2007年7月4日	長崎新聞	限界集落再生しよう／30日長崎でシンポ／「団塊世代」の活用狙う
2007年7月8日	西日本新聞	江戸期の魚図はく製…200点／「シーボルトの水族館」
2007年7月6日	長崎新聞	江戸時代の“魚文化”学ぼう／はく製や魚図一堂に／「シーボルトの水族館」展
2007年7月7日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／奉行所博物館での寸劇
2007年7月9日	長崎新聞	気分は“海中散歩”／シーボルトの水族館 はく製など並ぶ
2007年7月11日	長崎新聞	「將軍侍医に協力」／シーボルトの標本採集／山口氏講演で指摘
2007年7月22日	長崎新聞	夏休み遊んで学ぼう
2007年7月26日	長崎新聞	長崎国際観光コンベンション協／アクションプラン策定／さるくコース独自に新設など
2007年8月18日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館で「連携授業」を／無職 末永浩(七一)
2007年7月27日	長崎新聞	せりふ、立ち回り見事／子どもたち元気に時代劇
2007年7月24日	長崎新聞	芥川龍之介自筆の屏風／「河童図」を展示／きょうの命日に合わせ
2007年8月6日	長崎新聞	石だたみ／長崎市の長崎歴史文化博物館で五日、魚を描いたカードを使った巨大おさかなカルタ大会があり、
2007年8月7日	長崎新聞	ミュージアム塾／県美術館と歴史文化博物館／経済波及効果を発表／06年度、28億円と76億円
2007年8月8日	長崎新聞	来年3月長崎で／五島の教会展／五島市長に協力求める／久賀島墓碑調査報告書「復活の島」来月刊行
2007年8月16日	西日本新聞	入場者が1万人を突破／シーボルトの水族館展
2007年8月19日	読売新聞	コイは何のシンボル？／「おさかな検定」に20名挑戦
2007年8月24日	長崎新聞	お答え／長崎歴史文化博物館で「連携授業」をについて／長崎歴史文化博物館長 大堀哲
2007年8月25日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／生涯学習としての音楽
2007年9月1日	西日本新聞	わくわくミュージアム逸品紹介／伊東マンショ肖像画／西洋が描いた初の日本人
2007年9月7日	長崎新聞	久賀島キリシタン墓碑調査／長崎文献社「復活の島」発刊
2007年9月7日	朝日新聞	近代キリスト教の資料に／久賀島の教徒の墓碑230基／県職員ら調査し出版
2007年9月8日	長崎新聞	肖像画の複製画が完成／天正遣欧使節伊東マンショら／県が高橋亮馬氏に依頼
2007年9月8日	朝日新聞	日本・オランダ、芸術競演／長崎市で交流展
2007年9月8日	西日本新聞	豪華な婚礼衣装と帯紹介／故栗岡さん着用の12点
2007年9月8日	読売新聞	久賀島の230基調査報告書出版／キリスト教墓碑／「禁教令解除の喜び伝わる」
2007年9月12日	長崎新聞	栗岡家4代目妻・なみ子氏／着用の絢爛婚礼衣装
2007年9月27日	朝日新聞	「江戸時代の女性の美しさ」描く
2007年9月16日	長崎新聞	'07長崎ミュージアムメッセ／博物館の“展覧会”
2007年9月23日	長崎新聞	くんちを彩る長崎刺繍並ぶ／「三七三年展」に匠の技60点
2007年9月30日	西日本新聞	「異国の街」にぎわう／長崎市居留地まつりと孔子祭
2007年9月30日	長崎新聞	孔子生誕祭華やかに／駐長崎中国総領事ら参加
2007年9月30日	長崎新聞	長崎刺繍の名品並ぶ／「くんち三七三年展」開幕／船頭衣装や傘鉾垂など70点
2007年9月30日	朝日新聞	孔子生誕の祝い、盛大に
2007年10月3日	長崎新聞	「くんち三七三年展」に寄せて(上)／傘鉾の歴史／貿易都市、伝統工芸も反映
2007年10月5日	長崎新聞	「くんち三七三年展」に寄せて(下)／よみがえる長崎刺繍
2007年10月13日	長崎新聞	黒川紀章さん死去／建築家 国内外で活躍
2007年10月13日	西日本新聞	黒川紀章氏死去／「共生」時代先取り／50年前に造語／参院選でも提唱
2007年10月13日	長崎新聞	黒川紀章さん死去／本県とのゆかり深く／歴史文化博物館設計など手掛ける

2007年10月13日	長崎新聞	「長崎の女性」特集展示／吾妻出身栗原玉葉の作品も
2007年10月13日	長崎新聞	好評「くんち三七三年展」／息のむ長崎刺繍の絶品／船大工町の船頭衣装など
2007年10月28日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／二つの初体験
2007年10月28日	長崎新聞	「勝海舟と幕末長崎」展／日本初公開の資料多数
2007年11月3日	日本経済新聞	日蘭交流資料でひもとく／「勝海舟と幕末長崎」展きょう開幕
2007年11月3日	長崎新聞	きょうから「勝海舟」展／初公開含む230点一堂に
2007年11月3日	朝日新聞	勝海舟に迫る展示150点／子孫提供、初公開品も
2007年11月20日	長崎新聞	「勝海舟と幕末長崎」展／海軍伝習所時代の資料も／人物像さらに身近に
2007年11月15日	長崎新聞	「長崎の女たち」語ろう／女性史研究会 第2集出版で記念会／18日長崎歴史文化博物館
2007年11月25日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／勝海舟と幕末の長崎
2007年12月8日	朝日新聞	弾圧下の信仰ゆかりの品々／信徒の熱心さ示す23点／あすから長崎市で浦上キリシタン資料展
2007年12月12日	長崎新聞	浦上キリシタン資料初公開／中央大教授所蔵 現存最古の日繰りなど
2007年12月2日	長崎新聞	勝海舟と幕末長崎／子孫の勝芳邦さん講演／「日本近代化に強い影響」
2007年12月9日	朝日新聞	カルタ作り／歴史も勉強
2007年12月22日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／市民が主役のまち・平戸
2007年12月19日	朝日新聞	最大の翼竜に迫る／白亜紀の空 広げた翼は10メートル
2007年12月22日	朝日新聞	驚きの巨大さ 翼竜展開幕／初公開含む110点展示
2008年1月10日	朝日新聞	君臨、空のモンスター
2007年12月26日	長崎新聞	川原慶賀作「日本人の一生」／蘭で発見、県が購入／国内初長崎歴史文博所蔵へ
2008年1月5日	長崎新聞	長崎大能楽部が「新春初舞」披露
2007年12月29日	西日本新聞	10メートルの巨大模型が目玉／世界最大の翼竜展／謎多き姿に迫る
2008年1月3日	長崎新聞	玉すだれの妙技堪能／はくぶつかんのお正月／6日まで催し多彩
2008年1月7日	長崎新聞	面白いよ日本の遊び／悪戦苦闘福笑い／色鮮やかバラモン風
2008年1月6日	長崎新聞	心和む音の贈り物／琴とフルート清らかに
2008年1月9日	朝日新聞	「翼竜展」入場1万人を突破／東京の大森さん
2008年1月8日	西日本新聞	長崎市で剣道演武大会／剣士120名、技競う
2008年2月3日	朝日新聞	「翼竜展」2万人入場／大村の家族に記念品
2008年1月25日	朝日新聞	鎖国時代の版画などお披露目
2008年1月30日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／剣道と礼節・信義・誠・形
2008年2月4日	朝日新聞	長崎奉行豆まき／「私にも投げて」／節分、歴史文化博物館
2008年2月25日	朝日新聞	「翼竜展」が閉幕／3万人超の来場
2008年2月24日	長崎新聞	金屏風10点／「贈蘭屏風」152年ぶり里帰り／来月5日から公開
2008年2月25日	西日本新聞	唐人屋敷の価値知って／脚本家・市川さんらがトーク
2008年2月16日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／東京からのお便り
2008年3月2日	長崎新聞	日蘭友好の懸け橋／贈蘭屏風／幕末の長崎から渡海
2008年3月5日	長崎新聞	豪華絢爛に「屏風」展／きょうから長崎歴史文博
2008年3月5日	長崎新聞	里帰り展示の「金屏風」／色あせない輝き
2008年3月13日	長崎新聞	石だたみ／江戸時代後期に長崎で活躍したドイツ人医師シーボルトがオランダへ持ち帰った貴重なうちわや扇子が展示中
2008年3月12日	朝日新聞	聖なる光 祭壇照らす
2008年3月19日	朝日新聞	個性的歴史取り上げたい／歴史文化研究所職員
2008年3月6日	長崎新聞	五島の教会紹介／堂崎教会の天井再現など
2008年3月6日	長崎新聞	「屏風」展開幕／絢爛な輝きで魅了／知事らテープカットで祝う
2008年3月6日	日本経済新聞	幕末の屏風長崎で展覧会
2008年3月9日	日本経済新聞	「屏風－将軍からの贈り物－」展／激動の外交 支えた美／黄金の輝き150年あせず
2008年3月16日	長崎新聞	儀礼と外交に重要な役割／榊原教授講演会
2008年3月22日	読売新聞	聞きたい／県文化振興課課長補佐 大石一久さん(56)／伏碑ルーツ明らかに
2008年3月20日	長崎新聞	「日本人の一生」初公開／川原慶賀作の12点
2008年3月30日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／しまばら半島未来塾

〈平成20年度〉

2008年4月6日 長崎新聞 寸劇に新演目!!／「ペーロン競漕喧嘩事件」

2008年4月8日	朝日新聞	「ノリタケデザイン 100年の歴史」展／海渡り、今も鮮やか／画帖に凝縮、明治期の装飾美
2008年4月12日	朝日新聞	洋食器の礎100年の歴史／「ノリタケデザイン」展、きょう開幕
2008年4月13日	西日本新聞	明治－昭和の洋食器紹介／ノリタケデザイン展始まる／カタログなども展示
2008年4月16日	長崎新聞	「ノリタケ」の陶磁器を展示／デザインの変遷楽しんで
2008年4月20日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／あいづっこ宣言
2008年5月16日	朝日新聞	収蔵資料 出前します／歴史文化博物館が企画／受け入れ施設募集
2008年5月20日	長崎新聞	波佐見焼絵付け体験
2008年4月21日	朝日新聞	長崎学講座盛況／神社解説／史跡めぐりも
2008年5月17日	朝日新聞	歴史文化博物館で「波佐見ウィーク」／きょうから陶器市など
2008年5月20日	長崎新聞	長崎の歴史を歩いて再発見／史跡めぐりに200名
2008年5月22日	長崎新聞	演奏会「希(のぞみ)」／長崎の四季、歌と音で
2008年5月24日	西日本新聞	長崎の名曲を次世代に／9月28日にコンサート／市民合唱や検番の踊り
2008年5月27日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／博物館ボランティア
2008年5月24日	朝日新聞	「ノリタケデザイン100年の歴史」展／洋食器が語る日本産業史
2008年6月14日	長崎新聞	長崎新聞120年の歩み①／揺籃期／日本初の英字新聞発行
2008年5月14日	西日本新聞	わくわくミュージアム企画展／「江戸のタイムカプセル」／伊能図から歯ブラシまで
2008年6月13日	西日本新聞	「江戸のタイムカプセル」／近世長崎の文化交流を回顧
2008年6月15日	読売新聞	近世長崎 日蘭の収作物展／目を引くアイヌの着物
2008年6月16日	長崎新聞	日蘭の所蔵品150点「近世長崎」展／江戸時代へ時間旅行
2008年6月16日	長崎新聞	楽しくイタリア語る／長崎歴史博・大堀館長／本年度も「トーク」開催
2008年6月21日	日本経済新聞	学芸員の力伸ばせ／博物館、大学と連携／地域の教育担う人材に
2008年6月23日	長崎新聞	くんちの歴史学ぶ／長崎学公開講座に260名
2008年6月25日	長崎新聞	市川森一さん「蝶々さん」語る／29日に「名誉館長奉行所トーク」
2008年6月22日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／韓国の青年
2008年6月27日	長崎新聞	長崎近世文書会／長崎学を陰で支える／歴史博から奉行所史料集刊行
2008年6月29日	読売新聞	長崎の曲でコンサート／9月28日「精霊流し」など27曲
2008年6月29日	読売新聞	育て 公共ホールの担い手
2008年6月29日	長崎新聞	「明日の神話」魅力など解説／芸術史家の中江氏
2008年7月2日	西日本新聞	長崎・出島のカピタン部屋／オランダで絵図発見
2008年7月2日	日本経済新聞	窓／オランダ・ライデン国立民族学博物館の収蔵庫で、江戸時代の長崎・出島にあったオランダ商館長の屋敷「カピタン部屋」に関する
2008年7月2日	長崎新聞	出島の新史料発見／カピタン部屋「契約書・絵図」／修理費用の分担など記す
2008年7月2日	読売新聞	出島・カピタン部屋改修の契約書／オランダと取り決め 見取り図も
2008年7月3日	長崎新聞	ミイラの木棺 世界初公開
2008年7月9日	長崎新聞	歴史博が遠隔授業／江戸時代の長崎テーマ／壱岐の盈科小に
2008年7月4日	長崎新聞	「蝶々さん」誕生秘話／作者の市川森一さん語る
2008年7月8日	長崎新聞	半数が入館者減少傾向／「学芸員ゼロ」4割超／悩みは予算、人員不足
2008年7月17日	長崎新聞	殉教の歴史など紹介／列福式に合わせ／県内外でイベント
2008年7月12日	長崎新聞	長崎新聞120年の歩み②／西南戦争と新聞／戦況を刻々と報道
2008年7月19日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／かたろう会100回
2008年8月22日	長崎新聞	石だたみ／長崎市立山1丁目の長崎歴史文化博物館で二十一日、「れきぶんカルタ大会」があり、
2008年7月19日	長崎新聞	「れきぶん」で夏休み催し／江戸タイムカプセル／「ナイトミュージアム」など
2008年7月23日	長崎新聞	「芥川龍之介筆 河童屏風」原田博二／長崎に残した最高傑作
2008年7月25日	長崎新聞	歯磨き 江戸時代も／蘭所蔵「房楊枝」など展示
2008年7月29日	日本経済新聞	キリシタン文化／日本初の絵画や資料展示／長崎県など
2008年8月14日	長崎新聞	演劇／「悲劇の長崎奉行」／フェートン号事件200年にちなみ
2008年8月18日	朝日新聞	博物館でお祭り気分／工芸体験も
2008年8月14日	西日本新聞	「フェートン号事件」を劇に／事件から200年 追悼の意込め
2008年8月24日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／長崎県の生んだ先覚者から
2008年8月25日	西日本新聞	江戸期の木製歯ブラシ再現!!／コンテスト作品展示／最優秀は一瀬さん(大村市)
2008年8月25日	西日本新聞	平戸市の行事模し／子泣き相撲開催／「え〜ん」と対戦
2008年8月30日	西日本新聞	わくわくミュージアム逸品紹介／瀬戸内海地図屏風／江戸時代の地理感覚を凝縮

2008年9月5日	長崎新聞	長崎歴史文博で接客講習会／もてなしの心磨く
2008年8月22日	西日本新聞	長崎譲渡の寄進状故郷へ／大村純忠、イエズス会に約す
2008年8月31日	長崎新聞	オランダ・ライデンをさるく／原田博二／日本研究の拠点で交流／親切な市民、良き思い出も
2008年9月1日	長崎新聞	石だたみ／茶道裏千家淡交会長崎支部青年部のチャリティー茶会
2008年9月20日	朝日新聞	朝鮮半島と交わった対馬触れて／歴史や文化 長崎市で企画展／つか飾りや像・絵図も
2008年9月30日	西日本新聞	対馬の歴史や文化資料400点
2008年10月4日	読売新聞	朝鮮半島交流対馬展で紹介
2008年9月14日	長崎新聞	「宝の島 対馬」展始まる／貴重な文化財と豊かな自然紹介／渡来物など400点
2008年9月13日	長崎新聞	被爆者の生涯 紙芝居に／平和公園で朗読／静岡の大学生
2008年9月13日	長崎新聞	長崎新聞120年の歩み④／日清・日露戦争と新聞／創刊続々 世論リード
2008年9月17日	長崎新聞	ながさき音楽祭2008／尺八、箏など優雅に響く／長崎歴史文博でコンサート
2008年9月18日	長崎新聞	伝統物語る25点紹介／長崎歴史文博で「くんち三七四年展」
2008年9月18日	読売新聞	「くんち三七四年展」長崎の博物館で開幕
2008年9月24日	朝日新聞	豪華盛大 くんちの情熱／江戸～昭和期の品 長崎市で展示
2008年9月20日	長崎新聞	くんち踊り町、あす歴史文博で公開練習
2008年10月17日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館「宝の島 対馬」展に寄せて／本馬貞夫／郷土の遺産 大切に
2008年9月24日	読売新聞	幕末の長崎の写真展／オランダ人医師が撮影／長崎港や大浦居留地
2008年9月26日	長崎新聞	「蝶々さん」来月1日出版／5日に市川さんサイン会
2008年9月26日	朝日新聞	長崎今昔 長大写真コレクション／ボードインコレクション展歴史文化博物館で来月開幕／蘭医師が見た19世紀の長崎
2008年9月27日	朝日新聞	長崎今昔 長大写真コレクション／サムライ姿のボードイン兄弟／室内で興じる仮装大会
2008年9月26日	長崎新聞	天正8年、長崎と茂木を譲与／純忠の寄進状、世界初公開／イエズス会が貸し出し
2008年10月1日	読売新聞	長崎控訴院の歴史知って／高裁の役目、戦前まで存在／4～6日 長崎で資料展
2008年10月5日	長崎新聞	控訴院など本県司法の歴史紹介／歴史文博でパネル展
2008年10月4日	西日本新聞	長崎控訴院の歴史に光／戦前は九州を統括、原爆で全焼／パネル展きょう開幕
2008年10月2日	西日本新聞	幕末の長崎 写真で回顧／出島や居留地57枚／長崎市の博物館あすから企画展
2008年10月4日	長崎新聞	データベースに資料まとめ網羅
2008年10月4日	長崎新聞	オランダ人医師ボードイン収集／古写真など里帰り／幕末の長崎写す56点
2008年10月5日	朝日新聞	魅力ふんだんもうすぐ本番／モッテコーイ!!長崎くんち／友達と感激味わう
2008年10月11日	朝日新聞	イエズス会に長崎譲渡／純忠の寄進状 里帰り
2008年10月6日	長崎新聞	小説「蝶々さん」刊行記念／市川さんがサイン会
2008年10月11日	長崎新聞	長崎新聞120年の歩み⑤／「長崎新報」不敬事件／「長崎日日新聞」で再出版
2008年9月7日	長崎新聞	13日から「宝の島 対馬展」／国の重要文化財／門外不出の新羅仏
2008年10月18日	読売新聞	遺跡そこでその時 その10／1804年 レザノフ長崎来航／予想外の開国拒絶
2008年10月19日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／“愛”いっぱい愛野町
2008年10月20日	長崎新聞	戯曲作り学ぶ「長崎座」開講
2008年10月26日	長崎新聞	来月長崎での列福式に合わせて／1日から特別展／本県キリシタンの歴史たどる
2008年10月26日	とととって	ケンミンのビタミン／長崎でバチカン、ローマの名宝に出会う／「長崎＋信仰の遺産」開催
2008年10月28日	長崎新聞	キリシタン大名大村純忠の寄進状428年ぶり「里帰り」／長崎・茂木の譲渡 イエズス会に契約
2008年10月28日	西日本新聞	バチカン至宝 初公開品も／来月1日から長崎市で展示会
2008年10月31日	長崎新聞	菓子文化で地域元気に／「シュガーロードシンポ」に180名／田上市長と樋渡武雄市長が対談
2008年10月31日	西日本新聞	江戸の“砂糖の道”生かせ／長崎、佐賀、福岡の連携シンポ／「菓子で地域振興」強調
2008年10月31日	読売新聞	バチカンから初公開の名宝／あすから長崎「列福式」開催記念し
2008年11月1日	長崎新聞	バチカン展内覧会／「輝く名画」「銀の聖杯」／数々の名宝に感嘆の声
2008年11月1日	長崎新聞	信仰の証し長崎に／「バチカン展」きょう開幕
2008年11月2日	長崎新聞	特別展示始まる／殉教福者の遺骨も公開／二十六聖人記念館
2008年11月2日	長崎新聞	長崎歴史文博 開館から3年／160万人入館 目標の1.8倍／活性化策、今後の課題に
2008年11月5日	長崎新聞	「蝶々さん」原点語る／脚本家・市川森一氏／歴史文博3周年を記念
2008年11月7日	朝日新聞	君も長崎通になろう／来月1月、歴史や文化検定／出題に坂本龍馬・軍艦島？
2008年11月8日	長崎新聞	長崎新聞120年の歩み⑥／「明治」から「大正」へ／「天皇崩御」の衝撃伝える
2008年11月8日	長崎新聞	郷土の遺跡展始まる／西九州道工事で発掘／縄文時代から中世まで 貴重な出土品28点
2008年11月8日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／“松陰”君と感激の再会

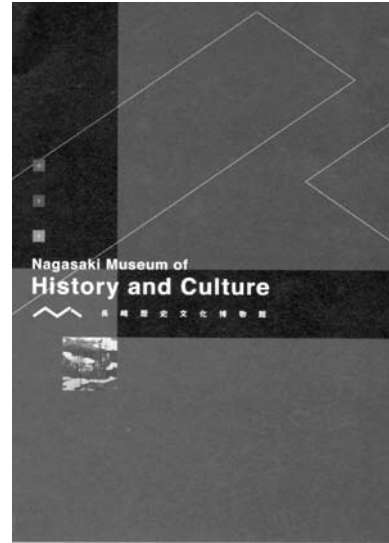
2008年11月9日	朝日新聞	蘭通詞／唐通事／維新以来 子孫が交流／「ルーツ確認できた」声も
2008年11月7日	読売新聞	「唐通事」「蘭通詞」を紹介／江戸時代の外交官
2008年11月7日	長崎新聞	江戸時代の外交官「唐通事・蘭通詞」／あす子孫ら交流会／講演やパネル討論も
2008年11月9日	長崎新聞	唐通事と蘭通詞の子孫集結／祖先の足跡思いはせ／長崎で初の合同交流会
2008年11月15日	西日本新聞	信仰が生んだ美の世界／長崎歴史文化博物館・日本二十六聖人記念館／キリスト教関連の逸品 日本初公開も
2008年11月2日	西日本新聞	バチカン名宝展始まる
2008年11月21日	長崎新聞	ヴァリニャーノ「人物像と日本観」／25日に講演会
2008年11月22日	朝日新聞	バチカン名宝・国重文 福者遺品並べ企画展
2008年11月21日	朝日新聞	庶民の殉教 信仰の範／長崎で24日「列福式」
2008年11月23日	長崎新聞	石だたみ／長崎伝統の鯨食文化をテーマにした食のセミナー
2008年11月30日	長崎新聞	蝶々さん／市川森一著／武士の娘の生きざま
2008年11月30日	西日本新聞	劇団「長崎座」第一幕／市川森一さん旗揚げ準備／脚本家や俳優を育成
2008年12月1日	長崎新聞	「バチカンの名宝とキリシタン文化」展／来場者1万人突破／佐賀の生方さんに記念品
2008年12月1日	西日本新聞	劇団「長崎座」旗揚げへ／「祭りのような演劇目指す」
2008年12月17日	読売新聞	長崎刺繍で出島絵図／年明けから九博で展示
2008年12月11日	長崎新聞	“博物館”がやって来た／長崎歴史文博 初の移動展
2008年12月10日	朝日新聞	“初出前”ケアハウスに／絵画・古写真など20点／利用者ら「懐かしい」
2008年12月18日	朝日新聞	be art／美の履歴書089／「聖母子像」／フラ・アンジェリコ
2008年12月22日	朝日新聞	博物館に響くハンドベルの音
2008年12月19日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／蝶々さんの原点
2008年12月23日	長崎新聞	近世初期の長崎と朝鮮人キリシタン／石尾和貴／秀吉出兵時に連行され殉教
2008年12月24日	朝日新聞	入館者どこ見てる？／展示改善へ視線記録／長崎歴史文化博物館で実験
2009年1月4日	長崎新聞	長崎歴史文博で剣道初稽古／剣士90名勇ましく／諏訪の森に響く竹刀の音
2008年12月28日	長崎新聞	冬休み期間など無料や料金割引／県美術館と長崎歴史文博
2008年12月28日	長崎新聞	映画鑑賞など来年も楽しみ／駐車場管理人 前田英機(六五)
2009年1月4日	長崎新聞	江戸の写し絵里帰り／日蘭交流記念イベント／本県でも多彩に
2009年1月7日	西日本新聞	歴史文化交流の支援を／市川森一さん
2009年1月8日	日本経済新聞	一瞬の輝き 一幕臣の歴史／幕末の日露交渉に携わった曾祖父、古文書掘り起こす／大井昇
2009年1月20日	長崎新聞	ナガサキフリースタイル／「龍馬伝」ロケ地大予想
2009年1月21日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／親子で“諏訪の杜”たんけん
2009年1月31日	長崎新聞	豪華な中国衣装を紹介／来月16日まで 歴史文博で「孔子生誕祭展」
2009年1月29日	西日本新聞	孔子の生誕祝う「釈奠」紹介／衣装や祭具など40点
2009年1月30日	長崎新聞	長崎歴史文博の古文書、資料補習／富川敦子さん／「自然素材が一番」／灰汁利用で注目
2009年2月11日	朝日新聞	「沈黙」スコセッシ版製作／美術監督ら、長崎訪れ取材
2009年2月4日	長崎新聞	「奉行所豆まき」年男ら威勢よく
2009年2月10日	長崎新聞	ひな人形に瞳キラキラ／長崎歴史文博“出前展示”
2009年2月4日	長崎新聞	7日から長崎歴史文博「新発見！エジプト展」／親子ミイラの木棺初公開
2009年2月8日	長崎新聞	「エジプト展」開幕／新発見！夫婦、親子ミイラに興味津々／吉村作治さんあいさつ
2009年2月20日	長崎新聞	入場1万人突破／「新発見！エジプト展」
2009年2月18日	朝日新聞	魅惑のエジプト／ベリーダンス
2009年2月17日	長崎新聞	水や空／古本が好きだ。
2009年2月26日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／孫とのひととき
2009年3月1日	朝日新聞	巨匠の「沈黙」長崎は期待／世界遺産へ「恩寵」／スコセッシ監督訪問
2009年3月1日	長崎新聞	江戸後期の長崎更紗／2年がかり再現／「長崎の染塾」地道に伝統継承
2009年3月5日	長崎新聞	「高貴な女性」の墓発掘／早大の古代エジプト調査隊
2009年3月3日	長崎新聞	入場者2万人突破／エジプト展／北野さんに記念品
2009年3月5日	読売新聞	地球ON-LINE／「建築王」の孫の墓発見か？
2009年3月1日	読売新聞	豪華な飾り6種類／長崎 奉行所ひな祭り
2009年3月10日	長崎新聞	「長崎歴史文博」の指定管理者募集
2009年3月15日	長崎新聞	新発見！エジプト展／「永遠」の死生観明らかに／「死後の生活」を重要視
2009年3月21日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／死生観

2 広報印刷物

・リーフレット



・常設展示ガイド



・長崎れきぶんNEWS



・イベントチラシ

長崎れきぶん 林林林

4月・5月の子ども向けイベント

2007年

7/1 おはなし会とからくりおもちゃ
 日時：4月13日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/2 奉行所ども芝居組
 日時：4月13日(土) 15:30～16:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/30 ハタづくりハタあげ教室
 日時：4月20日(土) 10:00～11:00
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/5 おはなし会とむかしあそび
 日時：4月20日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/12 青い目の人形と長崎端子コンサート
 日時：4月27日(土) 14:00～16:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/13 ワークショップ「コラージュであそぼう」
 日時：4月27日(土) 14:00～16:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

7月・8月子ども向けイベント

7/7 おはなし会と七夕かざり
 日時：7月7日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/25 奉行所ども芝居組
 日時：7月25日(水) 15:30～16:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/5 奉行着付体験
 日時：7月5日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/15 博物館探検
 日時：7月15日(土) 10:00～11:00
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/16 自由研究相談会
 日時：7月16日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/19 自由研究相談会
 日時：7月19日(水) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

7/22 夏休み作品展らん会
 日時：7月22日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

9月・10月子ども向けイベント

9/2 こども奉行着付体験
 日時：9月2日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

9/9 おはなし会と手ぬぐいづくり
 日時：9月9日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

9/23 紙すき体験とランプシェードづくり
 日時：9月23日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

9/26 紙すき体験とランプシェードづくり
 日時：9月26日(水) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

9/27 こども奉行着付体験
 日時：9月27日(木) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

10/6 果をつくらう
 日時：10月6日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

11月・12月子ども向けイベント

11/18 博物館スケッチ大会
 日時：11月18日(日) 10:00～12:00
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

11/23 お正月かざりをつくらう
 日時：11月23日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

12/4 こどものへや
 日時：12月4日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

12/8 お話し会とカルタづくり
 日時：12月8日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

12/15 こどものための長崎字講座(上野野馬場)
 日時：12月15日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

12/18 長崎歴史文化博物館 企画展「長崎の歴史をたどる」
 日時：12月18日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

2月・3月子ども向けイベント

2/3 こども奉行着付体験
 日時：2月3日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

2/22 ガラス絵体験
 日時：2月22日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

2/29 長崎歴史文化博物館 企画展「長崎の歴史をたどる」
 日時：2月29日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

3/3 おはなし会と部分
 日時：3月3日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

3/9 中国あそび体験
 日時：3月9日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

3/17 親子南無教室
 日時：3月17日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

3/1 おはなし会とひなまつり
 日時：3月1日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

4月・5月子ども向けイベント

4/5 こどものへや
 日時：4月5日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：幼児～小学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

4/13 中国遊び-長崎-長崎-中国遊びをたどる
 日時：4月13日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

4/26 ハタづくり教室
 日時：4月26日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

5/13 こども奉行着付体験
 日時：5月13日(日) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

5/11 こども奉行着付体験
 日時：5月11日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

5/18 紙すき体験 絵付け教室
 日時：5月18日(土) 14:30～15:30
 会場：長崎歴史文化博物館 イベント広場
 対象：小学生～中学生
 定員：30名(先着順)
 参加料：無料
 申込：長崎歴史文化博物館 受付

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

れきぶんの夏休み2008

—博物館はみんなの遊び場—

8/10(日) ナイトミュージアム
 8/16(土)、17(日) 奉行所ども芝居組

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

れきぶん ともどもクラブ

2008年度

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

長崎れきぶん 林林林

クリスマス

We wish you a Merry Christmas

【問い合わせ先】
 長崎歴史文化博物館 受付
 電話：095-800-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館子どもイベント係
 二階受付 (Tel) 095-800-0006 (Fax) 095-800-0007

ダイワハウス
新春スペシャル

しなる竹刀、
しなう清心

長崎歴史文化博物館
お正月の贈り物のご案内

11月10日(日) 10:00-14:00(入場無料)
長崎歴史文化博物館 屋外イベント広場

第二回 長崎奉灯附 初稽古

出演者：長崎県立音楽院吹奏楽部、長崎県立音楽院吹奏楽部、長崎県立音楽院吹奏楽部

長崎奉灯所

新内寄席

一 新内 宗幸 幸丸
二 新内 宗幸 幸丸

日時：2008年8月18日(日) 18時30分開演
会場：長崎歴史文化博物館ホール
入場料：大人 1,000円 高校生以下 500円

三味線で聴くおちらべ唄

ながさき音楽祭2008

長崎奉灯所

お月見コンサート

9.15(月)祝

長崎歴史文化博物館(奉灯所内会場)

ジュニアオーケストラ 9.20(土)祝

前日は君たちのもの

第二回 長崎奉灯所

新内寄席

滝の白糸 顔の母

新内 宗幸 幸丸

日時：2008年10月10日(日) 18時30分開演
会場：長崎歴史文化博物館ホール
入場料：大人 1,000円
主催：長崎歴史文化博物館

わきぶんのクリスマス

子どもファミリー向けイベント

11/30(日) ベーダークラフト
12/13(日) マクロニッパのクリスマスリース
12/14(月) クリスマスツリー
12/20(日) 和紙で飾ろうクリスマスツリー
12/23(日) クリスマスツリー

身に染みいる
やまとの心。

第二回 長崎奉灯所 初稽古 剣道源成大会

11月10日(日) 10:00-14:00(入場無料)
長崎歴史文化博物館 屋外イベント広場

協賛 文明堂総本店

古代文明の響き

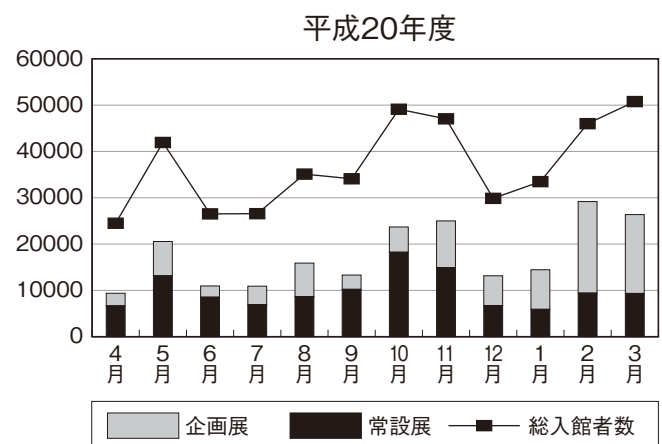
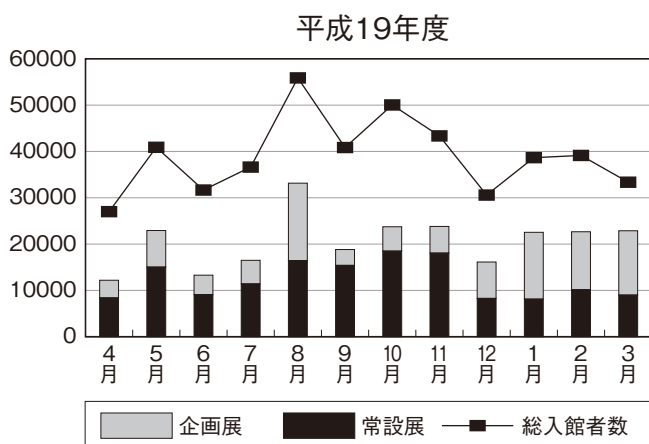
2009年3月6日(金) 18:00開場 18:30開演 @長崎歴史文化博物館ホール

TABLA: 瀬川UKO SITAR: 加藤貞寿 GHATAM: 久野隆昭

1 来館者統計

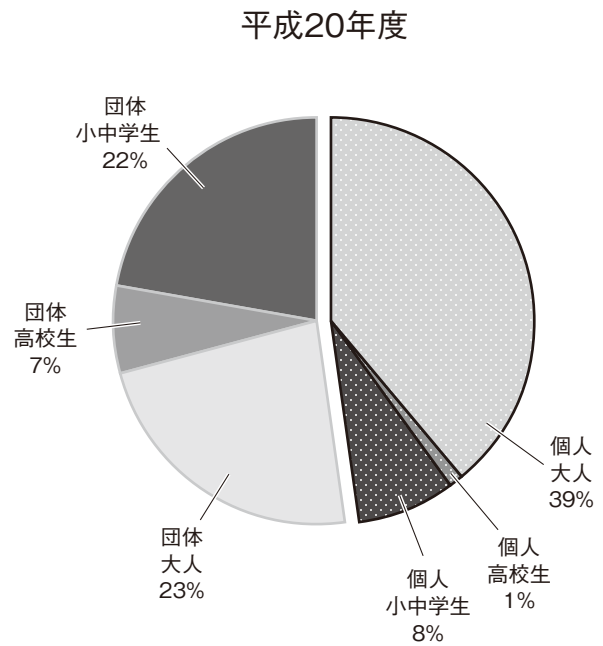
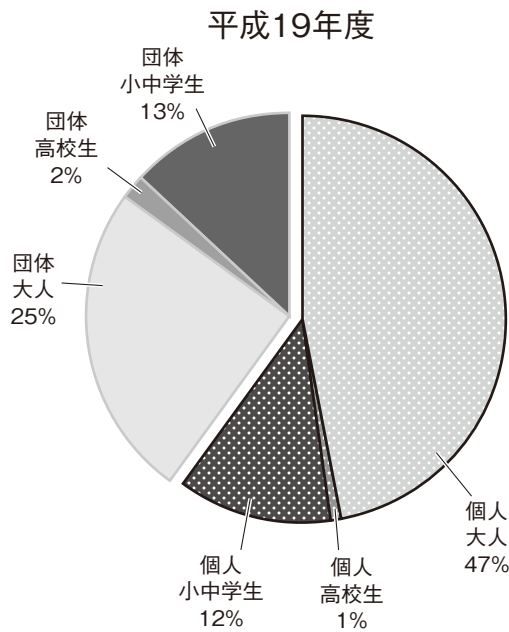
■入館者数

	平成19年度			平成20年度		
	総入館者数	常設展	企画展	総入館者数	常設展	企画展
4月	27,003	8,386	3,808	24,504	6,673	2,712
5月	40,899	15,037	7,894	41,939	13,162	7,394
6月	31,670	9,100	4,190	26,518	8,541	2,421
7月	36,630	11,405	5,092	26,567	6,931	3,982
8月	55,876	16,438	16,717	35,111	8,648	7,251
9月	40,846	15,405	3,422	34,099	10,232	3,082
10月	50,040	18,486	5,256	49,115	18,247	5,451
11月	43,355	18,057	5,755	47,043	14,939	10,068
12月	30,585	8,278	7,853	29,875	6,729	6,429
1月	38,660	8,122	14,422	33,485	5,918	8,546
2月	39,140	10,149	12,515	46,002	9,421	19,759
3月	33,363	8,995	13,883	50,768	9,344	17,024
合計	468,067	147,858	100,807	445,026	118,785	94,119



■常設展入館者内訳

		平成19年度	平成20年度
個人	大人	69,794	46,197
	高校生	1,660	1,573
	小中学生	17,861	9,799
団体	大人	36,529	27,666
	高校生	2,567	7,711
	小中学生	19,447	25,839



2 主な来訪者

2007年

5月26日(土) シドニー・ルイス・ギュリック3世
フランシス・フロスト・ギュリック氏
8月20日(月) 岡山県津山市長 桑山博之氏
9月5日(水) スペイン外務省 駐日大使館
10月20日(土) 中山太郎元外務大臣
10月30日(火) 中国蘇州市平江区訪問団

11月3日(土) アボット大阪英国領事館副総領事夫妻
11月10日(土) 駐日オランダ大使夫妻
12月8日(土) ラオス人民民主共和国外務大臣補佐官
12月8日(土) 上海市人民对外友好協会常務理事
12月16日(日) J.M.クッツェー ノーベル文学賞受賞者

2008年

4月9日(水) ターケ・キーパース オランダ王立貨幣博物館館長
6月8日(日) マリア・ファン・デル・ファーベン オランダ経済大臣
ディルクヤン・コップ在大阪・神戸オランダ総領事
6月15日(日) レンツェンドー・ジグジッド 駐日モンゴル国特命全権大使
廣田勝男 在日モンゴル国名誉領事

7月12日(土) フィリップ・フォール駐日フランス大使夫妻
アラン・ナウム在大阪・神戸フランス総領事夫妻
8月20日(水) ゴッドウィン・アボ駐日ナイジェリア大使夫妻、
ジェームス・オラレイエ公使
10月7日(火) 内館牧子氏(作家・日本相撲協会)
11月23日(日) 藤城清治氏(影絵作家)
11月25日(火) 上野景文バチカン大使
12月6日(土) ニシム・ベンシトリット駐日イスラエル特命全権大使

2009年

2月27日(金) 渋谷實在オランダ大使館特命全権大使
2月28日(土) マーティン・スコセッシ(映画監督)

3月25日(水) 中国福州市水産代表团

10 収 支

平成19年度

〈負担金事業〉

単位：千円

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		348,387	348,330	-57
設置者負担金		347,837	347,837	0
利用者負担金収入		550	493	-57
支 出 合 計		348,387	348,921	534
管理運営人件費		118,675	119,608	933
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	13,455	18,036	4,581
	調査研究事業	14,200	15,278	1,078
光熱水費		78,960	68,552	-10,408
維持管理費	施設設備保守点検業務	46,062	49,092	3,030
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	40,882	41,886	1,004
	受付案内業務	33,481	33,812	331
	発券機、車両リース	2,672	2,657	-15
負担金事業収支(指定管理者負担損失金)		0	-591	-591

〈利用料金及びその他自主事業〉

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		186,472	185,836	-636
観覧料	常設展・企画展収入	109,472	96,640	-12,832
	協賛金等収入	3,000	15,878	12,878
その他利用料金	駐車場収入	10,800	11,557	757
	施設貸し出し収入	4,400	3,651	-749
ミュージアムショップ収入		33,600	32,746	-854
飲食施設収入		25,200	25,364	164
支 出 合 計		185,647	196,475	10,828
展覧会事業費	常設展示事業費	11,760	11,036	-724
	展覧会・企画展事業費	58,526	76,439	17,913
業務経費	博物館「運営協議会」運営費	800	165	-635
	広報・マーケティング費	30,500	25,381	-5,119
	駐車場運営費	8,778	8,473	-305
	その他利用料金事業	18,811	15,220	-3,591
ミュージアムショップ営業支出		31,776	33,321	1,545
飲食施設営業支出		24,696	26,440	1,744
利用料金及びその他自主事業 収支		825	-10,639	-11,464
総合計(負担金事業、利用料金事業収支合計)		825	-11,230	-12,055

平成20年度

〈負担金事業〉

単位：千円

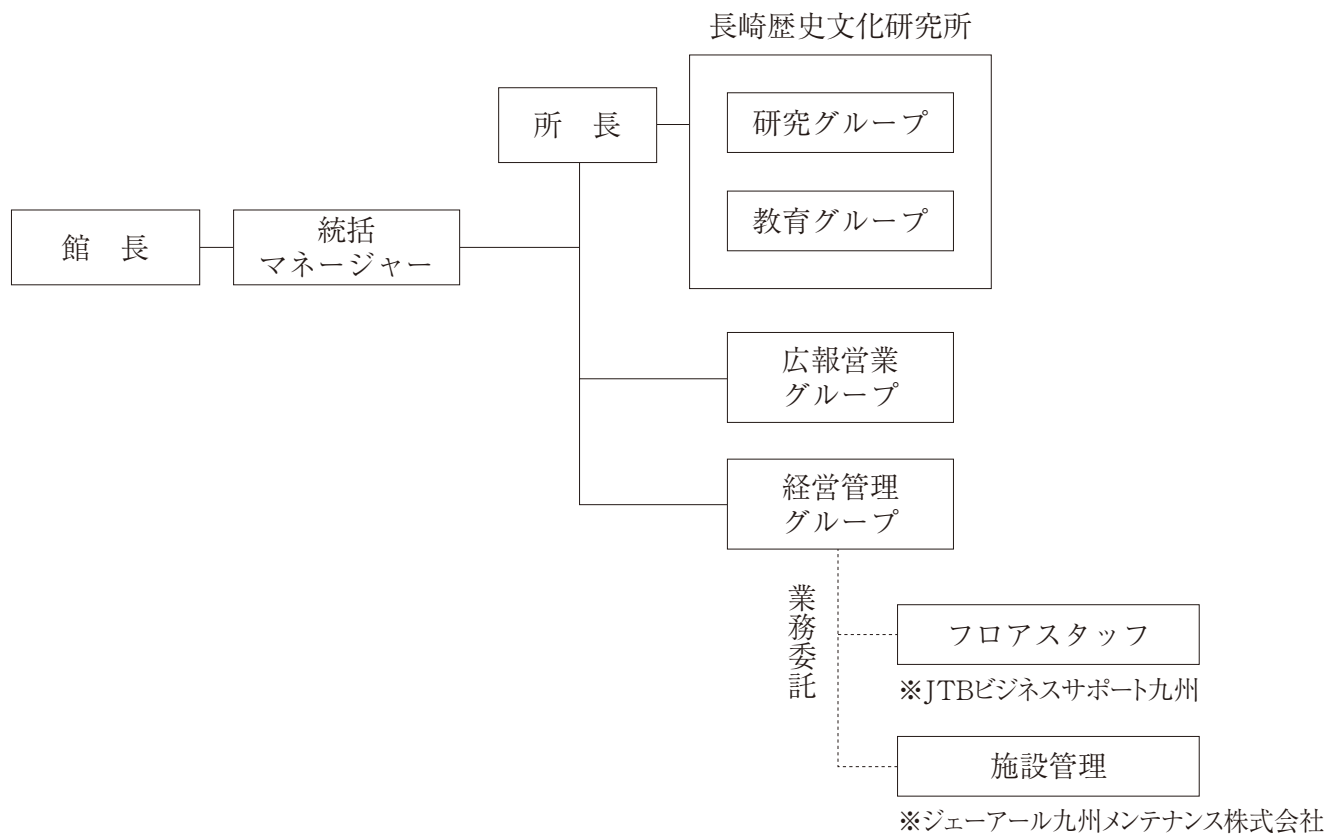
項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		345,995	346,034	39
設置者負担金		345,445	345,445	0
利用者負担金収入		550	589	39
支出合計		345,995	346,413	418
管理運営人件費		118,675	120,414	1,739
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	13,697	16,660	2,963
	調査研究事業	14,878	15,032	154
光熱水費		76,053	75,074	-979
維持管理費	施設設備保守点検業務	45,677	44,884	-793
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	40,882	39,285	-1,597
	受付案内業務	33,481	32,477	-1,004
	発券機、車両リース	2,652	2,587	-65
負担金事業収支(指定管理者負担損失金)		0	-379	-379

〈利用料金及びその他自主事業〉

項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		196,018	198,305	2,287
観覧料	常設展・企画展収入	116,005	106,793	-9,212
	協賛金等収入	8,500	10,032	1,532
その他利用料金	駐車場収入	11,400	10,610	-790
	施設貸し出し収入	11,487	6,237	-5,250
ミュージアムショップ収入		27,929	39,649	11,720
飲食施設収入		20,697	24,984	4,287
支出合計		195,696	199,025	3,329
展覧会事業費	常設展示事業費	10,709	9,455	-1,254
	展覧会・企画展事業費	81,732	79,538	-2,194
業務経費	博物館「運営協議会」運営費	540	240	-300
	広報・マーケティング費	25,004	18,839	-6,165
	駐車場運営費	8,345	7,607	-738
	その他利用料金事業	20,881	18,842	-2,039
ミュージアムショップ営業支出		27,494	39,327	11,833
飲食施設営業支出		20,991	25,177	4,186
利用料金及びその他自主事業 収支		322	-720	-1,042
総合計(負担金事業、利用料金事業収支合計)		322	-1,099	-1,421

組 織

1 職員



<職員構成>

館長	1
統括マネージャー	1
長崎歴史文化研究所長	1
教育・研究グループリーダー	1
研究グループ 主任研究員	2
研究員	5
教育グループ 研究員	4
広報営業グループ	3
経営管理グループリーダー	1
チーフ	1
スタッフ	5
合計	25

平成19年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
長崎歴史文化研究所長	原田 博二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ主任研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	深瀬 公一郎
研究グループ研究員(日本近世史)	安高 啓明
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
教育グループ研究員	矢野 香織
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	一瀬 勇士
広報営業グループチーフ	繁村 敏巳
広報営業グループチーフ	北原 芳樹
広報営業グループ	向井 百合子
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループチーフ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	田中 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	中村 仁美
経営管理グループ	渡辺 智美
客員研究員	水嶋 英治

※研究員は長崎歴史文化研究所研究員を兼ねる。

平成20年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
長崎歴史文化研究所長	原田 博二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ主任研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	深瀬 公一郎
研究グループ研究員(日本近世史)	安高 啓明
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
教育グループ研究員	加藤 謙一
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	一瀬 勇士
広報営業グループリーダー	西島 浩一郎
広報営業グループチーフ	繁村 敏巳
広報営業グループ	向井 百合子
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループチーフ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	田中 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	中村 仁美
経営管理グループ	渡辺 智美
客員研究員	水嶋 英治

※研究員は長崎歴史文化研究所研究員を兼ねる。

2 ボランティア

■第1期登録

(平成17年度～)

荒濱 茂
有馬 佐恵子
池崎 淑子
池角 久子
池田 正豊
池邊 文子
石神 いつ子
泉田 正和
泉田 昌俊
板山 典子
今道 穎治
岩永 加寿子
岩本 喜子
永川 道明
老松 眞紀子
大川 ゆかり
小国 良子
兼松 博子
桜井 蓉子
上西 秀男
河合 亮輝
川口 真一郎
川浪 英也
空閑 和美
黒川 みゆき
小松 由美
境 民子
佐藤 眞一
三田 久美代
篠原 幹雄
島内 真知子
白地 和幸
末永 榮子
田川 文夫

田中 節子
田中 比月
田中 勝
田中 安次郎
田端 光男
鴫田 暉子
友澤 宏之
中尾 勇次
中嶋 豊
中村 薫
中村 公三郎
中本 良一
西本 浜路
西山 りょう子
浜口 正志
林 美智恵
林田 直子
原 和弘
原口 和代
平川 辰興
福田 早葉子
福田 哲也
松本 淳美
松本 和子
眞野 正行
間瀬 美保
光武 妙子
光富 博
三丸 正紀
宮崎 健
宮下 栄
宮田 修二
山下 將能
湯藤 康子
吉沢 隆平
吉田 勲
吉田 敬三郎

吉野 誠次
吉原 麻由美
渡部 富重

■第2期登録

(平成18年度～)

稲田 香苗
江越 弘人
末永 浩
棚倉 はる子
東海 安興
林田 早弓
日宇 孝良
藤 由美子
松谷 武利
本村 隆重
山下 哲郎

■第3期登録

(平成19年度～)

天野 一朗
石橋 久美子
井手 新吾
稲田 雅厚
岡田 望
岡部 さつき
奥川 義孝
長船 恵美
小畑 俊夫
高 芳
小島 瑞穂
小林 晃
佐藤 喜代子
里村 恵津子
相田 全民

立山 幸見
藤本 篤子
古沢 喜代子
松尾 博之
松尾 正次
溝田 みどり
村田 真弓
八木 久雄
山口 文子
山崎 睦枝
吉田 由香里
若杉 昭子

■第4期登録

(平成20年度～)

麻生 美香
池田 直子
浦川 卓
大神 美智子
金子 祐子
嘉松 かめ代
川口 美智子
河内 恵子
白地 弘奈
武田 成子
武藤 治子
田中 保幸
中川 知昭
中牟田 晶子
馬場 公子
別頭 幸子
松田 米人
宮崎 芳子
山下 富久美

3 アドバイザリー会議

長崎歴史文化博物館 運営アドバイザー会議

平成19年度より博物館の運営のあり方について、地域の有識者に広く意見を聴くための運営アドバイザー会議を設置した。

委員

阿部 成人	長崎新聞社生活文化部長
植木 宏治	NHK長崎放送局放送部長
木田 昌宏	松浦史料博物館館長
久保 博之	長崎経済研究所代表取締役社長
黄 禹生	孔子廟・中国歴代博物館館長
小松 雄介	西日本菱重興産株式会社取締役社長
伊達木 百合子	花芸安達流長崎県理事
陳 東華	ホテルJALシティ長崎代表取締役社長
塚田 恵子	NBC長崎放送アナウンス部長
馬場 幸子	長崎音楽ボランティア協会会長
林 敏幸	会楽園支配人
堀内 伊吹	長崎大学教育学部教授(副学部長)
松尾 法道	東明山興福寺住職
松田 祥吾	株式会社多津屋代表取締役社長
宮坂 正英	長崎純心大学人文学部教授
山口 広助	丸山ぶらぶら散策倶楽部代表
脇田 安大	ながさき地域政策研究所理事長

○第1回長崎歴史文化博物館運営アドバイザー会議

日時 2008年1月22日(火)14:00~16:15

内容

- (1)博物館概要及び事業実施状況報告
- (2)今後の博物館運営について
- (3)その他

○第2回長崎歴史文化博物館運営アドバイザー会議

日時 2008年6月4日(水)14:00~16:00

内容

- (1)事業実施状況報告
- (2)博物館運営上の諸問題について
- (3)その他

○第3回長崎歴史文化博物館運営アドバイザー会議

日時 2009年1月19日(月)14:00~16:00

内容

- (1)事業実施状況報告
- (2)2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」にかかる博物館の取組について
- (3)地域と博物館との連携方策について
- (4)博物館の評価について
- (5)その他

4 友の会

博物館の利用者の拡大をはかるため、平成20年度より「長崎れきぶん友の会」制度をスタートさせた。

個人会員数 276人 賛助会員数 23団体

賛助会員：

日本紙工印刷株式会社 崎永海運株式会社 株式会社インテックス
 ジェイアール九州メンテナンス株式会社 扇精光株式会社 株式会社
 ライトハンズ 株式会社JTBビジネスサポート九州 長崎菱興
 サービス株式会社 進和テック株式会社福岡営業所 ラッキー自動
 車株式会社 小鳩幼稚園 株式会社南西電通 有限会社葵巧芸社
 岡崎建工株式会社 有限会社藤勝苑 長崎空港ビルディング株式会
 社 三菱電機ビルテクノサービス株式会社長崎支店 ホテルウイン
 グポート長崎 (株)マルクスインターナショナル うなぎ割烹井手
 株式会社あうらA. P. L. 山下孝行 九州電力株式会社長崎支店

〈個人会員〉

○年会費 5,000円 ○有効期間 1年間

○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
4. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。

5. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
6. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
7. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。

〈賛助会員〉

○年会費 1口 50,000円 ○有効期間 1年間

○特典

1. 会員証のご提示により同伴1名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1口50枚をお渡しいたします。常設展チケット、1口30枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式および特別展覧会に1名ご招待いたします。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
7. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
8. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。
9. 館内貸室は2割引でご利用できます。
10. 1階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者(株)乃村工藝社 (指定期間：平成17年4月1日～平成22年3月31日 5年間)
博物館法分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel 095-818-8366 Fax 095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	(株)乃村工藝社
敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡ (駐車場2,581㎡を含む)
建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円 (長崎県：長崎市 = 2 : 1) 県 53億円 市27億円

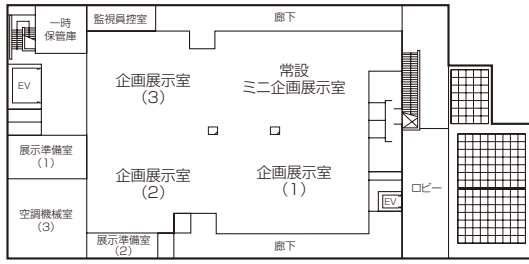


施設面積

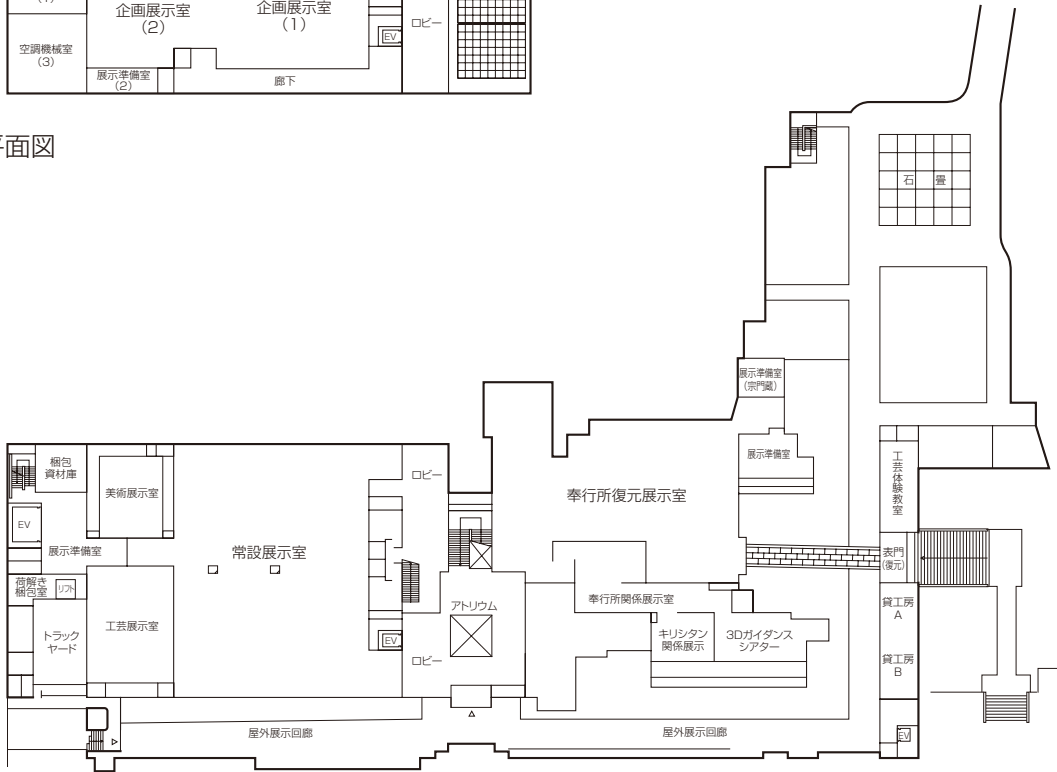
展示関係	常設展示室	1,273.3㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡
	長崎奉行所立山役所（木造部分）	494.6㎡
	企画展示室	1,030.8㎡
教育普及関係	資料閲覧室／長崎学相談コーナー	140.0㎡
	閉架書庫	114.2㎡
	ホール	178.3㎡
	講座室	66.2㎡
	ボランティア室	47.1㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡
	収蔵庫2	158.5㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡
調査研究関係	学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	研究室・資料整理室	92.4㎡
	外来研究室	37.9㎡

設備の概要

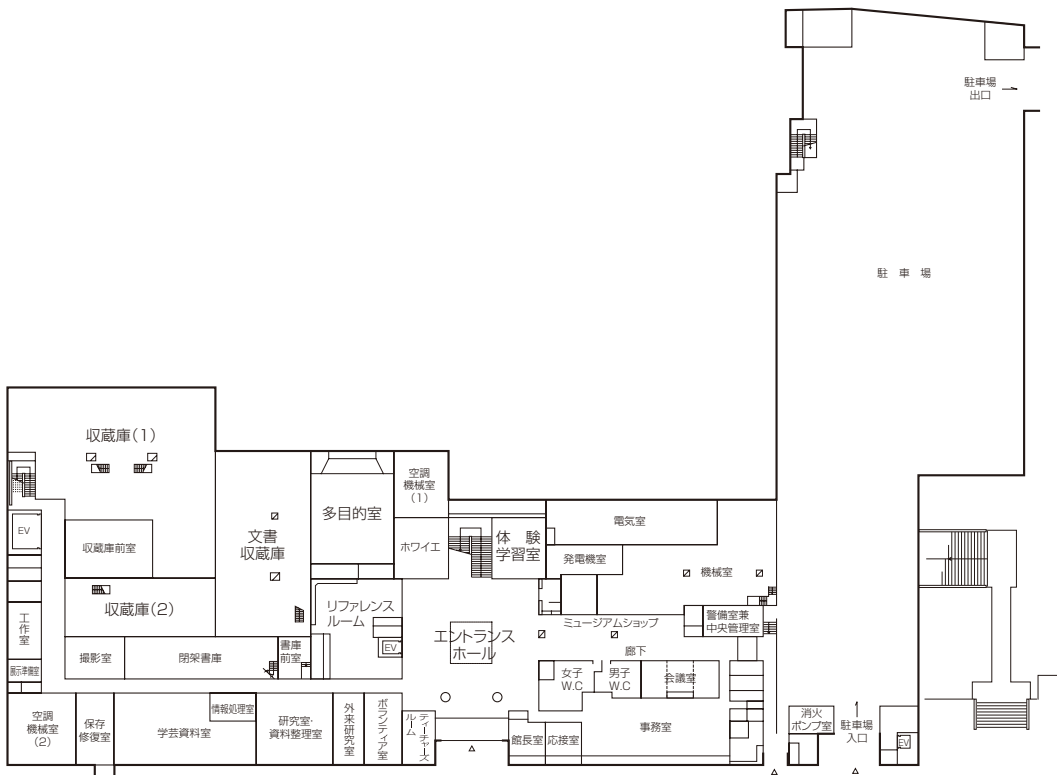
電 気	高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
給排水	上水、雨水処理2系統加圧直送給水方式、 汚水排水 屋内外合流方式 公共下水道放流
消 火	消火器とハロゲン化合物消火設備
空調設備	熱源 ガス炊吸引冷温水発生機
空調方式	エアハンドリングユニット、定風量単一ダクト方式、中央監視システム



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料(以下「資料」という。)の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館(以下「博物館」という。)を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務(同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。)
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安

定して行うことができるものであること。

(4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。

(5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。

(4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

(1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。

(2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。

(3) 前条第4項の規定に違反したとき。

(4) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。

(5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第16条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書(別紙様式第1号)によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する 株式会社 乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- (1) 名称 長崎歴史文化博物館
- (2) 所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- (3) 施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳記載の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成17年4月1日から平成22年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（指定管理者の業務範囲）

第5条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙1「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第6条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第7条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- (1) 地方自治法
- (2) 長崎歴史文化博物館条例
- (3) 長崎歴史文化博物館条例施行規則
- (4) 労働基準法
- (5) その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第8条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- (2) 公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第9条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

- 2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。
- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

（利用の許可に関する事項）

第10条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第11条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の保守点検等のための休館日以外の日に休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第12条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第13条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第14条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙2「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第15条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、細目協定でこれを定める。

- 2 前項に規定するもののほか、指定管理者負担金の額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第16条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙3「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第17条 乙は、長崎県個人情報保護条例（平成16年3月23日付長崎県条例第3号）第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙4「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合には、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第18条 乙は、毎月終了後10日以内に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 月報（入館者数、施設有料利用者数、利用料金及びその他事業の実績、負担金の実績）
- (2) 実施した事業の内容及び実績

(事業報告)

第19条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければならない。

- 2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入、支出の実績:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績:毎事業年度終了後7日以内

(事故の報告)

第20条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第21条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第22条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第23条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第24条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第14条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第25条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(疑義の決定)

第26条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成17年4月28日

甲 長崎県
長崎県知事 金子 原二郎

乙 株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 乃村 義博

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書の一部を変更する協定

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定した株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、平成17年4月1日付けで締結した基本協定書（以下「原協定書」という。）の一部を次のとおり変更する。

第1条 原協定書第26条を第27条とし、第25条の次に次の一条を加える。

「(情報公開について)

第26条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、

図面及び電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により開示するものとする。

2. 乙は前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議するものとする。」

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成18年4月1日

甲 長崎県
長崎県知事 金子 原二郎

乙 株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 乃村 義博

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記（1）～（11）のとおりとする。

記

（1）資料の収集・保存・修理・展示及び利用に関する業務

①資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、下記の収集方針に基づき、収集のための調査を行う。

- ・近世長崎の歴史資料
- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料（絵画、書跡等）、工芸資料（陶磁器、漆器、べっ甲、珊瑚、ガラス、刺繍等）
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎に関する資料

②資料の保存と修理に関する業務

資料の材質や性質に適した保存環境を整え、定期的な状態調査を実施するとともに、損傷や汚損、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

③資料の展示に関する業務

展示を行う際の主な業務内容

- ア) 展示計画の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展示計画を実現するため、他館等からの資料借用に係る交渉業務
- ウ) 展示のための資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展示に係る広報等の集客業務
- オ) 展示に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展示資料の監視・点検業務
- キ) 展示資料の解説業務

<1> 常設展示

常設展示を博物館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化のアピールを行う。

- ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
- ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
- ・美術、工芸展示
- ・長崎奉行所関連展示
- ・長崎奉行所情景展示
- ・常設ミニ企画展示（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）

<2> 企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史と文化について、さまざまな視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアをはじめとする海外までを対象にした活動を行う。

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会
- ・他館や新聞社、放送局などとの共同企画による展覧会

④資料の貸出等

他館等への資料の貸出しについて、その使用目的が適当であるか検討し、所有者である県及び市との協議のうえ、貸出しを行う。また、資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

(2) 長崎の歴史と文化に関する情報の提供に関する業務

長崎学研究の拠点施設となるように、レファレンスルームの適切な管理運営を図り、資料等に関する情報提供サービス、収蔵図書に関する情報、県内の史跡情報等や全国の博物館報等の提供を行う。また、情報の提供にあたっては、情報システムのデータ更新ならびに管理運営作業を行う。

(3) 調査研究業務

- ①博物館の収蔵資料に関する調査研究
- ②資料の保存修理に関する調査研究
- ③展覧会企画に関する調査研究
- ④生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤歴史と文化の情報に関する調査研究

(4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する業務

- ①修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説を行う。
- ②様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、講演会・講座を実施する。
- ③伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房の運営を行う。
- ④本格的な茶室を持つイベントの間（和室）を、茶会などの利用に貸し出す。
- ⑤県民、市民の参加を図り、ボランティア制度を実施する。

(5) 広報・出版等の普及活動に関する業務

博物館の広報活動や収蔵作品の図録の出版など、長崎の歴史と文化に関する普及活動を行う。

(6) 学校との連携に関する事業

学校教育の一環として博物館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子どもたちの利用促進を図る。

(7) 他の博物館・美術館等との連携を図る業務

国内外の博物館等と多角的な連携による事業推進を行う。

(8) その他設置目的を達成するため必要となる業務

- ①博物館のマネジメント業務
 - ア) 経営マネジメント業務
 - イ) 庶務・経理業務
 - ウ) 広報マーケティング業務
 - エ) 事業報告書の作成及び提出
- ②ミュージアムショップの管理運営
- ③飲食施設の管理運営

(9) 博物館の利用許可に関する業務、博物館の利用に係る利用料金に関する業務

- ①博物館の利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
- ②観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(10) 博物館施設、その付属設備等の維持及び修繕に関する業務

長崎歴史文化博物館の敷地内及び建物全体を維持管理の対象とし、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に準拠し、以下の点に留意して建物の点検、保全を行う。

①建築物一般に関する事項

- ア) 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフトレン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉やごみが集積していないこと。
- イ) 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ) 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密製、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ) 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ) 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

②外構に関する事項

- ア) 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ) 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

③博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、所蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさない。

- ア) 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ) 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態を保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ) 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
(展示ケース内も同様とする。)

④清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア) 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

- イ) 外構清掃
 - ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
 - ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。
- ウ) ごみの収集
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

⑤警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施する。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する。

⑥保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておく。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

⑦非常時、緊急時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取る。

(11) 地域づくりと観光振興に関する業務

県内の博物館の核となり、他の歴史施設、史跡、観光施設などと連携して、これまでにない新しい観光施設として地域の活性化に貢献することを目指し、これを推進する事業展開を行う。

以上

(別紙2)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金の対象となる事業経費

1. 施設維持管理費

(1) 光熱水費

(2) 施設維持管理費

① 施設設備保守点検

② 清掃業務

③ 樹木等庭園管理業務

④ 警備業務

⑤ 受付案内、展示室監視業務

⑥ 施設の修繕費・消耗品費

2. 人件費（その他自主事業に直接係る従業員の人件費を除く）

3. 事業活動費

(1) 調査研究事業費

(2) 長崎学・生涯学習支援事業費

4. その他、県が負担金で支出することが適当と認めた事業費

■利用料金及びその他自主事業収入の適用となる事業経費

1. 事業活動費

(1) 展覧会及び展示事業費

① 常設展示 展示替えに係る経費

② 企画展示に係る経費

③ 目録、図録等の作成費

(2) 業務経費

① 広報、マーケティング費用

② ポスター等印刷費

③ 寸劇、イベント等自主事業費

④ 駐車場運営費

(3) ボランティア経費

(4) ショップ、飲食施設関連費用

① ミュージアムショップ事業費

② 飲食施設事業費

③ その他飲食・物販サービスに係る経費

2. その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する事業費

以 上

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運営業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運営業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
資料等の損傷	管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	管理者としての注意義務を怠ったことにより損害を与えた場合		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙4)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第13 (1) 業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

- ① 指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。（長崎県個人情報保護条例第63条）
- ② 従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）
- ③ 従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があったときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのもと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料借用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

代表者氏名 印
電話
FAX
(担当者氏名)

貴館が収蔵する資料について下記のとおり貸し出しを受けたいので申請いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
借用を希望する資料 ※欄に記入できないときは別添すること。				
借 用 期 間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借 用 目 的				

加 蓋			
--------	--	--	--

承認					
供 覧					

(様式第2号) 長崎歴史博第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料貸出許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の貸し出しについては、下記の条件より許可いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
許 可 資 料				
期 間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借 用 目 的				
引 渡 及 び 返 却 先	長崎歴史文化博物館			
条 件	① 長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程を遵守すること ② 展示の際、「長崎歴史文化博物館」と明示すること ③ 資料の取扱については学芸員の指示に従うこと ④			
備 考				

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めるときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第3条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反すると認められるとき
- (4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。
- (5) その他館長が特に不適切であると認めるとき

(特別閲覧許可の発行)

第4条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第5条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第6条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 職員の立会いのもとで閲覧すること
- (2) 閲覧中は職員の指示に従うこと
- (3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第6条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第7条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第8条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めるときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号)

年 月 日

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

所属
氏名
電話

印

長崎歴史文化博物館が収蔵する資料に関して、特別閲覧を希望するので申請いたします。

記

閲覧希望資料	
特別閲覧の目的 (閲覧資料の使用内容や 研究内容など)	
閲覧希望日	第一希望 年 月 日
	第二希望 年 月 日
閲覧希望時間 (9:30~18:00の間で記入)	時 分 から 時 分 まで
備考	

※同伴者がいる場合は、備考欄に記入してください。

協			
理			

	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	担当
承認					

(様式第2号)

長崎歴史博第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の特別閲覧について、下記の条件にて許可
します。

記

閲覧を許可する資料名	
閲覧の目的及び 内	
閲覧承認日	年 月 日
閲覧承認時間	時 分 から 時 分 まで
閲覧場所	長崎歴史文化博物館 ()
閲覧の条件	① 長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程を遵守すること ② 当館職員の指示に従うこと ③
備考	

※特別閲覧当日は、この用紙を持参してください。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用后必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。

(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり撮影したいので申請いたします。

記

資料名				
撮影形態	カメラ(デジタル・フィルム) ・ VTR ・ その他 ()			
撮影希望日	年 月 日 時 分 より			
撮影目的				
掲載媒体	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第3号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影許可証

(申請者) 様 長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の撮影について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
撮影予定日	年 月 日		時 分 より
撮影目的			
利用の条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 撮影に関しては、当館職員の指示に従うこと。 ③ その他、博物館の指示に従うこと。 ④		
備考			

(様式第2号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり利用したいので申請いたします。

記

資料名				
利用形態	デジタル ・ ポジフィルム ・ ネガフィルム ・ その他 ()			
受取希望日	年 月 日	返却予定日	年 月 日	
利用目的				
掲載物	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第4号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用許可証

(申請者) 様 長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった画像の利用について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
受渡予定日	年 月 日	返却予定日	年 月 日
利用目的			
引渡し方法			
利用の条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 使用目的の変更があったときは速やかに博物館まで届け出ること。 ③ 使用後は必ずデータの削除を行うこと。 ④		
備考			

平成19・20年度

長崎歴史文化博物館年報

2009年3月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館

〒850-0007 長崎市立山1-1-1

TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407

印刷

株式会社 インテックス